



三菱UFJフィナンシャル・グループ

2012年度決算説明会 【データブック】

2013年5月21日

Quality for You

確かなクオリティを、明日へ。世界へ。

本書には、株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ(以下「当社」という)およびそのグループ会社(以下「当グループ」という)に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、当社が現在入手している情報に基づく、本書の作成時点における予測等を基礎として記載されています。また、これらの記述のためには、一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述または前提(仮定)は主観的なものであり、将来において不正確であることが判明したり、将来実現しない可能性があります。このような事態の原因となりうる不確実性やリスクは多数ありますが、これらに関する追加情報については、当社の決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、アニュアルレポートをご参照下さい。なお、本書における将来情報に関する記述は上記のとおり本書の日付(またはそこに別途明記された日付)時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

また、本書に記載されている当社ないし当グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

なお、本書の計数は日本会計基準ベースの数値を使用しています。

<本資料における計数の定義>

連結	:	三菱UFJフィナンシャル・グループ(連結)
単体合算	:	三菱東京UFJ銀行(単体)と三菱UFJ信託銀行(単体)の単純合算
商業銀行連結	:	三菱東京UFJ銀行(連結)
商業銀行	:	三菱東京UFJ銀行(単体)
信託銀行連結	:	三菱UFJ信託銀行(連結)
信託銀行	:	三菱UFJ信託銀行(単体)

MUFGの概要

● グループストラクチャー	5
● グループネットワーク	6
● MUFGのランキング	7
● グループ格付一覧	8

2012年度決算の概要

● 資金利益	10
● 運用・調達	14
● 非資金利益	16
● 連単差	18
● 営業費	19
● 臨時損益・特別損益	20
● 資産・負債	21
● 三菱UFJ証券ホールディングス	22
● 三菱UFJモルガン・スタンレー証券	23
● UnionBanCal Corporation(米国基準)	26
● 三菱UFJニコス	30
● アコム	33
● 三菱UFJメリルリンチPB証券	35
● 三菱UFJリース	36
● 投信・投資顧問	37

部門別収益の状況

● 部門別収益	39
● リテール(粗利益・営業純益)	40
● リテール(運用商品)	41
● リテール(保険商品販売)	42
● リテール(住宅ローン)	43
● リテール(コンシューマーファイナンス)	44
● リテール(相続・不動産関連)	45
● 法人国内(粗利益・営業純益)	46
● 法人国内(預貸金業務)	47
● 法人国内(決済業務)	48
● 法人国内(投資銀行業務)	49
● 法人国内(不動産・証券代行業務)	50
● 国際(粗利益・営業純益)	51
● 国際(アジアビジネス)	52
● 国際(米州ビジネス)	54
● 国際(欧州ビジネス)	55
● 受託財産(粗利益・営業純益)	56
● 受託財産(年金業務)	57
● 受託財産(投信運用業務・投信管理業務)	58
● 受託財産(グローバルカストディ業務)	59

資産・資本の状況

● 金融再生法開示債権	61
● 貸倒引当金・保全	62
● 引当率	63
● 保有有価証券	64
● 証券化商品エクスポージャー	65
● 自己資本比率	68
● 繰延税金資産	69
● 退職給付	70

参考情報

● 主要な子会社・関連会社	72
● 国・地域別与信残高	73
● 北アフリカ・中東への貸出残高	75
● 欧州周縁国へのエクスポージャー	76
● 株式(普通株・優先株)	77
● 優先出資証券	78
● 外貨建普通社債発行一覧	79
● モルガン・スタンレーへの出資	80
● 株主構成	81
● 配当の状況	82
● 他グループ比較	83
● 店舗網	84

MUFGの概要

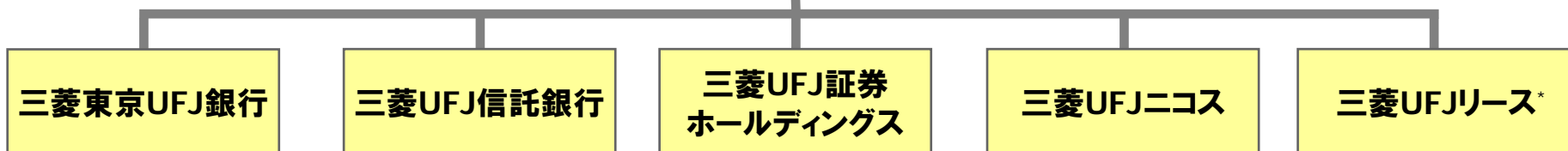
グループストラクチャー



持株会社

三菱UFJフィナンシャル・グループ
(MUFG)

総資産	234.4兆円
総貸出	91.2兆円
総預金	131.6兆円 (2013年3月末)
従業員数	約12万人 (2013年3月末)



主なグループ会社

証券	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	資産運用	三菱UFJ投信 国際投信投資顧問
消費者金融 / 信販	アコム、ジャックス*	不動産	三菱UFJ不動産販売
プライベート バンキング	三菱UFJメリルリンチPB証券	ベンチャー キャピタル	三菱UFJキャピタル
ネット証券	カブドットコム証券	調査・ コンサルティング	三菱UFJリサーチ& コンサルティング
モバイルネット銀行	じぶん銀行*	海外	ユニオンバンク・ コーポレーション

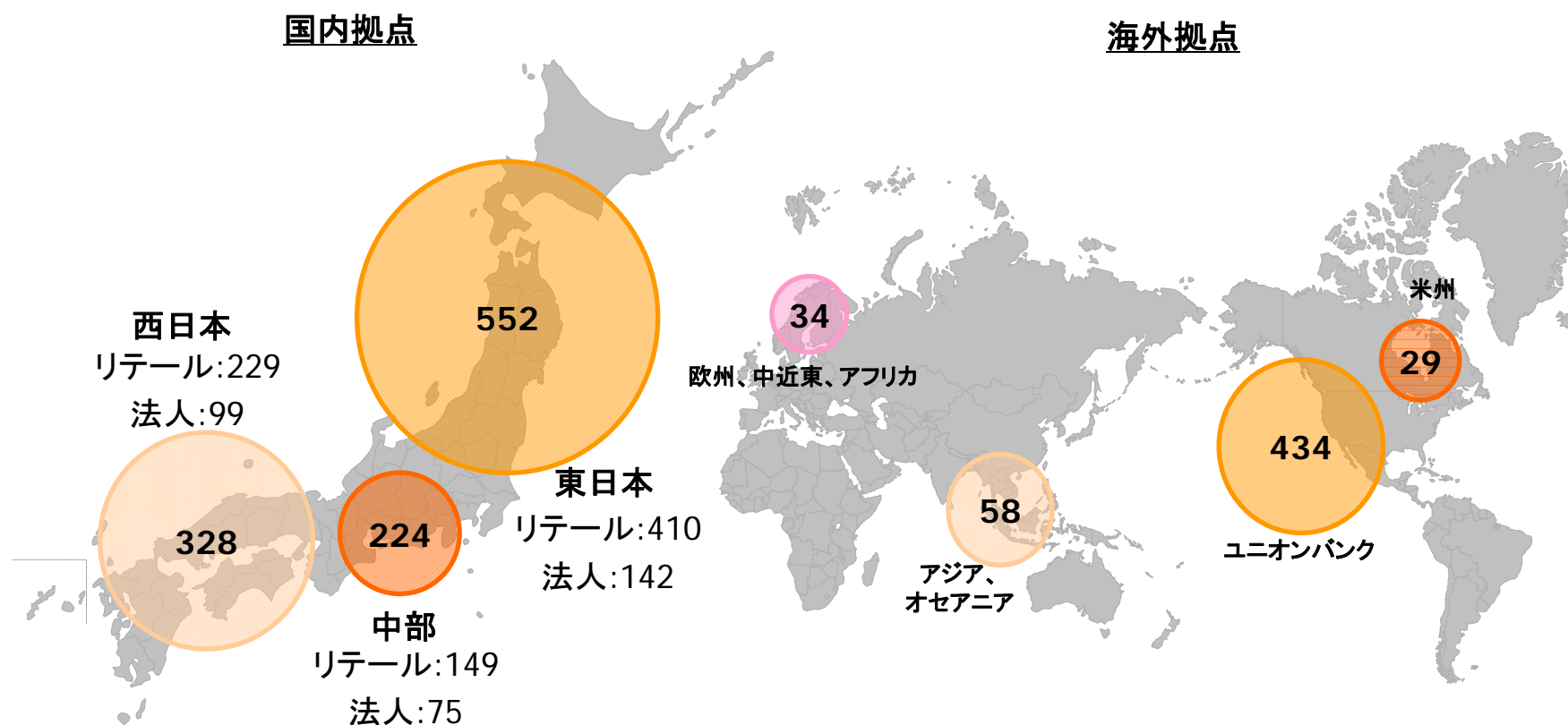
* 持分法適用関連会社

グループネットワーク



- 個人4,000万口座、法人50万社の充実した国内顧客基盤
- 世界40カ国以上、550拠点を超える邦銀随一の海外拠点網

MUFGの拠点網*



* 三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券の合計

(13年3月末)

MUFGのランキング



預金*

(12年12月末)

順位	金融機関名	残高(兆円)
1	中国工商銀行	189.9
2	中国建設銀行	157.9
3	中国農業銀行	151.2
4	中国銀行	127.7
5	MUFG	126.9

貸出*

(12年12月末)

順位	金融機関名	残高(兆円)
1	中国工商銀行	119.5
2	中国建設銀行	101.8
3	中国銀行	93.4
4	HSBC	86.5
5	MUFG	85.9

出所: 各社決算資料よりBTMU経済調査室作成

* 公の金融機関除く

時価総額

(13年3月末)

順位	金融機関名	時価総額(兆円)
1	中国工商銀行	21.88
2	中国建設銀行	19.16
3	HSBC	18.67
4	ウェルズファーゴ	18.37
5	JPモルガン・チェース	17.12
6	中国農業銀行	13.43
7	シティグループ	12.67
8	バンク・オブ・アメリカ	12.42
9	中国銀行	12.31
10	コモンウェルス	10.74
13	MUFG	7.90

出所: BloombergよりBTMU経済調査室作成

グループ格付一覧



	Moody's		S&P		FITCH		R&I		JCR	
	長期	短期	長期	短期	長期	短期	長期	短期	長期	短期
「-」: 格付取得せず										
三菱UFJフィナンシャル・グループ	—	—	A	—	—	—	A+	—	AA-	—
三菱東京UFJ銀行	Aa3	P-1*	A+	A-1	A	F1	AA-	a-1+	AA	—
三菱UFJ信託銀行	Aa3*	P-1*	A+	A-1	A	F1	AA-	—	AA	J-1+
三菱UFJ証券ホールディングス	A2	P-1	A	A-1	—	—	AA-	—	AA	—
三菱UFJモルガン・スタンレー証券	A1	P-1	A+	A-1	—	—	AA-	a-1+	AA	—
モルガン・スタンレーMUFG証券	—	—	—	—	—	—	A	—	—	—
ユニオンバンク	A2	P-1	A+	A-1	A	F1	—	—	—	—
三菱UFJニコス	—	—	—	—	—	—	A+	a-1	AA-	J-1+
アコム	—	—	BB+	B	A-	F2	BBB	—	A	J-1
三菱UFJリース	A3	—	A	—	—	—	A+	a-1	AA-	J-1+

* 預金格付のみ

(13年5月2日現在)

2012年度決算の概要

＜国内業務＞

(単位:億円)

	11年度	12年度	増減
1 資金利益	8,653	7,895	▲757
2 資金運用収益	9,886	8,989	▲896
3 貸出金*1	6,749	6,262	▲486
4 有価証券	2,645	2,267	▲378
5 その他	490	459	▲31
6 資金調達費用	1,232	1,093	▲138
7 預金	506	456	▲49
8 譲渡性預金	44	39	▲5
9 社債等利息	495	396	▲99
10 売現先	12	12	0
11 外部負債*2	163	176	13
12 その他	10	11	1

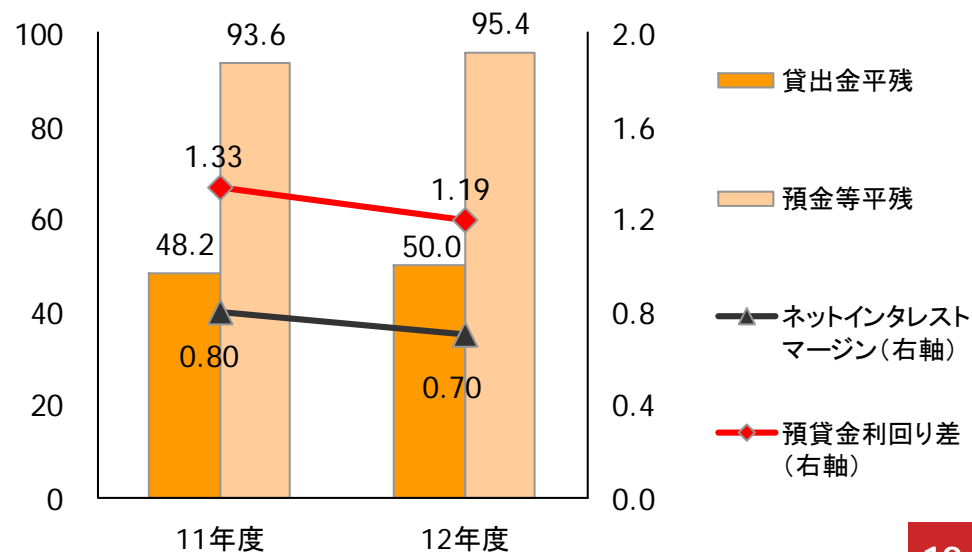
*1 金融機関向を除く

*2 コールマネー、売渡手形、借入金の合計

資金利益の増減要因

- 貸出金利息 : ▲486億円
 - 貸出平残 : +1.8兆円、利回り:▲14bp
- 預金利息 : ▲49億円
 - 預金平残 : +2.1兆円、利回り:▲0bp
- 有価証券利息 : ▲378億円
 - ・ 配当金
 - ・ 国債 : ▲348億円(平残:+0.0兆円、利回り:▲8bp)
 - ・ 社債 : ▲74億円(平残:▲0.6兆円、利回り:+0bp)
 - ・ 株式 : +63億円

＜国内資金利益＞



＜国際業務＞

(単位:億円)

	11年度	12年度	増減
1 資金利益	3,384	3,836	452
2 (うち金利スワップ収支*1)	214	▲262	▲477
3 資金運用収益	5,729	6,607	878
4 貸出金*2	2,859	3,559	699
5 有価証券	1,863	2,281	418
6 預け金	233	148	▲84
7 金利スワップ受入利息*1	214	-	▲214
8 その他	557	618	60
9 資金調達費用	2,344	2,771	426
10 預金	602	567	▲35
11 譲渡性預金	305	356	51
12 社債等利息	182	203	21
13 売現先	166	202	35
14 外部負債*3	863	805	▲58
15 金利スワップ支払利息*1	-	262	262
16 その他	223	373	149

*1 金利スワップの受入利息・支払利息のネット金額を計上

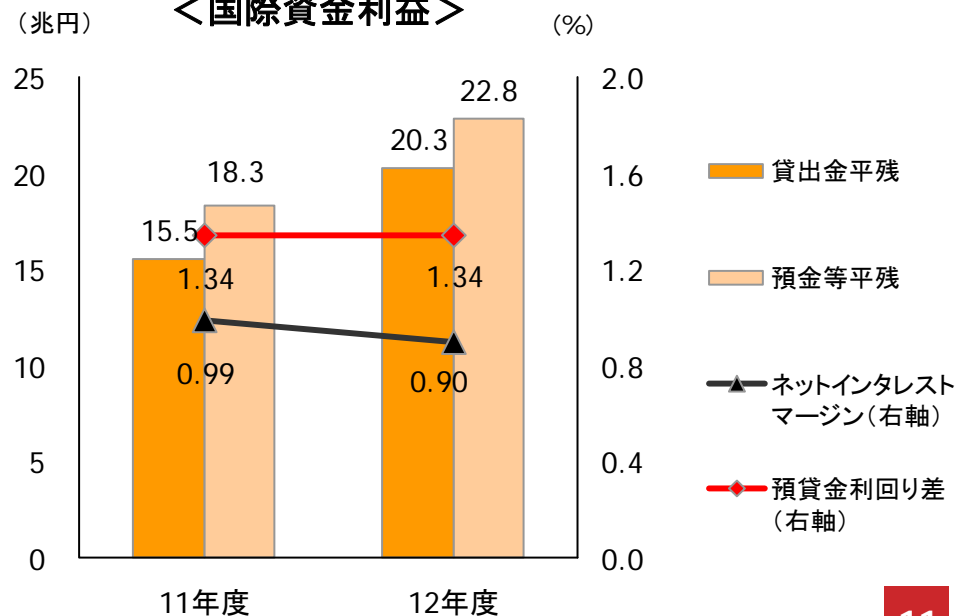
*2 金融機関向を除く

*3 コールマネー、売渡手形、借入金合計

資金利益の増減要因

- 貸出金利息 : +699億円
 - 貸出平残 : +4.8兆円、利回り: +▲9bp
- 預金利息 : ▲35億円
 - 預金平残 : +2.1兆円、利回り: ▲8bp
- 有価証券利息 : +418億円
 - ・ 配当金
 - ・ 外国証券 : +418億円
(平残: +3.6兆円、利回り: ▲15bp)

＜国際資金利益＞



＜国内業務＞

(単位: 億円)

	11年度	12年度	増減
1 資金利益	1,012	931	▲81
2 (うち金利スワップ収支*1)	0	0	▲0
3 資金運用収益	1,456	1,327	▲129
4 貸出金*2	928	850	▲78
5 有価証券	445	413	▲32
6 その他	82	63	▲18
7 資金調達費用	444	396	▲47
8 預金	290	237	▲53
9 譲渡性預金	29	37	7
10 社債利息	31	26	▲4
11 外部負債*3	41	44	2

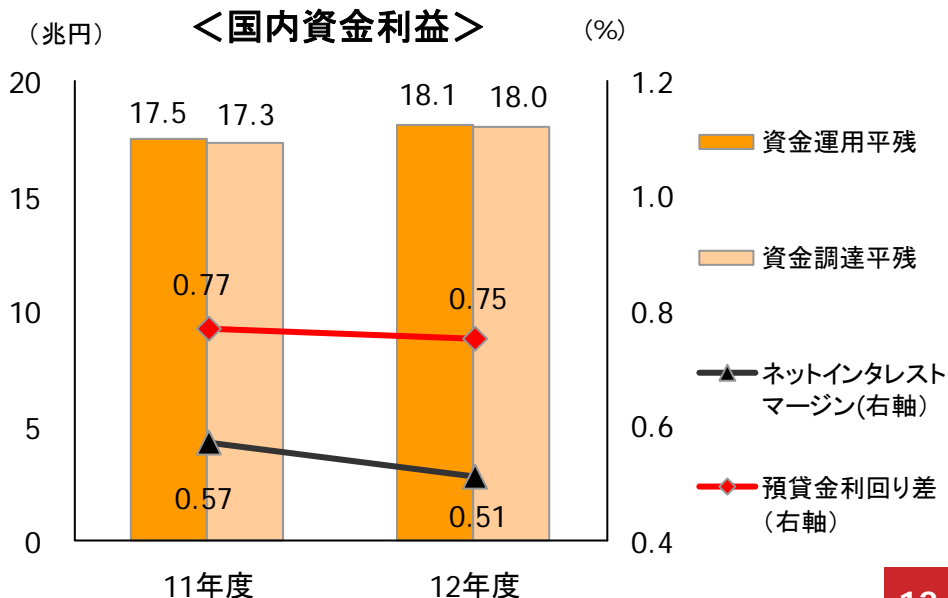
*1 金利スワップの受入利息・支払利息のネット金額を計上

*2 金融機関向を除く

*3 コールマネー、売渡手形、借入金の合計

資金利益の増減要因

- 貸出金利息 : ▲78億円
 - 貸出平残 : ▲0.2兆円、利回り: ▲5bp
- 預金利息 : ▲53億円
 - 預金平残 : ▲0.4兆円、利回り: ▲3bp
- 有価証券利息: ▲32億円
 - ・ 配当金
 - ・ 国債 : ▲23億円(平残: +1.2兆円、利回り: ▲13bp)
 - ・ 社債 : ▲14億円(平残: ▲0.0兆円、利回り: ▲13bp)
 - ・ 株式 : +2億円



<国際業務>

(単位: 億円)

	11年度	12年度	増減
1 資金利益	549	590	41
2 (うち金利スワップ収支*1)	▲66	▲78	▲12
3 資金運用収益	924	953	29
4 貸出金*2	110	156	46
5 有価証券	776	773	▲2
6 預け金	36	21	▲15
7 資金調達費用	375	363	▲11
8 預金	29	33	3
9 譲渡性預金	40	59	19
10 売現先	118	105	▲12
11 外部負債*3	33	34	0

*1 金利スワップの受入利息・支払利息のネット金額を計上

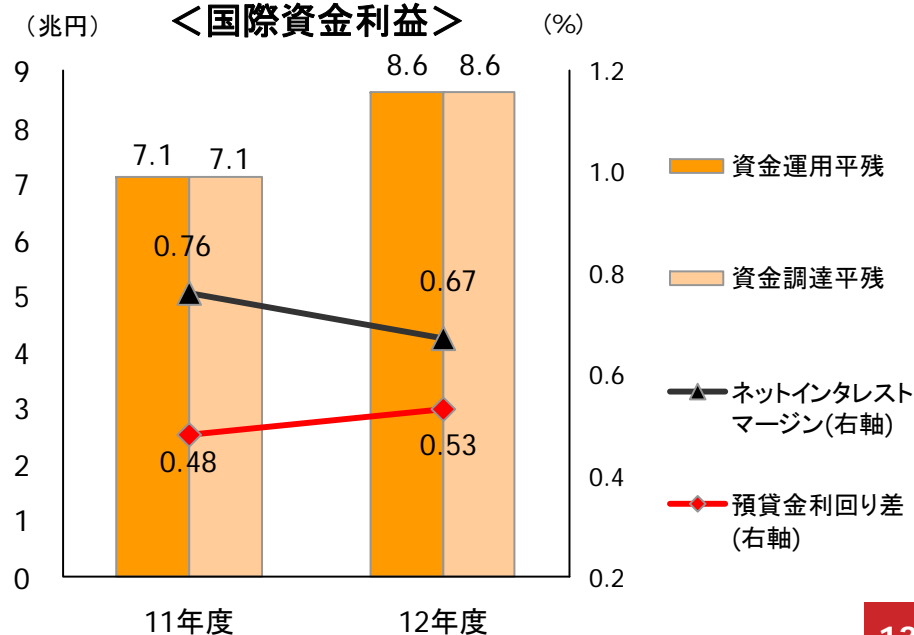
*2 金融機関向を除く

*3 コールマネー、売渡手形、借入金の合計

資金利益の増減要因

- 貸出金利息 : +46億円
 - 貸出平残 : +0.4兆円、利回り: +0bp
- 預金利息 : +3億円
 - 預金平残 : +0.2兆円、利回り: ▲3bp
- 有価証券利息 : ▲2億円
 - ・ 配当金
 - ・ 外国証券 : ▲2億円
(平残: +1.1兆円、利回り: ▲32bp)

<国際資金利益>



(単位: 億円)

<国内業務部門>		平均残高		収入・費用		利回(%)	
		12年度	前年度比	12年度	前年度比	12年度	前年度比(%ポイント)
1	資金運用勘定	1,116,211	41,272	8,989	▲ 896	0.805	▲ 0.114
2	貸出金	500,985	18,327	6,262	▲ 486	1.250	▲ 0.148
3	有価証券	473,528	▲ 12,289	2,267	▲ 378	0.478	▲ 0.065
4	コールローン	646	▲ 140	1	0	0.171	▲ 0.004
5	債券貸借取引支払保証金	10,961	380	12	0	0.112	0.000
6	預け金	22,298	17,673	20	14	0.090	▲ 0.039
7	資金調達勘定	1,080,496	31,746	1,093	▲ 138	0.101	▲ 0.016
8	預金	922,455	21,566	456	▲ 49	0.049	▲ 0.006
9	譲渡性預金	31,696	▲ 4,341	39	▲ 5	0.123	0.000
10	コールマネー	28,938	16,660	28	18	0.099	0.016
11	売現先勘定	12,384	807	12	0	0.104	▲ 0.001
12	債券貸借取引受入担保金	9,632	1,415	9	1	0.100	▲ 0.002
13	借入金	43,212	▲ 946	147	▲ 5	0.341	▲ 0.005
14	ネットインタレストマージン※	-	-	-	-	0.707	▲ 0.097

<国際業務部門>		平均残高		収入・費用		利回(%)	
		12年度	前年度比	12年度	前年度比	12年度	前年度比(%ポイント)
15	資金運用勘定	425,396	85,127	6,607	878	1.553	▲ 0.130
16	貸出金	203,346	48,035	3,559	699	1.750	▲ 0.090
17	有価証券	144,437	36,702	2,281	418	1.579	▲ 0.150
18	コールローン	1,494	438	17	2	1.182	▲ 0.299
19	預け金	34,262	▲ 7,478	148	▲ 84	0.433	▲ 0.124
20	資金調達勘定	421,674	77,190	2,771	426	0.657	▲ 0.023
21	預金	157,588	21,253	567	▲ 35	0.359	▲ 0.082
22	譲渡性預金	71,103	23,630	356	51	0.502	▲ 0.140
23	コールマネー	2,067	▲ 1,852	25	▲ 27	1.211	▲ 0.116
24	売現先勘定	63,672	16,116	202	35	0.317	▲ 0.033
25	借入金	27,259	▲ 3,592	780	▲ 31	2.861	0.230
26	ネットインタレストマージン※	-	-	-	-	0.901	▲ 0.092

※ネットインタレストマージン=ネット資金利益/資金運用勘定平残

(単位：億円)

<国内業務部門>		平均残高		収入・費用		利回 (%)	
		12年度	前年度比	12年度	前年度比	12年度	前年度比(%ポイント)
1	資金運用勘定	181,261	5,691	1,327	▲ 129	0.732	▲ 0.097
2	貸出金	89,613	▲ 2,446	850	▲ 78	0.948	▲ 0.059
3	有価証券	72,620	10,084	413	▲ 32	0.569	▲ 0.144
4	コールローン	1,404	224	2	0	0.158	▲ 0.061
5	債券貸借取引支払保証金	645	▲ 472	0	0	0.111	▲ 0.002
6	預け金	43	2	0	▲ 0	1.857	▲ 1.862
7	資金調達勘定	180,090	6,325	396	▲ 47	0.220	▲ 0.035
8	預金	110,154	▲ 4,223	237	▲ 53	0.215	▲ 0.038
9	譲渡性預金	30,272	6,925	37	7	0.123	▲ 0.002
10	コールマネー	176	▲ 338	0	▲ 0	0.090	0.016
11	売現先勘定	-	▲ 3	-	-	-	-
12	債券貸借取引受入担保金	3,040	699	2	1	0.098	0.025
13	借入金	23,255	3,829	44	3	0.190	▲ 0.021
14	ネットインタレストマージン※	-	-	-	-	0.513	▲ 0.063

<国際業務部門>		平均残高		収入・費用		利回 (%)	
		12年度	前年度比	12年度	前年度比	12年度	前年度比(%ポイント)
15	資金運用勘定	86,858	15,390	953	29	1.097	▲ 0.195
16	貸出金	17,036	4,965	156	46	0.920	0.005
17	有価証券	58,926	11,402	773	▲ 2	1.312	▲ 0.320
18	コールローン	50	▲ 80	0	▲ 0	0.338	▲ 0.088
19	預け金	8,644	▲ 3,019	21	▲ 15	0.243	▲ 0.066
20	資金調達勘定	86,429	14,451	363	▲ 11	0.420	▲ 0.101
21	預金	10,459	2,015	33	3	0.324	▲ 0.030
22	譲渡性預金	13,939	5,906	59	19	0.426	▲ 0.076
23	コールマネー	2,230	394	11	0	0.502	▲ 0.060
24	売現先勘定	40,849	6,957	105	▲ 12	0.258	▲ 0.089
25	債券貸借取引受入担保金	87	87	0	0	0.262	0.262
26	借入金	1,180	49	23	0	1.979	▲ 0.076
27	ネットインタレストマージン※	-	-	-	-	0.679	▲ 0.088

※ネットインタレストマージン=ネット資金利益/資金運用勘定平残

非資金利益の増減要因 1

【商業銀行】



(単位:億円)

	11年度	12年度	増減
1 役務取引等利益	3,893	4,240	347
2 為替手数料	1,249	1,241	▲7
3 受入為替手数料	1,571	1,538	▲32
4 支払為替手数料	322	297	▲25
5 その他手数料	2,644	2,999	354
6 その他受入手数料	3,687	4,060	373
7 その他支払手数料等	1,043	1,061	18
8 特定取引利益	1,045	1,220	175
9 商品有価証券利益	13	10	▲3
10 特定取引有価証券利益	17	34	16
11 特定金融派生商品利益	964	1,134	169
12 その他の特定取引利益	49	41	▲8
13 その他業務利益	3,332	3,333	1
14 外国為替売買益	773	793	20
15 債券関係損益(5勘定戻)	2,526	2,946	420
16 金融派生商品利益	▲155	▲543	▲388
17 債券費・社債費	▲29	▲20	9
18 その他	218	157	▲60

● 役務取引等利益

- 投資信託・金融商品仲介等の運用商品販売や、シンジケートローン・ストラクチャードファイナンス等の投資銀業務が内外で好調に推移した結果、前年度比大幅増の+347億円

● 特定取引利益・その他業務利益

- 特定取引利益とその他業務利益の合算で前年度比+176億円
(特定金融派生商品利益[特定取引利益]と外国為替売買益[その他業務利益]には、一部為替変動に起因する科目間の入り繰り有り)
- 債券関係損益は前年度比+420億円の増加

非資金利益の増減要因 2

【信託銀行】



(単位:億円)

	11年度	12年度	増減
1 信託報酬	731	706	▲24
2 合同信託報酬	68	58	▲9
3 (同 信託勘定償却前)*1	68	58	▲9
4 年金信託、投資信託、特金、指定単等	571	567	▲3
5 不動産管理処分信託等	58	45	▲12
6 その他	33	34	▲1
7 信託勘定与信関係費用	-	▲0	▲0
8 役務取引等利益	808	876	▲67
9 証券代行	331	323	▲7
10 不動産	123	152	▲29
11 投信・個人年金保険販売	226	265	▲39
12 その他	128	134	▲6
13 特定取引利益	180	190	▲10
14 その他業務利益	28	155	▲126
15 外国為替売買益	27	▲9	▲36
16 債券関係損益(5勘定戻)	125	277	▲151
17 金融派生商品利益	▲124	▲111	▲12
18 その他	0	▲0	▲1

● 信託報酬

- 「不動産管理処分信託等」は、報酬率の低下により前年度比▲12億円

● 役務取引等利益

- 「不動産」は、仲介手数料の増加により前年度比+29億円
- 「投信・個人年金保険販売」は、販売額の増加により前年度比+39億円

● その他業務利益

- 「債券関係損益(5勘定戻)」は、債券等の売却損益の増加により前年度比+151億円

*1 合同信託報酬－信託勘定与信関係費用

連単差



(単位: 億円)

<12年度>		MUFG(連結)	単体合算	連単差*1	三菱UFJ証券HD*1	UNBC*1	三菱UFJニコス*1	アコム*1
		1	粗利 (信託勘定償却前)	36,342	23,977	12,364	2,677	2,828
2	うち資金利益①	18,168	13,254	4,914	▲39	2,179	510	1,254
3	うち役務取引等取引②	10,422	5,116	5,305	1,161	483	2,059	256
4	実質業務純益	15,392	11,638	3,753	693	701	359	839
5	当期純利益	8,526	7,102	1,423	469	514	316	208
6	与信費用*2 (▲は費用)	▲1,156	▲653	▲503	1	▲10	▲120	▲217

<その他の連単差の主な内訳>

①資金利益*3 (単位: 億円)		②役務取引等利益*3 (単位: 億円)	
	12年度		12年度
三菱東京UFJ銀行(中国)	290	三菱UFJ住宅ローン保証	295
ブラジル三菱東京UFJ銀行	51	三菱UFJ投信	181
カナダ三菱東京UFJ銀行	44	三菱UFJリサーチ&コンサルティング	133
マレーシア三菱東京UFJ銀行	41	三菱UFJ不動産販売	122
カブドットコム証券	31	MUフロンティア債権回収	116
オランダ三菱東京UFJ銀行	30	三菱UFJファクター	106
優先出資証券利息支払*5	589	三菱UFJメルリルリンチPB証券*6	80

<持分法による投資損益内訳*4>

持分法による投資損益計 (単位: 億円)	
	12年度
持分法による投資損益計	520
三菱UFJ証券HD*7	242
三菱UFJリース	55
モルガン・スタンレー	40
大新金融集団	35
ジャックス	16
じぶん銀行	9

*1 連単差の各社計数は連結調整前概算値、純利益には少数株主損益を反映していない

*2 償却債権取立益込み

*3 連結調整前概算値

*4 各社当期純利益の持分相当分に連結調整を加えたもの(各社決算計数とは異なる)

*5 単体では資金調達費用として資金利益に計上され、連結決算上は少数株主利益に計上

*6 12年4月~12月分。13年1月以降分は三菱UFJ証券HD連結子会社となったため、同社の役務取引等取引②内で計上

*7 三菱UFJ証券HDの持分法適用会社に対する投資損益の合計

営業費

【連結】



- 連結経費は前年度比1,004億円の増加
- 連結経費率は57.6%（前年度比微増）

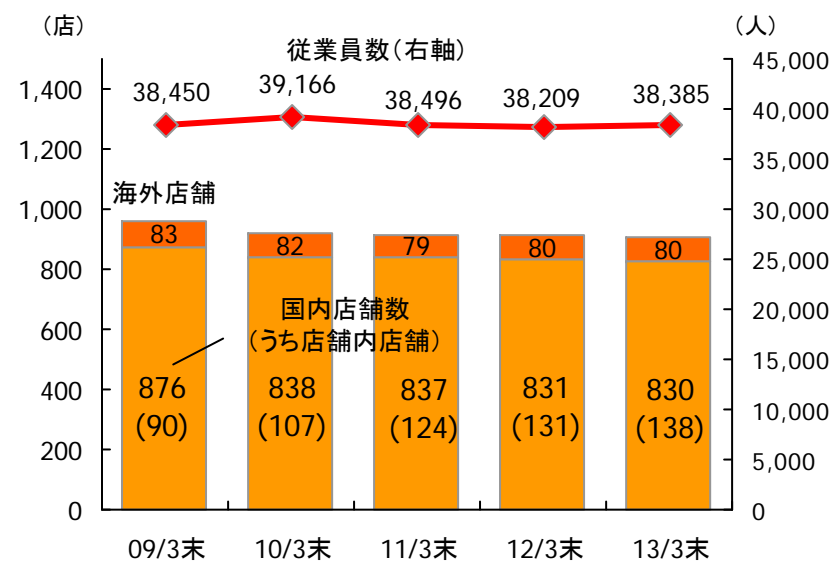
（単位：億円）

	11年度	12年度	増減	増減率
1 連結経費	19,945	20,950	1,004	5.0%
2 経費率*1	56.9%	57.6%	0.6%	—
3 三菱東京UFJ銀行(単体)	10,081	10,511	429	4.2%
4 経費率	49.6%	51.2%	1.5%	—
5 三菱UFJ信託銀行(単体)	1,829	1,827	▲1	0.0%
6 経費率*1	55.2%	52.9%	▲2.2%	—
7 単体合算	11,910	12,339	428	3.5%
8 経費率*1	50.4%	51.4%	1.0%	—
9 うち人件費	4,411	4,831	419	9.5%
10 うち物件費	6,893	6,893	0	0.0%
11 うち減価償却費・リース	1,655	1,693	37	2.2%
12 うち預金保険料	874	723	▲150	▲17.1%
13 三菱UFJ証券HD	1,875	1,983	108	5.7%
14 UNBC	1,820	2,126	305	16.8%
15 三菱UFJニコス	2,159	2,211	52	2.4%
16 アコム	684	694	10	1.4%
17 日本スタートラスト銀行	215	218	2	1.3%
18 のれん償却	293	303	10	3.4%

12年度のポイント

- 単体合算経費
 - 海外増強施策推進による人件費の増加を主因に、前年度比+428億円、経費率は前年度比+1.0ポイントの51.4%
- 子会社経費
 - 証券子会社の収益連動経費や、円安を主因とするユニオンバンクの経費等が増加

<従業員数・店舗数の推移(単体合算)>



*1 経費÷業務粗利益(信託勘定償却前)

臨時損益・特別損益

【単体合算】



(単位:億円)

	11年度	12年度	増減
1 臨時損益(▲は費用)	▲3,071	▲1,765	1,306
2 与信関係費用	▲1,613	▲1,004	609
3 貸出金償却	▲771	▲522	249
4 個別貸倒引当金繰入額	▲828	▲444	383
5 その他の与信関係費用	▲14	▲37	▲23
6 貸倒引当金戻入益	—	—	—
7 偶発損失引当金戻入益 (与信関連)	—	6	6
8 償却債権取立益	372	244	▲127
9 株式等関係損益	▲1,084	▲570	513
10 株式等売却益	427	424	▲2
11 株式等売却損	▲663	▲197	466
12 株式等償却	▲848	▲798	50
13 その他の臨時損益	▲746	▲441	304
14 退職給付費用	▲597	▲699	▲102
15 特別損益	▲3	537	540
16 うち固定資産処分損益	6	▲77	▲83
17 うち減損損失	▲98	▲76	21
18 うち子会社清算益	—	57	57
19 うち関連会社株式売却益	77	213	136
20 うち厚生年金基金代行返上益	—	506	506
21 うち退職給付信託返還損	—	▲82	▲82

● 臨時損益

- 貸出金償却や個別貸倒引当金繰入額の減少により、与信関係費用は前年度比609億円の改善
- 株式等売却損の減少により、株式等関係損益は前年度比513億円の改善
- 退職給付費用は、11年度の株式相場下落の影響により、前年度比▲102億円の悪化

● 特別損益

- 信託銀行における厚生年金基金代行返上益や、商業銀行における関連会社株式売却益の増加等により、前年度比+540億円

(億円)

	12/3末			13/3末			増減		
		商業銀行	信託銀行		商業銀行	信託銀行		商業銀行	信託銀行
1 資産	1,877,789	1,614,414	263,375	1,981,285	1,693,051	288,234	103,495	78,637	24,858
2 貸出金	799,069	693,860	105,209	853,783	741,048	112,734	54,714	47,188	7,525
3 国内貸出	649,189	551,569	97,620	666,864	566,057	100,806	17,674	14,488	3,186
4 中小企業等貸出	390,103	345,089	45,013	381,394	334,714	46,680	▲ 8,708	▲ 10,375	1,667
5 消費者ローン残高	175,180	164,246	10,934	172,899	160,905	11,994	▲ 2,280	▲ 3,341	1,060
6 住宅ローン残高	168,018	157,204	10,813	165,745	153,851	11,893	▲ 2,272	▲ 3,352	1,080
7 海外店・オフショア	149,879	142,290	7,588	186,918	174,991	11,927	37,039	32,700	4,339
8 有価証券	761,471	634,522	126,949	774,564	630,713	143,850	13,092	▲ 3,808	16,901
9 株式	43,190	35,145	8,044	45,594	36,725	8,868	2,404	1,580	823
10 国債	483,227	426,713	56,514	485,123	417,559	67,563	1,895	▲ 9,153	11,049
11 その他	235,054	172,663	62,390	243,846	176,428	67,418	8,792	3,764	5,027
12 負債	1,784,530	1,535,460	249,070	1,875,267	1,603,968	271,299	90,737	68,507	22,229
13 預金	1,186,574	1,066,808	119,765	1,239,344	1,121,542	117,801	52,769	54,734	▲ 1,964
14 国内店預金	1,078,053	965,683	112,369	1,109,957	999,533	110,423	31,904	33,850	▲ 1,945
15 個人預金	658,443	573,326	85,117	673,428	589,950	83,477	14,984	16,624	▲ 1,639
16 法人預金その他	419,609	392,357	27,251	436,529	409,583	26,945	16,919	17,225	▲ 305
17 海外店預金等	108,521	101,125	7,396	129,386	122,009	7,377	20,865	20,884	▲ 18

(注)信託銀行の資産・負債は銀行勘定のみ(信託勘定含まず)

<別掲>

(億円)

18 預金	1,186,574	1,066,808	119,765	1,239,344	1,121,542	117,801	52,769	54,734	▲ 1,964
19 国内業務部門	1,042,664	931,210	111,453	1,070,678	961,634	109,043	28,014	30,423	▲ 2,409
20 流動性預金 ^{*1}	648,580	625,272	23,307	673,342	649,308	24,034	24,762	24,035	726
21 定期性預金 ^{*2}	387,859	300,179	87,679	390,266	305,666	84,599	2,406	5,486	▲ 3,079
22 その他の預金	6,223	5,758	465	7,069	6,659	409	845	901	▲ 56
23 国際業務部門	143,910	135,597	8,312	168,666	159,908	8,757	24,755	24,310	445
24 流動性預金 ^{*1}	17,862	17,832	29	29,023	29,015	7	11,160	11,183	▲ 22
25 定期性預金 ^{*2}	86,431	79,425	7,005	93,925	86,765	7,159	7,494	7,340	154
26 その他の預金	39,616	38,339	1,277	45,717	44,126	1,590	6,100	5,787	313

*1 流動性預金＝当座預金＋普通預金＋貯蓄預金＋通知預金

*2 定期性預金＝定期預金＋定期積金

- 受取手数料、トレーディング損益ともに増加し、純営業収益は大幅増収。営業損益は黒字化、大幅増益
- 経常利益、当期純利益ともに増益達成

MUSHDの業績

【MUSHD*1連結】 (単位:億円)		11年度	12年度	増減
1	純営業収益*2	2,385	3,060	674
2	受取手数料	1,430	1,719	289
3	トレーディング損益	860	1,073	212
4	金融収支他	95	267	172
5	販売費・一般管理費	2,401	2,568	167
6	人件費	972	1,104	131
7	物件費等	1,428	1,464	35
8	営業損益	▲15	492	507
9	経常利益	381	842	460
10	特別損益	▲136	16	152
11	当期純利益	165	469	303

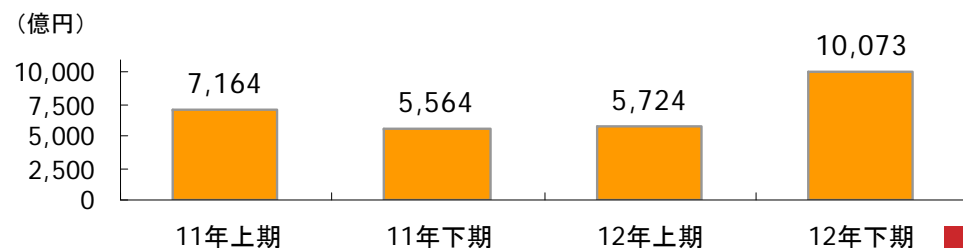
*1 三菱UFJ証券ホールディングス

*2 営業収益から金融費用を控除

12年度のポイント

- 受取手数料は前年度比+289億円
 - 委託手数料226億円(+33億円/17%増)
 - ・ 市況好転もあり株式委託手数料が増加
 - 引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料292億円(+133億円/83%増)
 - ・ 大型案件主幹事獲得や海外での銀証協働の進展により増加
 - 募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料474億円(+141億円/42%増)
 - ・ 多様な商品ラインナップにより投信販売が好調
 - その他の受取手数料725億円(▲19億円/2%減)
 - ・ 国際投信投資顧問の運用資産の減少により委託者報酬等が減少
- トレーディング損益は前年度比+212億円
 - ・ 顧客フローを着実に取り込み増収
- 販売費・一般管理費は前年度比+167億円
 - ・ 固定費は各種経費削減施策の効果により減少。業績の好調により、主に人件費・取引関係費が増加
- 当期純利益は469億円(前年度比+303億円)
- 国内営業部門預り資産(単体)は残高22.8兆円(前年度末比8%増)
 - ・ 株式市況の好転による時価要因も貢献し増加

株式投信販売額の推移 (三菱UFJモルガン・スタンレー証券単体)



三菱UFJモルガン・スタンレー証券 1



営業実績

	11/1Q	2Q	3Q	4Q	12/1Q	2Q	3Q	4Q	10年度*2	11年度*2	12年度*2
1 国内営業部門預り資産(単位:億円)	207,571	198,103	195,367	211,867	200,900	203,066	214,696	227,799	212,434	211,867	227,799
2 株式	76,808	71,065	68,429	79,888	73,653	70,642	80,990	96,373	78,458	79,888	96,373
3 債券	93,989	94,699	95,255	97,944	95,317	99,762	98,425	91,532	97,058	97,944	91,532
4 投信	36,032	31,433	30,983	33,256	31,161	31,802	34,350	38,536	36,059	33,256	38,536
《参考》											
5 証券仲介業内訳(単位:億円)	26,618	25,761	25,620	27,492	25,075	25,178	26,308	25,799	30,587	27,492	25,799
6 有残口座数(単位:千口座)	1,402	1,407	1,404	1,406	1,402	1,393	1,383	1,368	1,406	1,406	1,368
《参考》											
7 証券仲介業内訳(単位:千口座)	263	268	272	278	278	280	280	276	262	278	276
8 新規開設口座数(単位:千単位)	11	18	13	18	14	14	10	11	65	60	50
9 証券プロパー	7	9	6	7	10	7	5	9	37	29	31
10 証券仲介	4	9	7	11	4	8	5	2	28	31	19
11 株式投信販売額推移(単位:億円)*1	3,853	3,311	2,093	3,471	2,665	3,059	4,133	5,940	13,211	12,728	15,797
12 証券プロパー	3,649	3,116	2,008	2,903	2,418	2,758	3,531	4,777	12,491	11,676	13,483
13 証券仲介	204	195	85	568	248	301	602	1,163	719	1,053	2,314
14 個人向け国債販売額推移(単位:億円)	101	71	174	156	85	82	65	61	108	502	294
15 証券プロパー	30	13	20	33	20	14	10	10	27	95	54
16 証券仲介	71	58	154	123	65	69	55	51	81	407	240
17 リテール外債販売額推移(単位:億円)	2,051	2,497	1,941	2,329	2,690	2,625	1,982	2,986	7,156	8,818	10,283
18 公募債	65	1,264	761	540	208	320	650	118	867	2,631	1,296
19 仕組債	1,607	938	811	1,505	2,125	1,811	877	2,229	5,498	4,861	7,042
20 既発債	379	295	368	284	357	494	455	639	792	1,326	1,946
《参考》											
21 証券仲介業内訳(単位:億円)	1,302	1,060	929	1,447	1,473	1,419	1,008	1,513	4,511	4,738	5,413

*1 株式投信販売額は国内営業部門

*2 残高等は年度末の数値

主な投資銀行部門の実績（12年10月-13年3月）

●デット・ファイナンス

- 国内普通社債
ソフトバンク(合計3,700億円)、日本電産(合計1,000億円)、三菱UFJリース(合計800億円)、NTTドコモ(600億円)、三菱東京UFJ銀行(合計600億円)、富士通(合計600億円)、セブン銀行(合計550億円)、オリックス(合計500億円)
- 財投機関債等
住宅金融支援機構(MBS:月次債 合計4,155億円, SB:合計1,530億円)、日本政策金融公庫(合計1,200億円)、中日本高速道路(合計1,100億円)、都市再生機構(合計800億円)、首都高速道路(合計650億円)、日本政策投資銀行(合計600億円)、日本学生支援機構(500億円)
- 地方債等
地方公共団体金融機構(合計1,580億円)、大阪市(合計600億円)
- サムライ債 ソシエテ・ジェネラル(合計700億円)
- 外債 三菱東京UFJ銀行(合計2,250百万米ドル)、損害保険ジャパン(1,400百万米ドル)、日本電信電話(500百万米ドル)、三菱UFJリース(500百万米ドル)

●エクイティ・ファイナンス

- 公募・売出し あおぞら銀行(内外合算1,461億円)、ジャパンリアルエステイト投資法人(337億円)、アドバンス・レジデンス投資法人(232億円)、大和ハウス・レジデンシャル投資法人(119億円)、産業ファンド投資法人(内外合算109億円)、タチエス(47億円)、富士紡ホールディングス(42億円)、サトレストラシシステムズ(22億円)、大戸屋ホールディングス(16億円)
- 新規公開 日本プロロジスリート投資法人(内外合算1,053億円)、大和ハウスリート投資法人(内外合算540億円)、アサンテ(28億円)、三洋貿易(15億円)

●証券化

- | | | |
|------------------|-------|---------|
| ■金銭債権(ローン債権等)証券化 | 合計5件 | 674億円 |
| ■不動産証券化(アレンジメント) | 合計10件 | 1,648億円 |

●M&A

- 住友商事及びKDDIによる公開買付け及びその後の少数株主持分取得を通じたJ:COMの非公開化(進行中)(2,410百万米ドル)
- 三菱UFJリースによる米国の航空機リース会社Jackson Squareの買収(1,274百万米ドル)
- 三菱東京UFJ銀行によるVietinBankへの戦略的出資(ベトナム)(進行中)(742百万米ドル)
- 三菱マテリアルによるRRM社の持分追加取得(進行中)(600百万米ドル)
- あおぞら銀行による第五回優先株式の一部買戻しを含む資本再構成(471百万米ドル)

(出所)Thomson Reuters
下線は三菱UFJモルガン・スタンレー証券がアドバイザーに就任した顧客

(注)金額は案件規模

三菱UFJモルガン・スタンレー証券 3



リーグテーブル（12年4月－13年3月）

【12年4月－13年3月】

国内債総合シェア^{*1}

順位	証券会社	シェア (%)
1	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	22.5
2	みずほ証券	21.1
3	野村証券	17.3
4	大和証券	14.9
5	SMBC日興証券	12.6
6	ゴールドマン・サックス証券	2.6
7	メリルリンチ日本証券	1.8
8	東海東京証券	1.6
9	シティグループ証券	1.3
10	しんきん証券	1.1

国内外エクイティ総合シェア^{*2}

順位	証券会社	シェア (%)
1	大和証券グループ本社	22.1
2	野村	20.2
3	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	11.6
4	みずほフィナンシャルグループ	11.3
5	三井住友フィナンシャルグループ	10.5
6	ゴールドマン・サックス	7.7
7	JPモルガン	3.9
8	バンクオブアメリカ・メリルリンチ	2.7
9	シティ	2.2
10	バークレイズ	1.4

M&Aアドバイザー（取引金額ベース）^{*3}

順位	アドバイザー	取引金額 (億円)
1	みずほフィナンシャルグループ	49,829
2	野村	45,643
3	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	41,414
4	JPモルガン	27,161
5	ゴールドマン・サックス	23,502
6	三井住友フィナンシャルグループ	22,313
7	UBS	20,900
8	シティ	20,276
9	ドイツ銀行グループ	19,917
10	ロスチャイルド	19,634

出所：Thomson Reutersより三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成

*1 普通社債、財投機関債等（高速道路債を含む）、地方債等の国内債主幹事リーグテーブルを集計

*2 三菱UFJモルガン・スタンレー証券には、日本企業による国内市場での株式引受案件におけるモルガン・スタンレーMUFG証券の引受分、日本企業による海外市場での株式引受案件におけるモルガン・スタンレーの引受分を含む

*3 日本企業が関わる公表案件（含、不動産取得案件）。三菱UFJモルガン・スタンレー証券にはモルガン・スタンレーがアドバイザーとなった案件も含む

(単位:百万US\$)

●業務純益

■資金利益増加

- ・貸出の増加や有価証券ポートの見直し等により増加

■非金利収益減少

- ・信託関連業務の売却により信託・資産運用手数料が減少
- ・金融規制に伴うデビットカードのインターチェンジ手数料減少により、カード関連が減少
- ・その他は、FDICアシスト型2行買収に伴うFDICからの補償資産を再評価した結果、FDIC補償資産収益が減少したことにより減少

■営業費増加

- ・割引率引き下げに伴う年金費用増加を主因に、人件費が増加

■業務純益は前年度比24百万ドル減少

●貸倒引当金繰入額

- 前年度は戻入益を認識するも、当期は若干の費用を計上

●当期純利益

- 前年度比▲149百万ドルの629百万ドル

<連結P/L>

	2011年	2012年	増減
1 粗利益	3,294	3,421	127
2 資金利益	2,478	2,634	156
3 非金利収益	816	787	▲29
4 預金手数料	206	209	3
5 信託・資産運用手数料	132	119	▲13
6 投資銀行業務	97	89	▲8
7 証券業務	47	44	▲3
8 カード関連	59	32	▲27
9 トレーディング	126	115	▲11
10 有価証券売買損益	58	108	50
11 その他	91	71	▲20
12 営業費	2,415	2,566	151
13 人件費	1,385	1,479	94
14 物件費等	1,030	1,087	57
15 業務純益	879	855	▲24
16 貸倒引当金繰入額 (▲は戻入)	▲202	25	227
17 税前利益	1,081	830	▲251
18 当期純利益	778	629	▲149

(単位:百万US\$)

●貸出金

- 住宅ローンや一般商業貸出の増加を主に、前年度末比増加

●有価証券

- ポートフォリオ見直しに伴い減少

●預金

- Pacific Capital Bancorpの買収影響に加え、オーガニックも積み上げた結果、増加

●不稼動資産

- 不稼動資産残高は、資産の質や回収等の改善により減少
- 不稼動資産比率*1は0.54%と引き続き低下

<連結B/S>		11年	12年	増減
		12月末	12月末	
1	資産の部合計	89,676	96,992	7,316
2	貸出金	53,540	60,034	6,494
3	有価証券	24,106	22,455	▲1,651
4	その他有価証券	22,833	21,352	▲1,481
5	満期保有有価証券	1,273	1,103	▲170
6	負債の部合計	77,846	84,237	6,391
7	預金	64,420	74,255	9,835
8	無利息預金	20,598	25,478	4,880
9	有利息預金	43,822	48,777	4,955
10	純資産の部合計	11,830	12,755	925
11	ネットインタレストマージン	(11年) 3.38%	(12年) 3.28%	▲0.10%
12	不稼動資産	782	616	▲166
13	不稼動資産比率*1	0.70%	0.54%	▲0.16%

*1 不稼動資産/総資産、FDIC案件を除く

UnionBanCal Corporation 3 (13年第1四半期/米国基準)



- 純利益は前年同期比▲48百万ドルの147百万ドル

(単位:百万US\$)

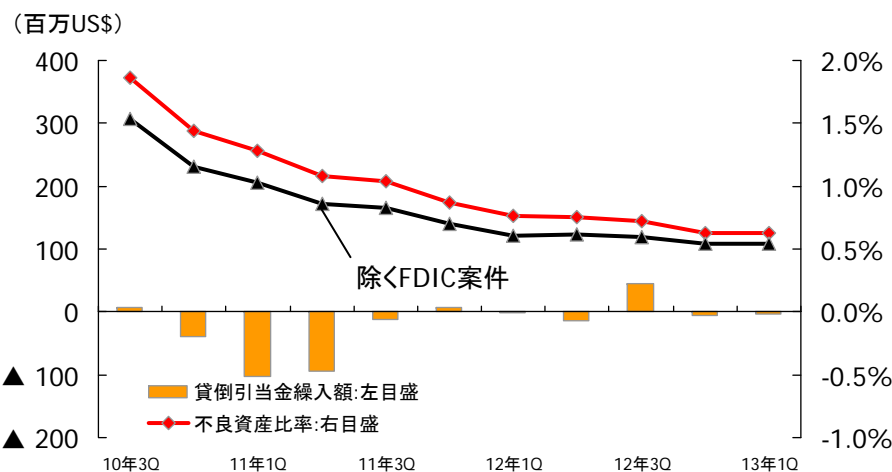
	12年 第1四半期	13年 第1四半期	増減
1 粗利益	855	903	48
2 営業費用	614	713	99
3 業務純益	241	190	▲51
4 貸倒引当金繰入額 (▲は戻入)	▲1	▲3	▲2
5 当期純利益	195	147	▲48
6 当期純利益(除く統合 関連損益、非継続事業)	202	170	▲32

13年第1四半期のポイント

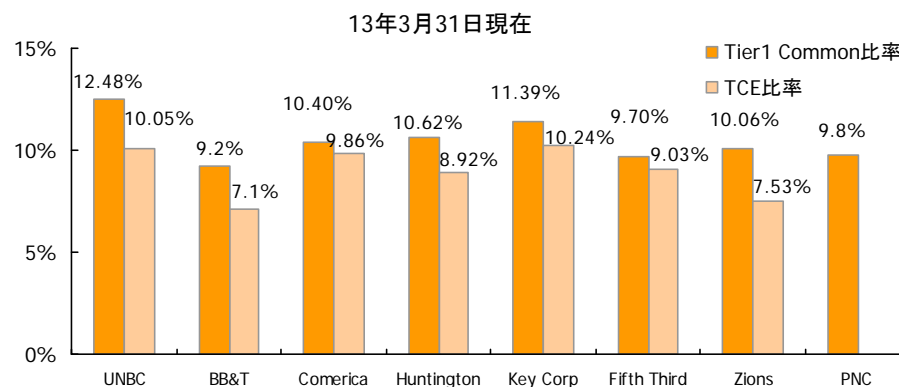
- 貸出残高増加
 - 貸出金平残 : 606億ドル(12年1Q比+11.8%)
 - うち住宅ローン平残 : 229億ドル(12年1Q比+15.4%)
 - 有利息預金平残 : 499億ドル(12年1Q比+12.5%)
 - ネットインテレストマージン(NIM) : 3.01%(12年1Q比-0.19ポイント)
- 不稼働資産比率*1はさらに低下
 - 不稼働資産残高 : 520百万ドル*1(総資産比0.54%*1)
 - 貸倒引当金残高 : 776百万ドル(不稼働貸出比149.2%)

*1 FDIC案件除く

不稼働資産比率と貸倒引当金繰入額



中核自己資本比率*2の有力地銀との比較



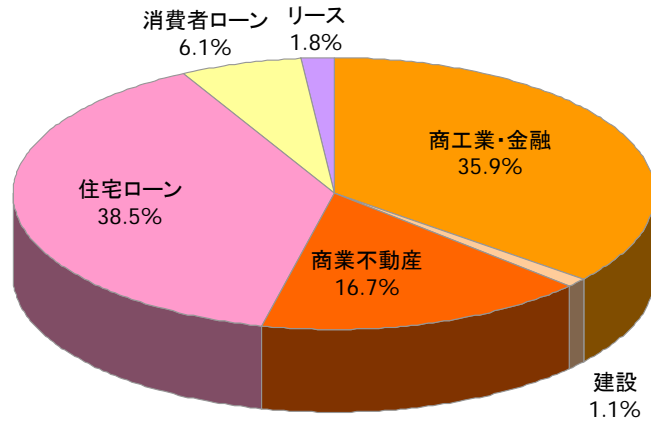
出所:各社公表資料

*2 BB&T: BB&T Corporation、Comerica: Comerica Incorporated、Huntington: Huntington Bancshares Incorporated、Key Corp: Key Corp Ltd、Fifth Third: Fifth Third Bancorp、Zions: Zions Bancorporation、PNC: The PNC Financial Services Group, Inc.

UnionBanCal Corporation 4 (米国基準)



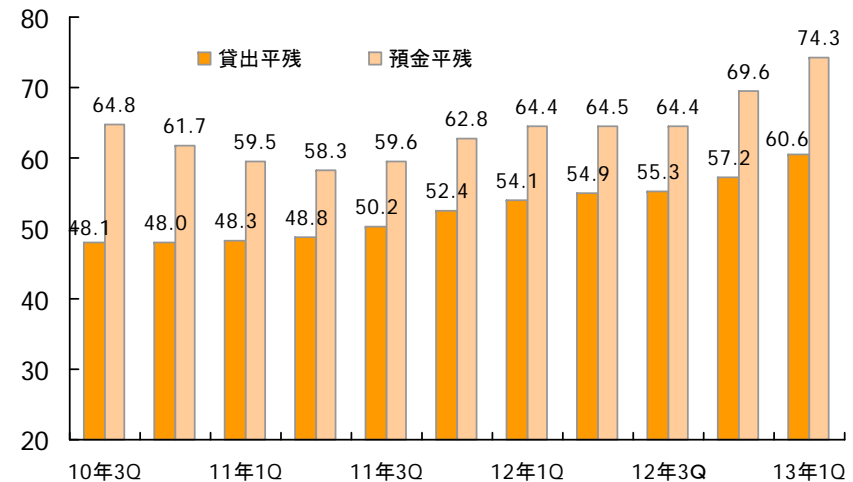
ローンポートフォリオ*1 (13年1Q)



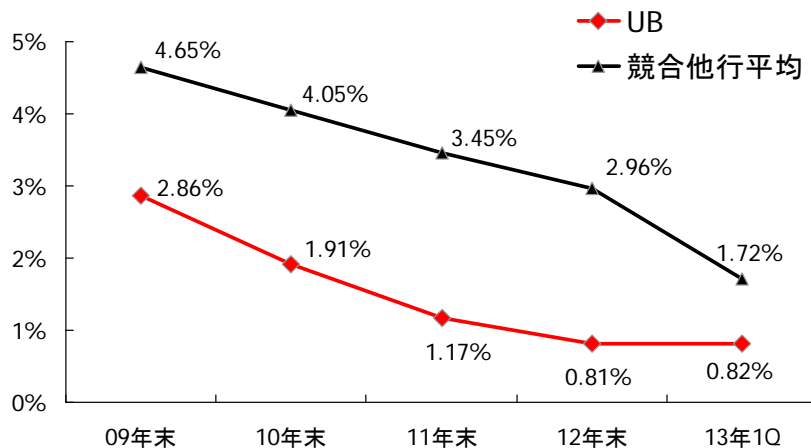
*1 FDIC案件除く、13年1Q平残基準

貸出・預金平残の推移

(10億US\$)

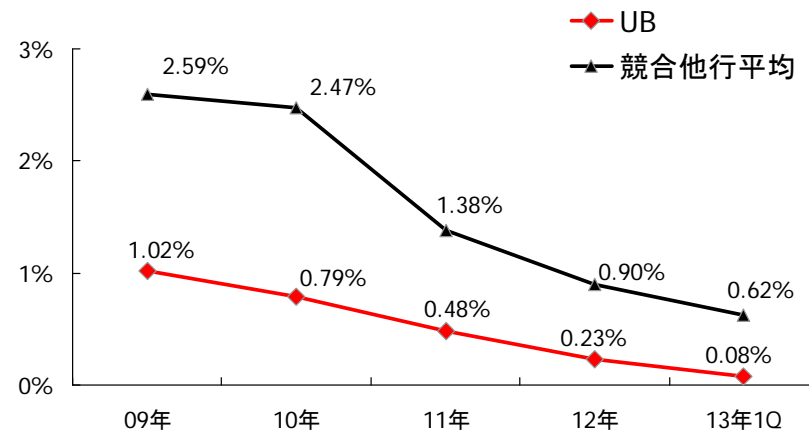


不稼動貸出比率



出所: SNL and Company reports

ネット償却/貸出平残比率



出所: SNL and Company reports

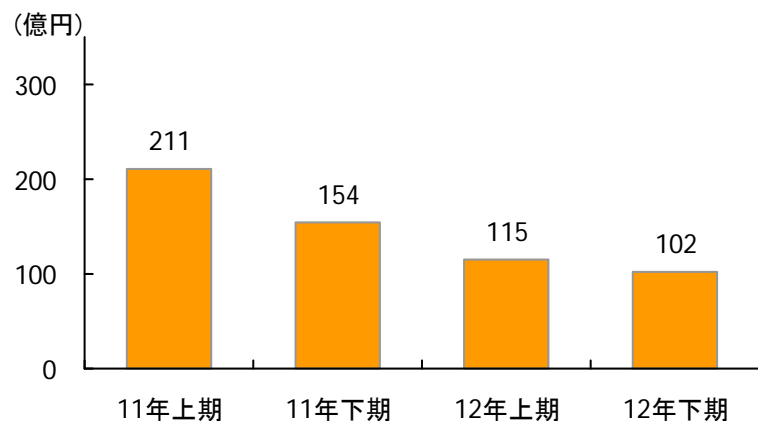
(単位: 億円)

	11年度	12年度	増減
1 営業収益	2,812	2,669	▲143
2 営業費用	2,522	2,429	▲92
3 営業利益	290	239	▲51
4 経常利益	295	246	▲49
5 当期純利益	287	316	29

12年度のポイント

- 営業収益は前年度比▲143億円
 - カードキャッシング・ファイナンス収益は減少するも、カードショッピング収益は増加
- 営業費用は前年度比▲92億円
 - 営業費用は、債権ポートフォリオの良化等に伴う貸倒関連費用を中心に減少
- 当期純利益は316億円 (前年度比+29億円)
 - 営業収益は減少も、繰延税金資産の積み増し(経常黒字の安定化に伴い繰延税金資産の見積期間を延長)、有価証券売却益計上等により、前年度比29億円増加

利息返還金



13年3月末利息返還引当金残高: 774億円

リスク管理債権^{*1}

(単位: 億円)

	12/3末	13/3末
1 破綻先債権	138	140
2 延滞債権	1,671	1,471
3 貸出条件緩和債権	852	782
4 計	2,661	2,394

*1 対営業貸付金および会員未収金

連結貸借対照表

(単位:億円)

	12/3末	13/3末	増減
1 現預金	227	201	▲25
2 会員未収金	7,214	7,535	320
3 営業貸付金	6,236	5,199	▲1,036
4 信用保証債務見返	8,025	7,034	▲991
5 貸倒引当金(固定化含)	▲1,734	▲1,577	157
6 有形固定資産	332	334	1
7 その他資産	2,856	3,262	406
8 資産合計	23,160	21,992	▲1,167
9 加盟店未払金・支払手形	2,500	2,697	196
10 信用保証債務	8,025	7,034	▲991
11 有利子負債*1	7,203	6,088	▲1,115
12 利息返還損失引当金	992	774	▲217
13 その他負債	2,825	3,469	643
14 負債合計	21,547	20,064	▲1,483
15 純資産合計	1,612	1,927	315
16 負債・純資産合計	23,160	21,992	▲1,167

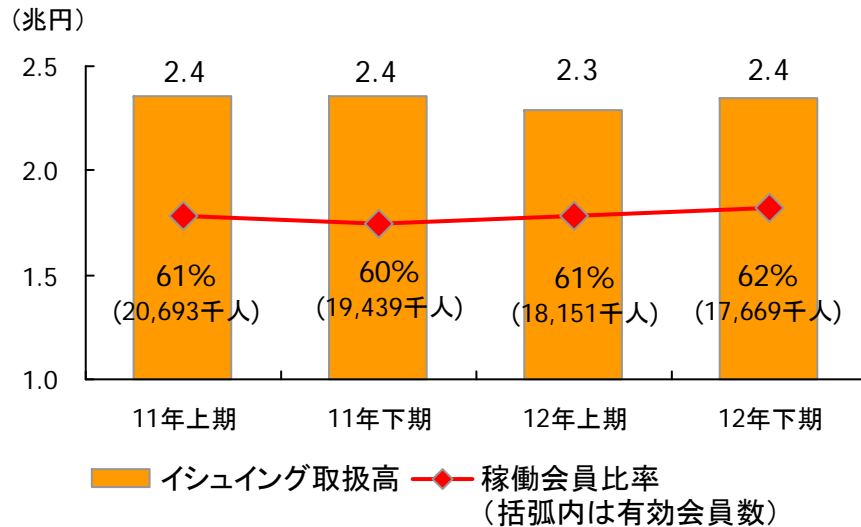
*1 有利子負債=長短借入金+社債+コマーシャル・ペーパー+リース債務

連結損益計算書

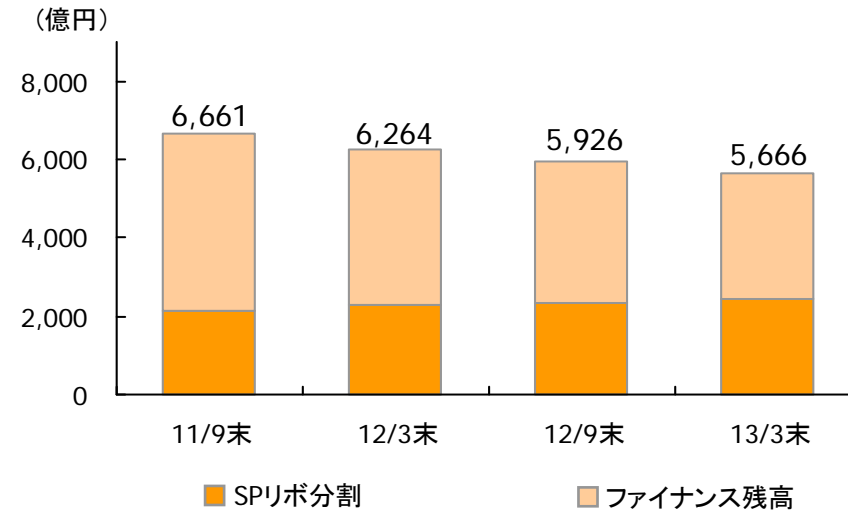
(単位:億円)

	11年度	12年度	増減率 (%)	増減
1 営業				
2 業				
3 業				
4 業				
5 業				
6 業				
7 業				
8 業				
9 業				
10 業				
11 業				
12 業				
13 業				
14 業				
15 業				
16 業				
17 業				
18 業				
19 業				
20 業				
1 クレジットカード収益	2,174	2,087	▲4.0	▲87
2 カードショッピング	1,608	1,636	1.7	27
3 カードキャッシング	565	450	▲20.3	▲115
4 ファイナンス収益	174	134	▲23.1	▲40
5 信用保証収益	106	89	▲15.8	▲17
6 その他の収益	343	342	▲0.0	▲0
7 金融収益	12	14	10.1	1
8 計	2,812	2,669	▲5.1	▲143
9 営業				
10 業				
11 業				
12 業				
13 業				
14 業				
15 業				
16 業				
17 業				
18 業				
19 業				
20 業				
9 販 人件費	342	360	5.1	17
10 管 一般経費	1,831	1,851	1.0	20
11 費 貸倒関連費用	238	129	▲45.6	▲108
12 費 計	2,412	2,341	▲2.9	▲71
13 用 金融費用	109	88	▲19.5	▲21
14 計	2,522	2,429	▲3.6	▲92
15 営業利益	290	239	▲17.6	▲51
16 営業外損益	4	6	43.0	2
17 経常利益	295	246	▲16.6	▲49
18 特別損益	▲7	15	-	23
19 法人税等	0	▲54	-	▲54
20 当期純利益	287	316	10.0	29

イシューング事業 取扱高

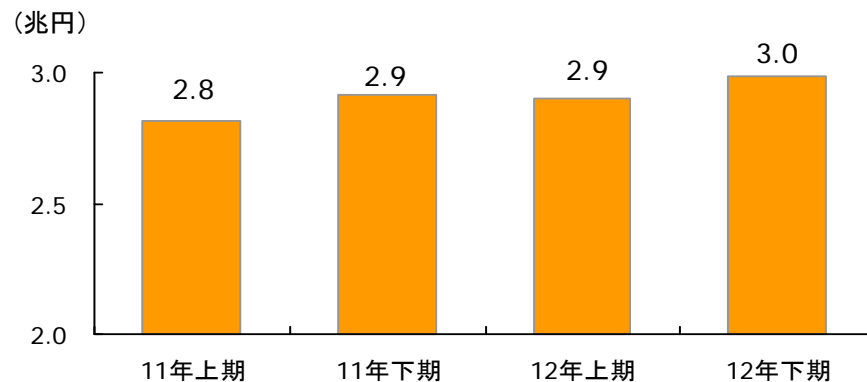


SPリボ分割・ファイナンス*1残高

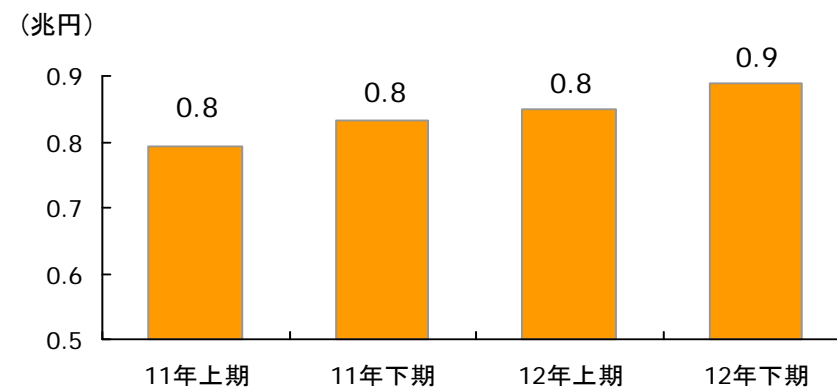


*1 カードキャッシング残高 + ローンカード残高 (管理会計基準)

アクワイアリング事業 取扱高



プロセッシング事業 取扱高*2



*2 業務受託先におけるショッピング取扱高 + キャッシング取扱高

(単位: 億円)

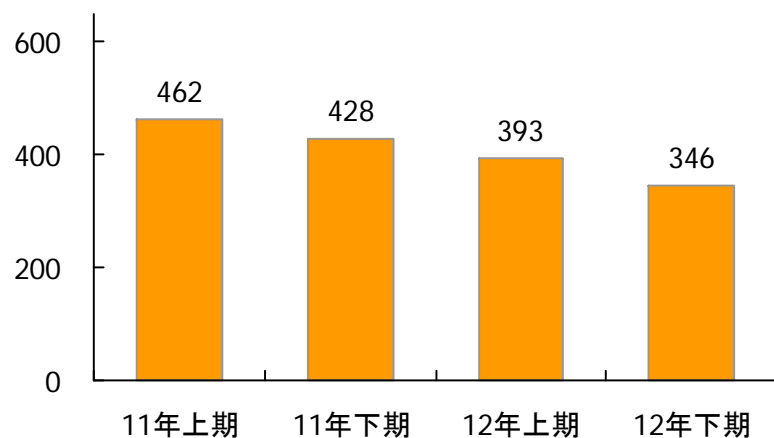
	11年度	12年度	増減
1 営業収益	2,104	1,930	▲174
2 営業費用	1,795	1,720	▲75
3 営業利益	308	209	▲99
4 経常利益	322	218	▲103
5 当期純利益	214	208	▲6

12年度のポイント

- 営業収益は前年度比▲174億円
 - 貸金業法の完全施行の影響等による営業貸付金残高の減少と貸付金利の低下により、ローン事業収益が減少
- 営業費用は前年度比▲75億円
 - 貸倒関連費用や金融費用が減少。利息返還損失引当金は429億円を繰入(前年度比▲58億円)
- 当期純利益は208億円(前年度比▲6億円)
 - じぶん銀行への債権譲渡に伴う「事業分離における移転利益」29億円等を特別利益に計上

利息返還金*1(単体)

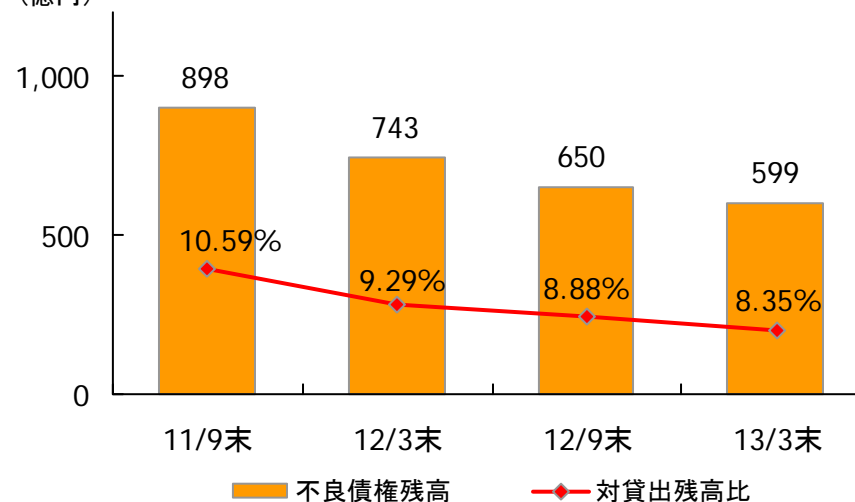
(億円)



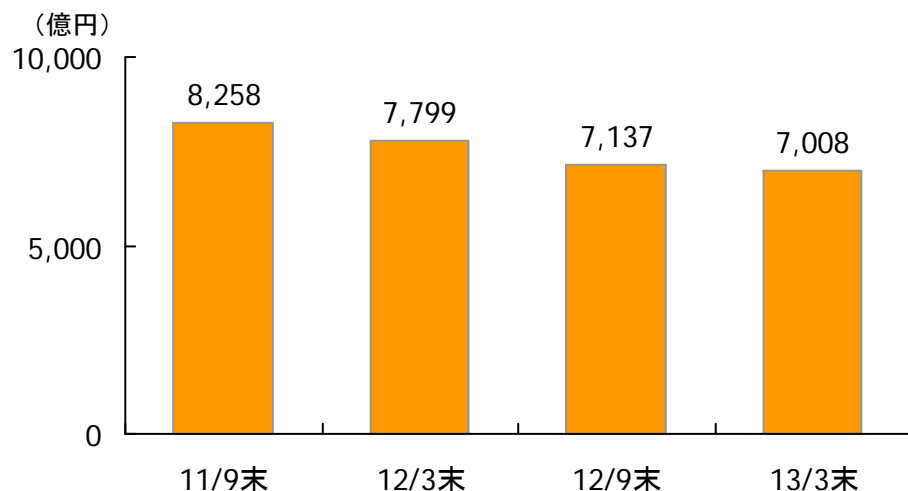
*1 キャッシュアウトベース

開示不良債権(単体)

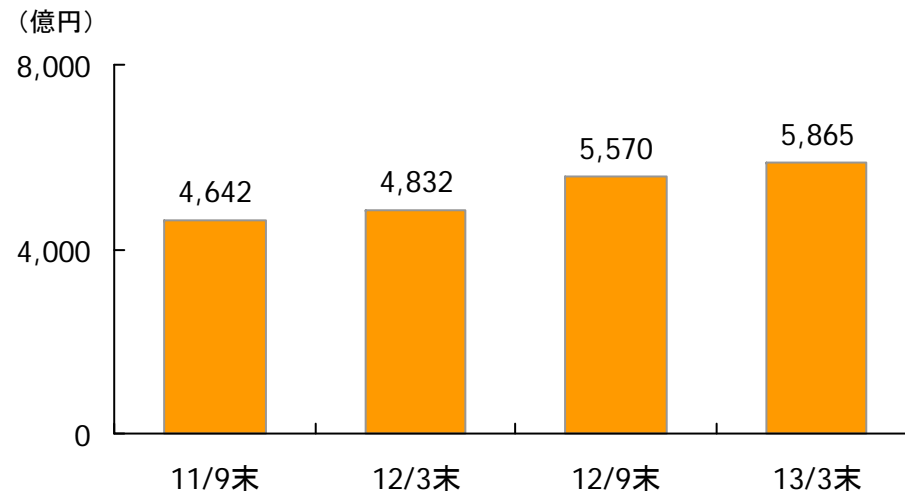
(億円)



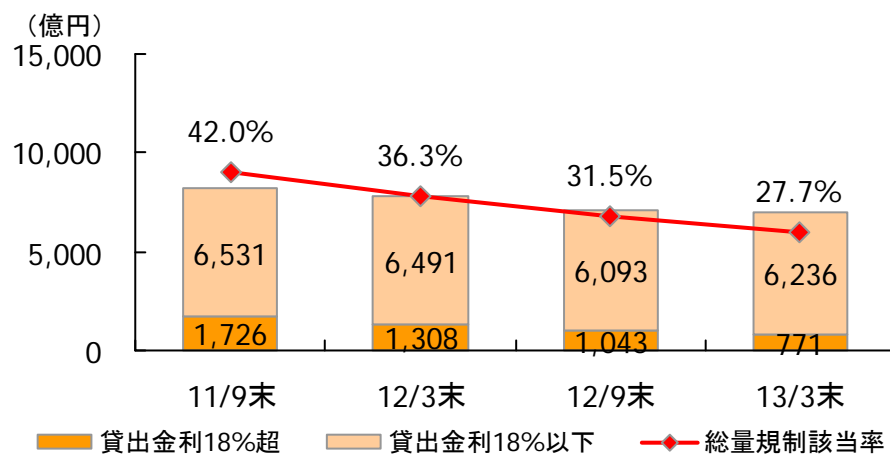
消費者向け無担保ローン残高 (単体)



信用保証残高 (単体)



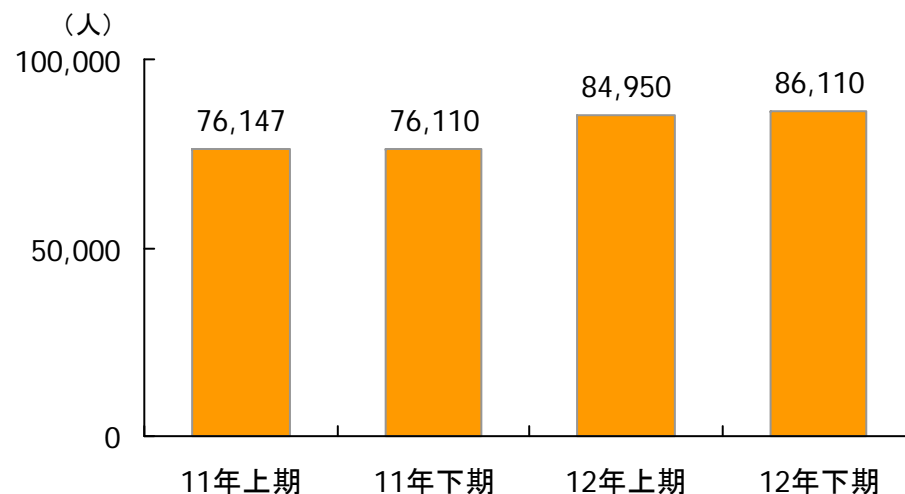
金利別残高構成*1・総量規制該当率*2 (単体)



*1 消費者向け無担保ローン残高における金利別構成

*2 母集団=全債権

新規顧客数 (単体)



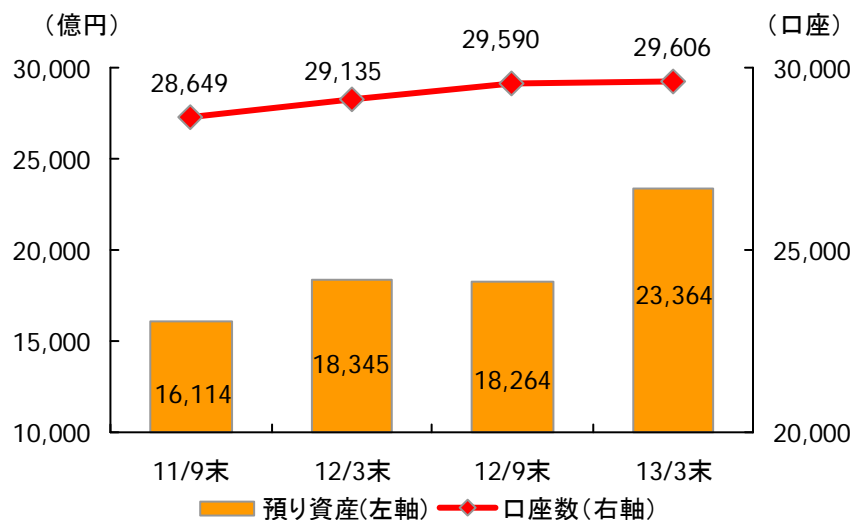
(単位: 億円)

	11年度	12年度	増減
1 営業収益	249	285	35
2 受入手数料	108	142	34
3 トレーディング損益	141	142	1
4 販管費	131	153	21
5 営業利益	117	131	13
6 経常利益	117	133	16
7 当期純利益	68	82	14

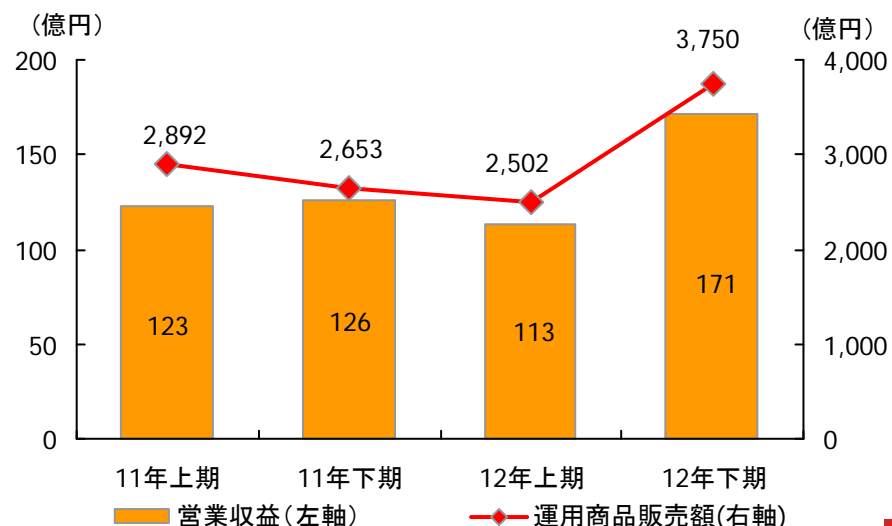
12年度のポイント

- 営業収益は前年度比+35億円
 - 投資信託の販売が大きく伸びて、受入手数料は前年度比+31%
- 当期純利益は82億円(前年度比+14億円)
- 口座数は堅調に増加、預り資産は期末にかけての円安・株高により、12年3月末比で+27%の増加
- 12年12月にMUFGの完全子会社化。
三菱UFJ証券ホールディングスの連結子会社となる

預り資産および口座数



営業収益および運用商品販売額



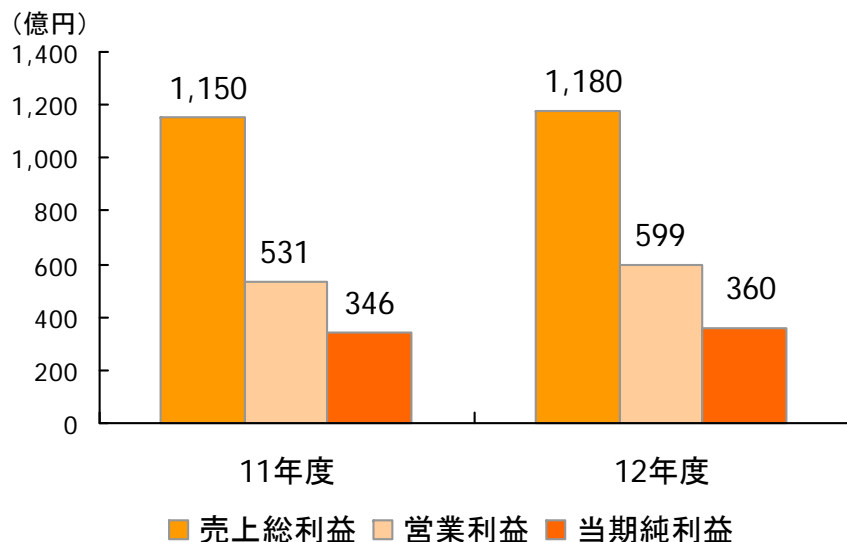
(単位:億円)

	11年度	12年度	増減
1 売上総利益	1,150	1,180	29
2 販管費	619	580	▲38
3 営業利益	531	599	68
4 当期純利益	346	360	13

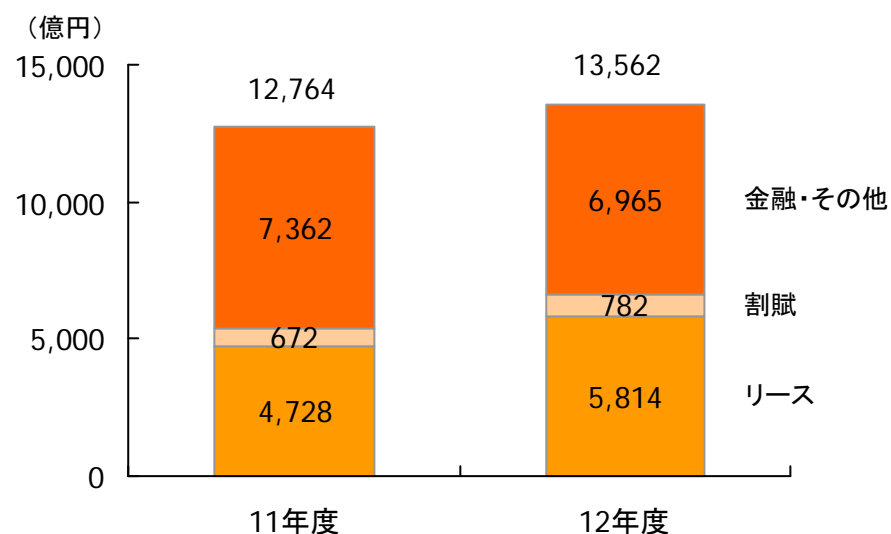
12年度のポイント

- 契約実行高は、前年度比+6.3%
 - 付加価値型の商品・サービスの提供等、顧客ニーズにあわせた提案型の営業を行った結果、増加
- 営業利益は前年度比+68億円
 - プライベートエクイティ事業において売却益を計上
 - 販管費は貸倒関連費用が前年度比56億円減少したことを主因に減少
- 当期純利益は360億円(前年度比+13億円)

収益の推移



契約実行高



●三菱UFJ投信

(単位:億円)

	11年度	12年度	増減
1 営業収益	476	485	+9
2 営業費用	392	407	+14
3 営業利益	83	78	▲5
4 当期純利益	51	54	+2
5 投信運用残高*(兆円)	6.5	7.5	+1.0
6 株式投信	5.9	6.8	+0.9
7 公社債投信	0.6	0.7	+0.2

*末残ベース

●国際投信投資顧問

(単位:億円)

	11年度	12年度	増減
1 営業収益	429	342	▲87
2 営業費用	307	260	▲46
3 営業利益	122	81	▲41
4 当期純利益	74	53	▲20
5 投信運用残高*(兆円)	3.4	3.6	+0.1
6 株式投信	3.0	3.0	+0.0
7 公社債投信	0.5	0.6	+0.1

*末残ベース

12年度のポイント

- 営業収益は485億円(前年度比+9億円)
 - 投信運用残高の増加を主因に増収
- 当期純利益は54億円(前年度比+2億円)
- 投信運用残高は7.5兆円(前年度比+1.0兆円)
 - 「三菱UFJ新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ」、「グローバル金融機関ハイブリッド証券ファンド」等の販売好調や年明け以降の市場環境の好転もあり前年度比増加

12年度のポイント

- 営業収益は342億円(前年度比▲87億円)
 - 年度前半の投信運用残高の落ち込みを主因に減収
- 当期純利益は53億円(前年度比▲20億円)
- 投信運用残高は3.6兆円(前年度比+0.1兆円)
 - 主力ファンド「グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)」の資金流出は鈍化、下期には「エマージング・ソブリン・オープン(毎月決算型)為替ヘッジあり」等の販売好調や市場環境の好転もあり、前年度比増加

部門別収益の状況

部門別収益

【連結】



MUFG

(単位:億円)

	11年度		12年度		増減	
	(構成比)	(構成比)	(構成比)	(構成比)	(増減率)	(増減率)
1 粗利益*1	35,811	100%	37,165	100%	1,354	4%
2 リテール	12,259	34%	12,065	33%	▲194	▲2%
3 法人	8,653	24%	8,566	23%	▲87	▲1%
4 国際	6,177	17%	7,553	20%	1,376	22%
5 UNBC	2,520	7%	2,885	8%	365	14%
6 受託財産	1,401	4%	1,388	4%	▲13	▲1%
7 市場・その他	7,322	21%	7,593	20%	271	4%

(単位:億円)

	11年度		12年度		増減	
	(構成比)	(構成比)	(構成比)	(構成比)	(増減率)	(増減率)
1 営業純益*1	14,785	100%	15,076	100%	291	2%
2 リテール	3,147	21%	2,939	20%	▲208	▲7%
3 法人	4,191	28%	4,167	28%	▲25	▲1%
4 国際	2,493	17%	3,041	20%	548	22%
5 UNBC	790	5%	831	6%	41	5%
6 受託財産	528	4%	505	3%	▲23	▲4%
7 市場・その他	4,425	30%	4,425	29%	▲0	▲0%

*1 社内管理ベース

商銀連結・信託連結

<12年度>

(単位:億円)

	商銀連結		信託連結	
	(構成比)	(構成比)	(構成比)	(構成比)
1 粗利益*1	25,783	100%	4,142	100%
2 リテール	5,958	23%	749	18%
3 法人	6,657	26%	1,307	31%
4 国際	7,427	29%	-	-
5 UNBC	2,885	11%	-	-
6 受託財産	-	-	1,107	27%
7 市場・その他	5,741	22%	979	24%

<12年度>

(単位:億円)

	商銀連結		信託連結	
	(構成比)	(構成比)	(構成比)	(構成比)
1 営業純益*1	11,724	100%	1,773	100%
2 リテール	1,397	12%	114	6%
3 法人	3,303	28%	834	47%
4 国際	3,001	26%	-	-
5 UNBC	831	7%	-	-
6 受託財産	-	-	402	23%
7 市場・その他	4,024	34%	424	24%

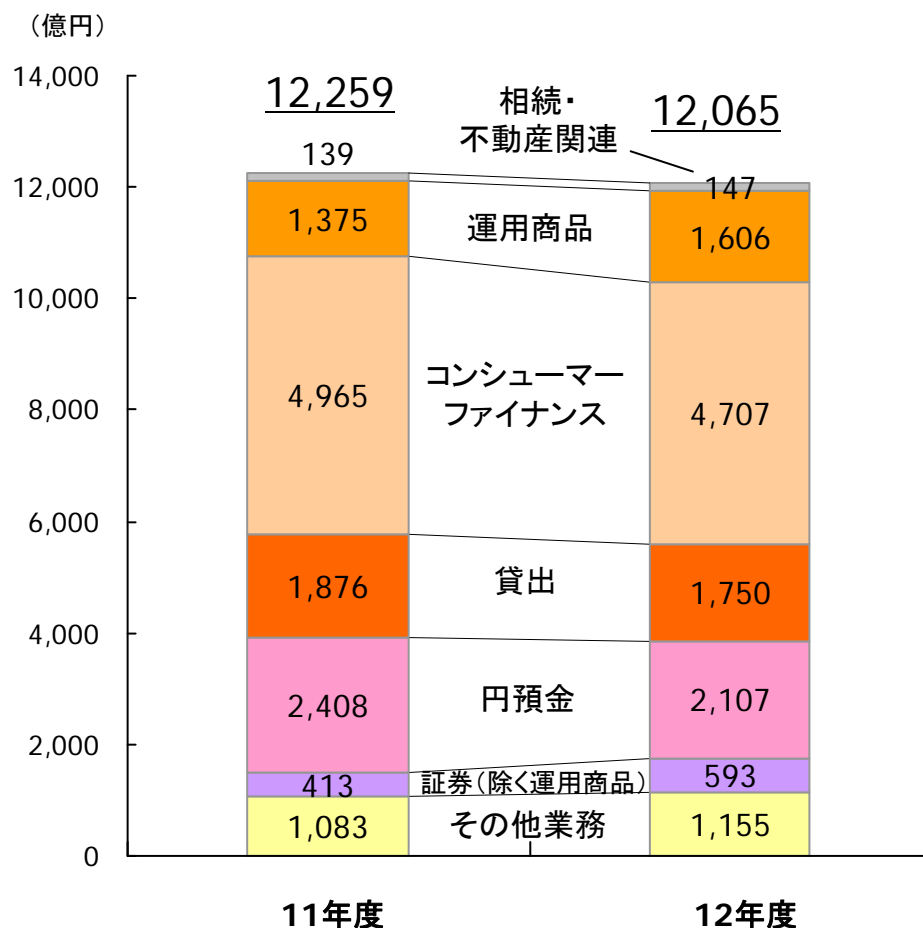
リテール(粗利益・営業純益)

【連結】

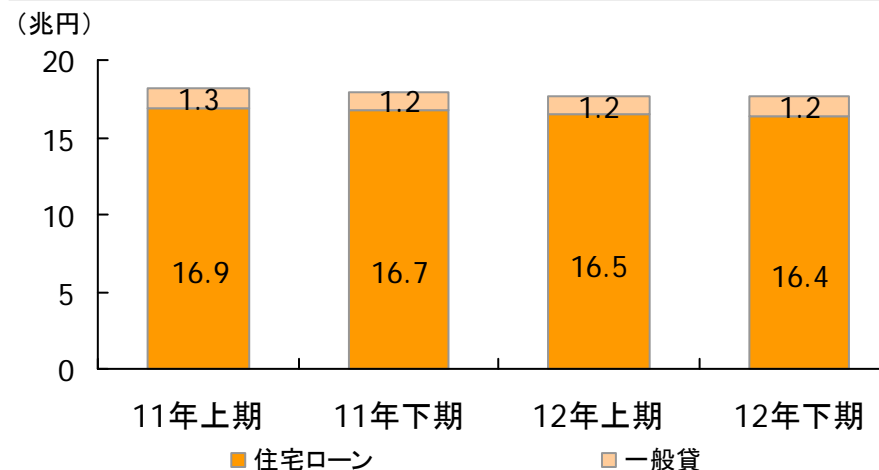


- 粗利益は前年度比▲2%の12,065億円、営業純益は前年度比▲7%の2,939億円
- 証券収益は前年度比+44%、運用商品販売収益も+17%と堅調も、コンシューマーファイナンス収益や円預金収益が減少

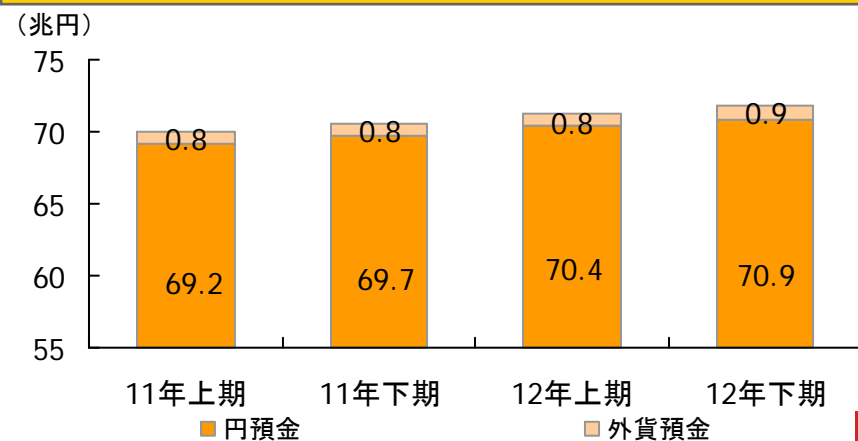
連結粗利益



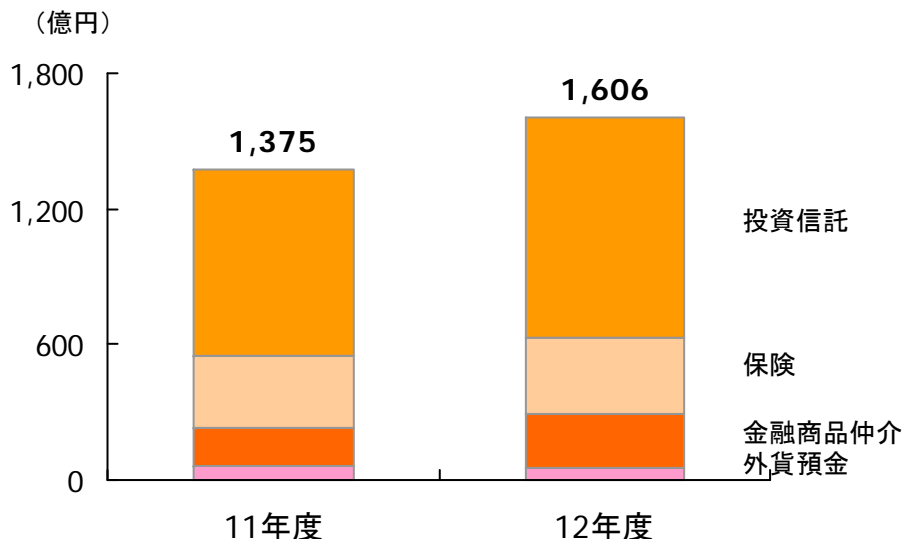
リテール貸出平残



リテール預金平残



運用商品収益



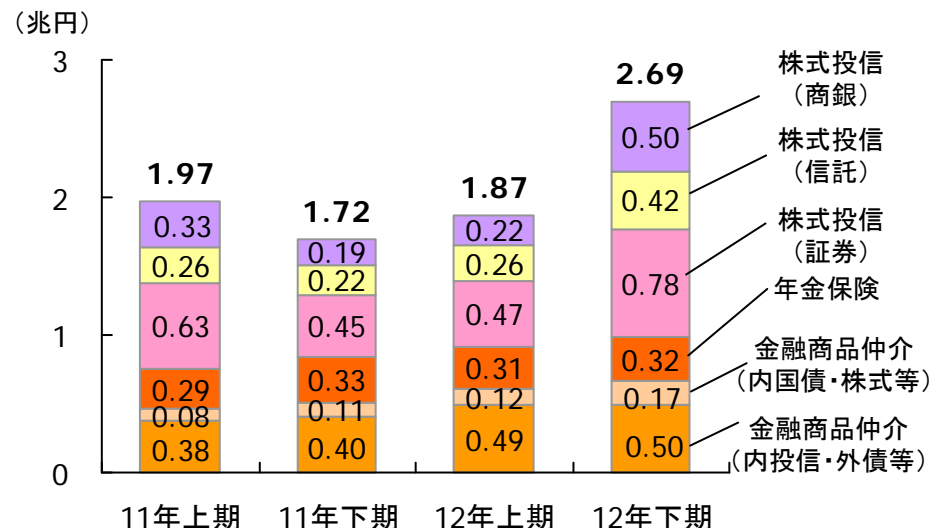
12年度実績:粗利益1,606億円
(前年度比+231億円)

- 市況の回復も受け、銀信証での投信販売が大幅増加となった結果、投信販売収益も大幅増。また、金融商品仲介も順調に拡大
- 株式投信・年金保険・金融商品仲介の合計預り残高は、販売額の拡大と市場価格の上昇を背景に増加

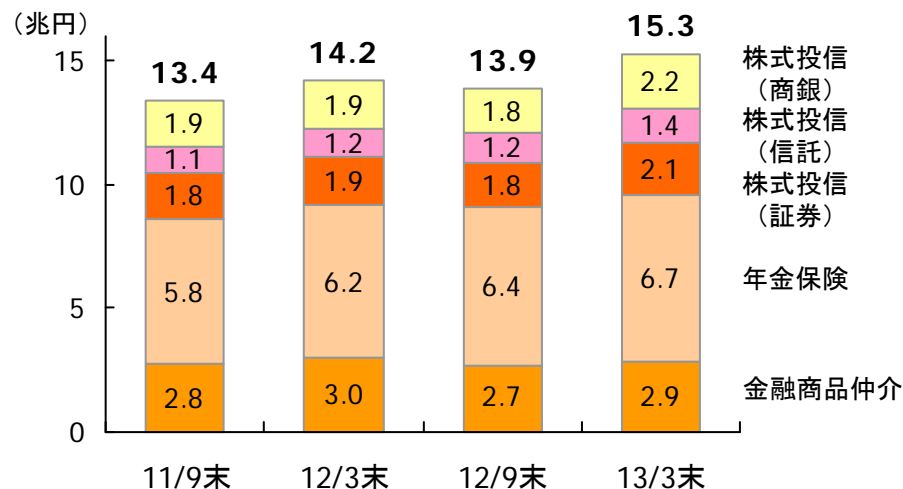
13年度の取組み:

- セグメント戦略推進により、潜在的な運用ニーズのあるお客様へアプローチ
- 個人向け国債の償還資金の代替投資ニーズなど、環境変化や市場動向、顧客ニーズを捉えたタイムリーな商品投入

運用商品販売額(BTMU+MUTB+MUMSS)



株式投信・年金保険・金融商品仲介*1の預り残高



*1 金融商品仲介残高には「紹介」分を含む

リテール(保険商品販売)

【商業銀行】

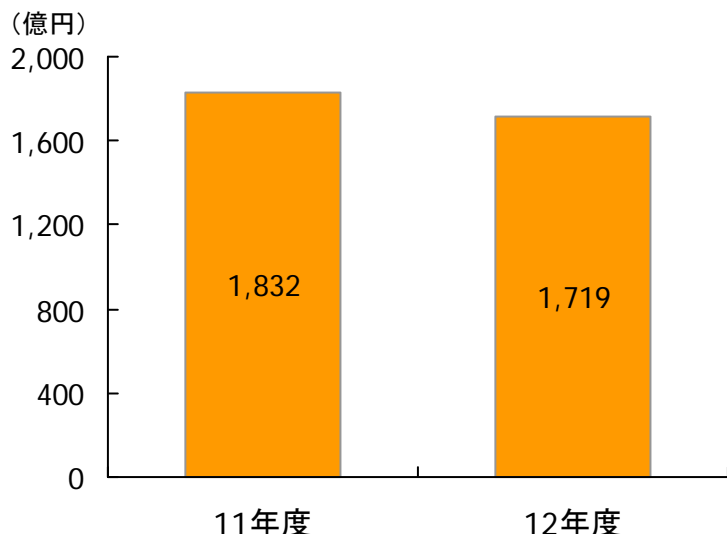


- 07年12月の全面解禁以降、取扱店舗数、販売担当者数を段階的に拡大
- 取扱い商品は、貯蓄もできる終身保険を中心にラインナップを拡充

取扱い商品分野		取扱商品数 ^{*1}	銀行窓販 解禁時期	取扱店舗数 (13/3末)	販売担当者 ^{*2}
一時払	投資型年金保険	3	2002年10月	528店	保険プランナー、SFP、FP等 約6,800名
	定額年金保険	7			
	終身保険	8	2005年12月		
	医療・介護保険	3			
平準払	終身保険	7	2007年12月	475店	保険プランナー482名 一般行員約4,000名 (13/3末)
	収入保障保険	3			
	養老保険	1			
	学資保険	1			
	医療保険	5			
	がん保険	3			
	定額年金保険	2			
自動車保険	2	上記「一時払定額年金保険」と同様 ダイレクトのみで取扱			

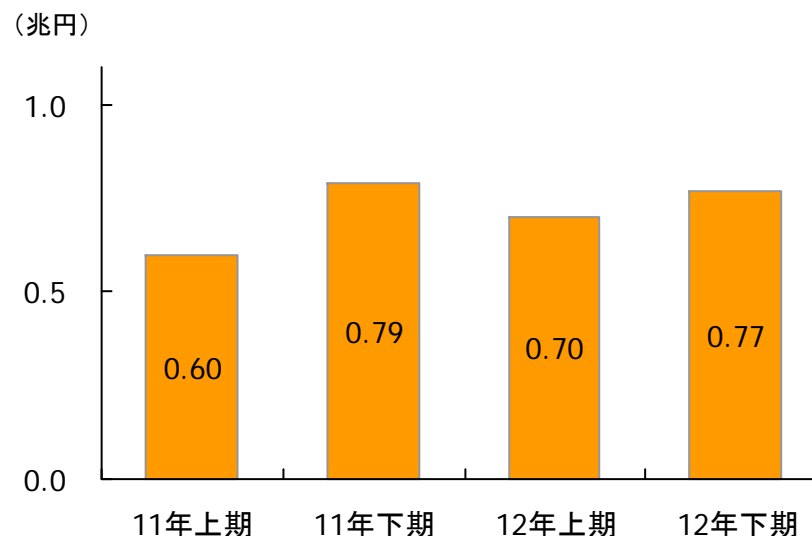
*1 13年3月末現在 *2 保険プランナー数は営業店配置の人数

住宅ローン収益

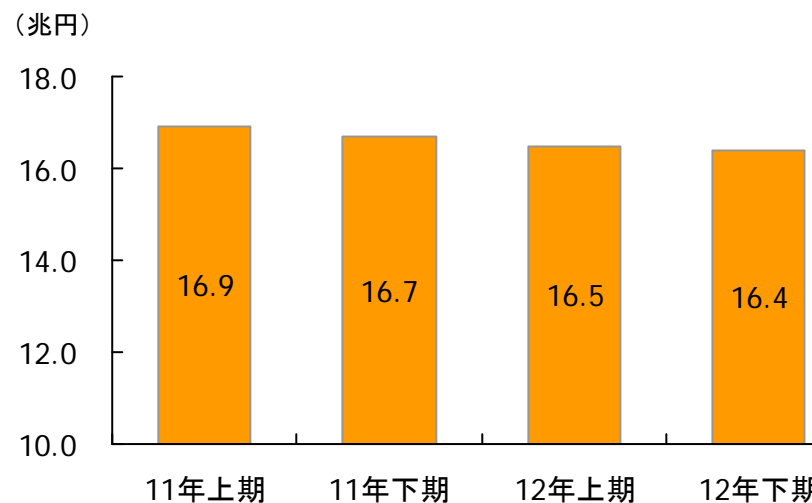


(注) 住宅ローンは、賃貸用不動産建築資金等を含む

住宅ローン実行額



住宅ローン平残



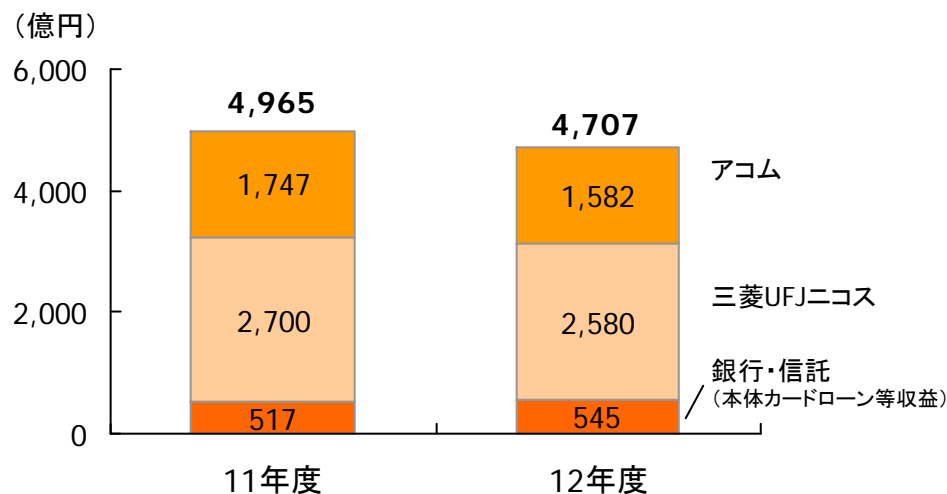
12年度実績: 粗利益1,719億円
(前年度比▲113億円)

- 固定金利の住宅ローン商品販売が伸び、12年度の住宅ローン実行額は前年度比+6%増加
- 住宅ローン平残は、減少幅が縮小傾向

13年度の取組み:

- 不動産業者からの案件持込拡大に向けた営業強化
- 固定金利商品のバリエーション拡大

コンシューマーファイナンス収益



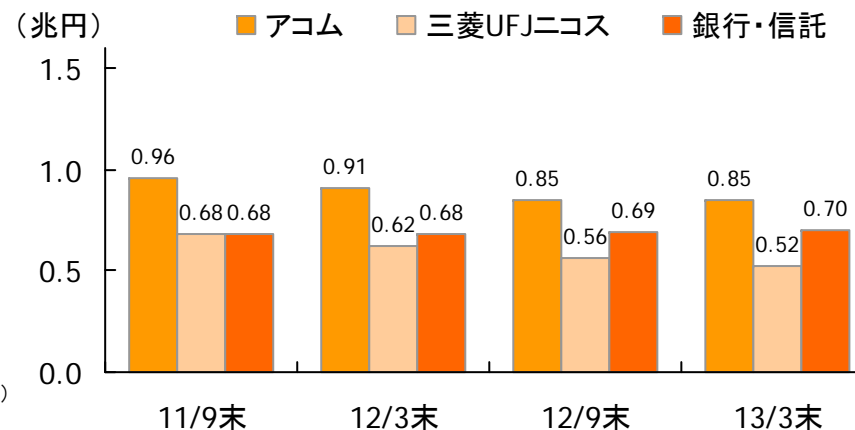
12年度実績:粗利益4,707億円
(前年度比 ▲258億円)

- アコムおよび三菱UFJニコスの貸出残高減少を主に収益は減少
- 銀行カードローン「バンクイック」の残高は着実に増加

13年度の取組み:

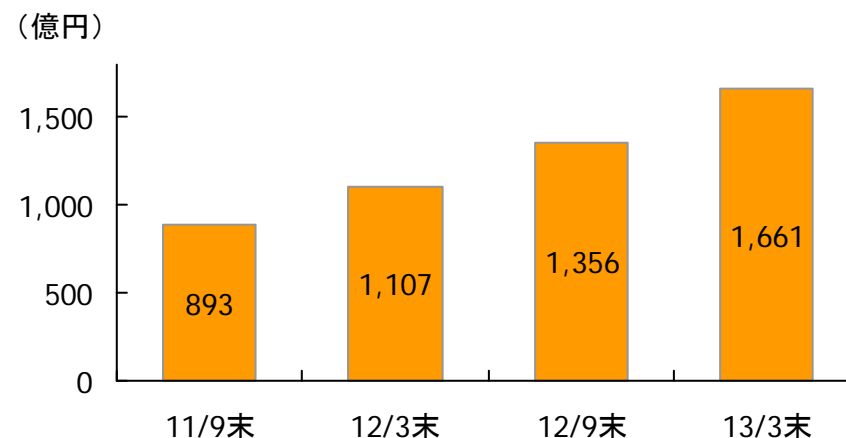
- 健全な消費者金融市場育成への貢献のため、銀行ではバンクイックを中心に、新規会員獲得、貸出残高増加に注力
- アコムは貸出残高反転に向けた新規会員獲得に注力

貸出残高

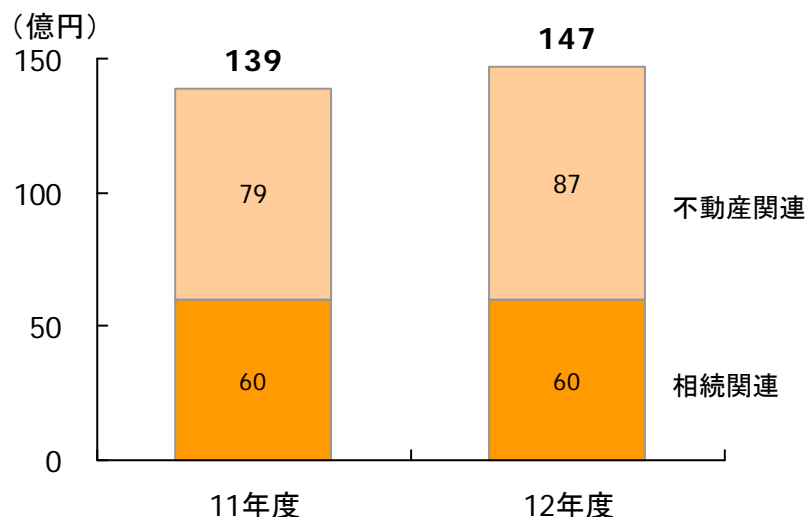


アコム : 連結ベースでのローン事業および銀行業の残高
 三菱UFJニコス : カードキャッシングおよびローンカード残高
 銀行・信託 : カードローン等残高

バンクイック残高



相続・不動産関連収益



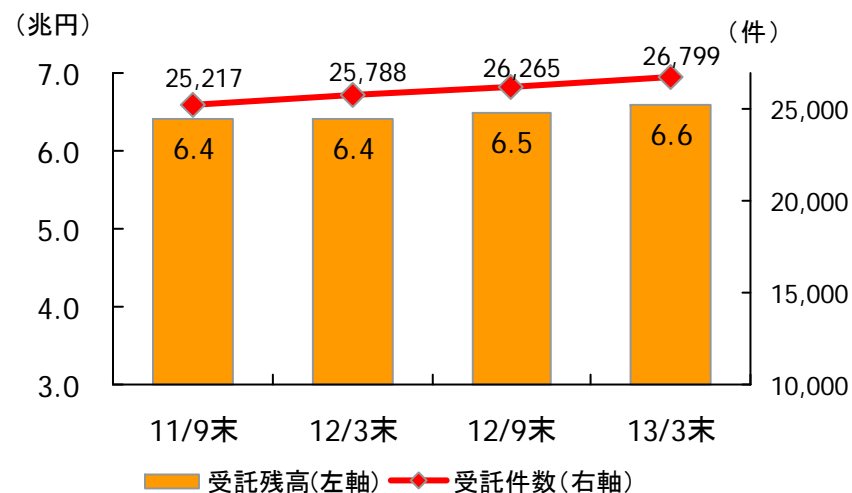
12年度実績:粗利益147億円
(前年度比+8億円)

- 執行付遺言信託は受託件数、受託残高とも堅調に推移
- 不動産関連収益は前年同期比10%増加

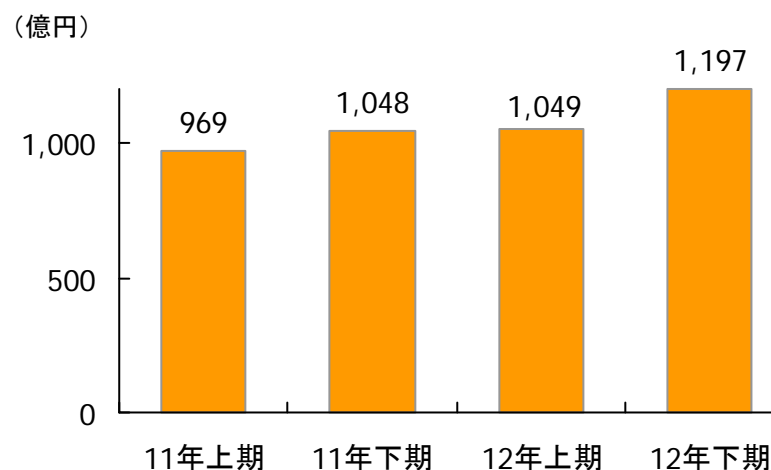
13年度の取組み:

- 銀信協働による相続・承継ニーズの提案力を強化
- 信託銀行に設置した組織を活用し、資産承継・相続起点の不動産ニーズ対応を強化

執行付遺言信託の受託残高・件数



不動産取扱高*1



*1 三菱UFJ不動産販売のうちリテール部門のみの取扱高

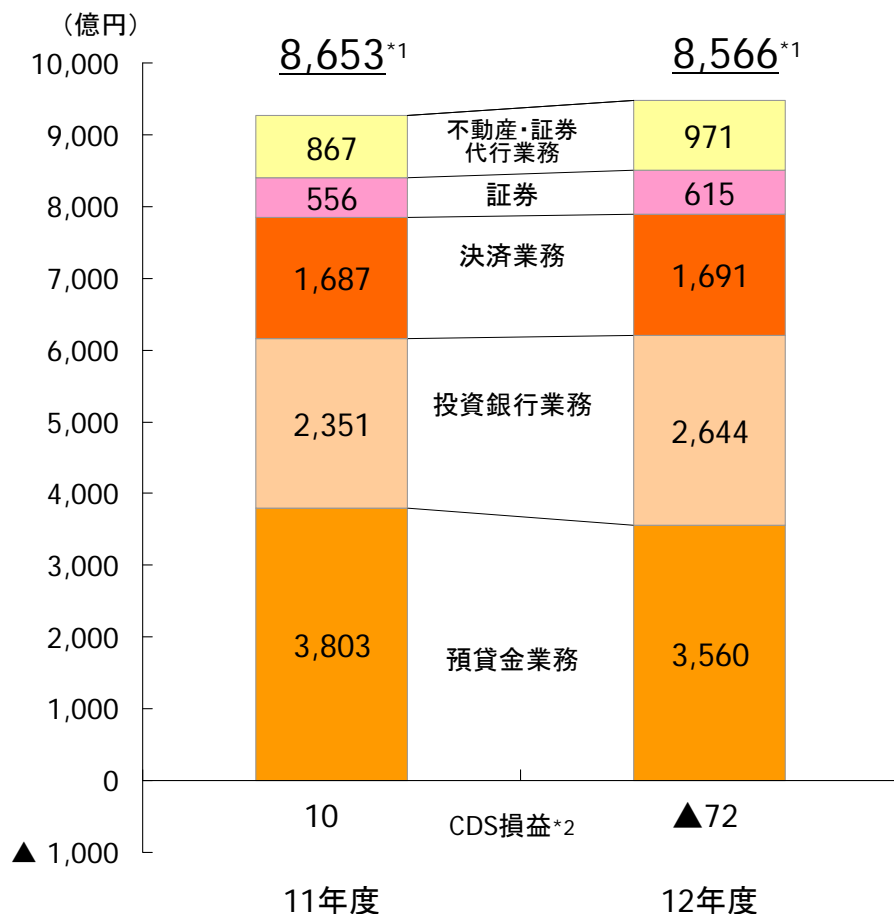
法人国内(粗利益・営業純益)

【連結】



- 粗利益は前年度比▲1%の8,566億円、営業純益は前年度比ほぼ横ばいの4,167億円
- 預貸金収益が減少も、投資銀行収益や証券、不動産が増加

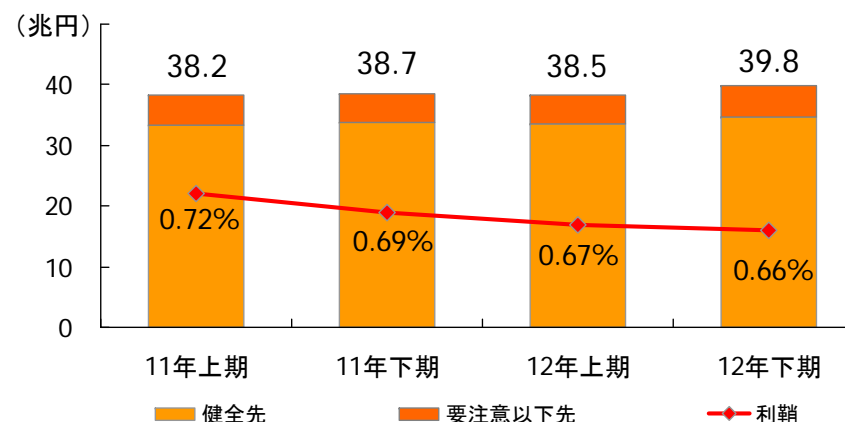
連結粗利益*1



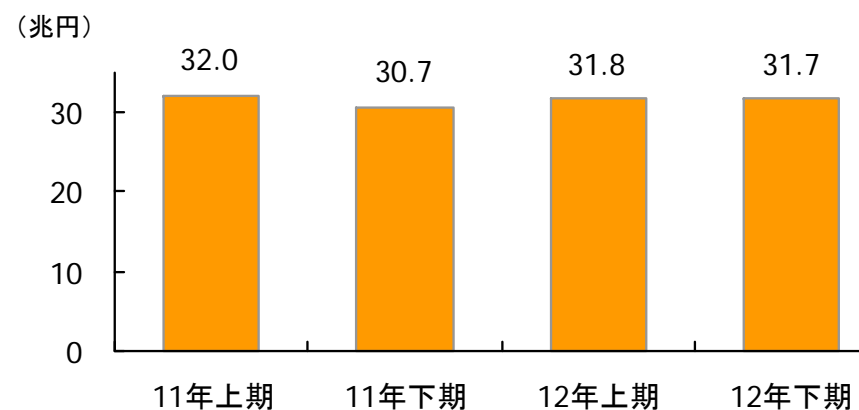
*1 その他業務や業務間重複計上を調整した合計値

*2 CPM投資に係る債券減損等を含む

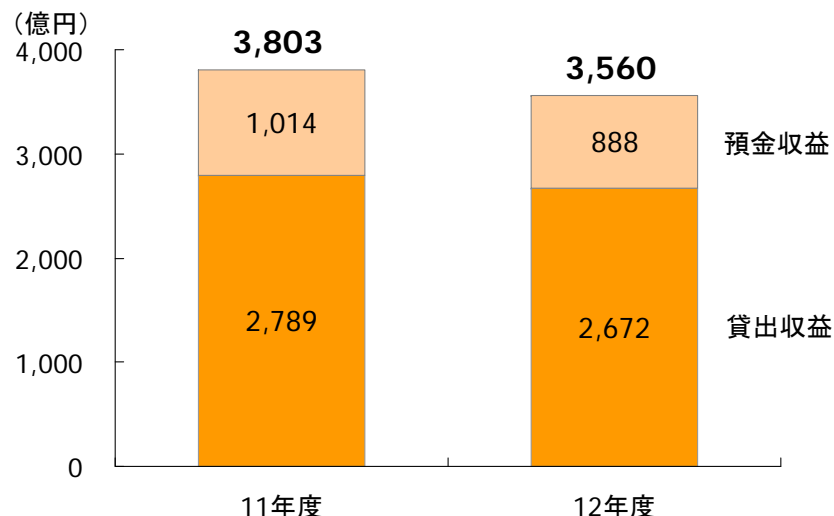
国内貸出平残と利鞘



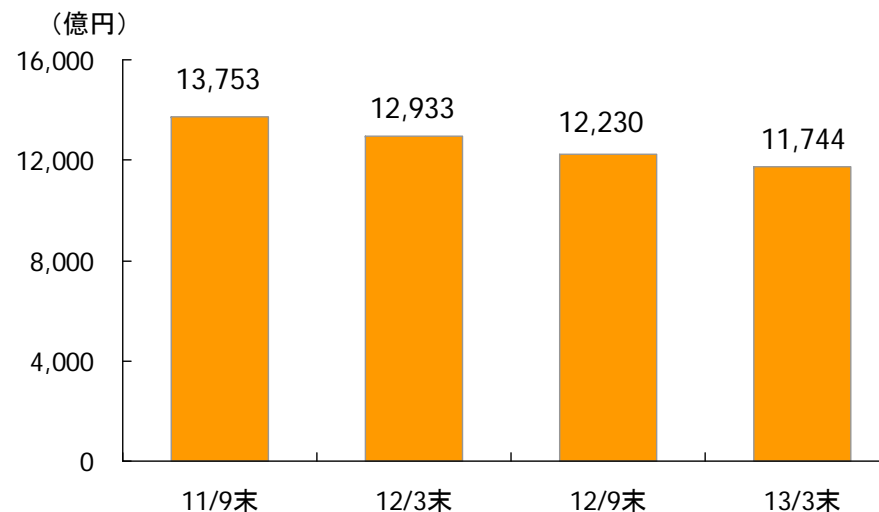
円預金平残



預貸金業務収益



保証協会保証付貸出残高*1



*1 商業銀行データ(私募債残高を除く)

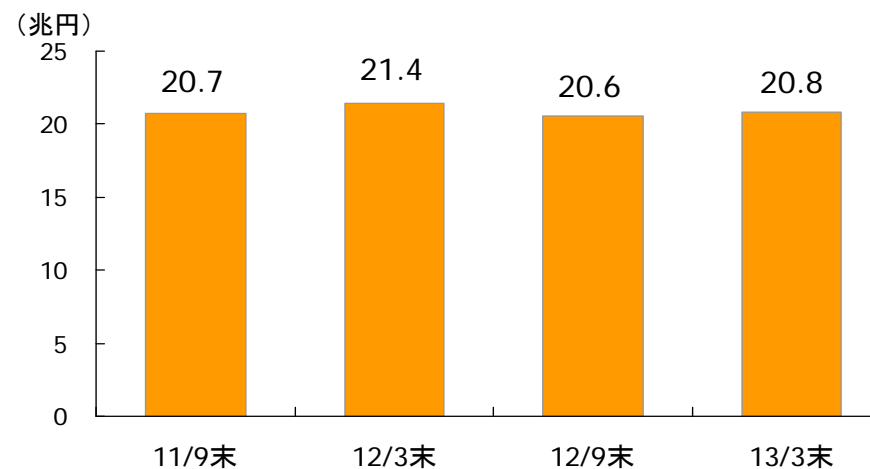
12年度実績:粗利益3,560億円
(前年度比▲243億円)

- 貸出収益は、残高は増加するも利鞘の低下により前年度比▲117億円
- 預金収益は、市場金利低下を主因に前年度比▲126億円

13年度の取組み:

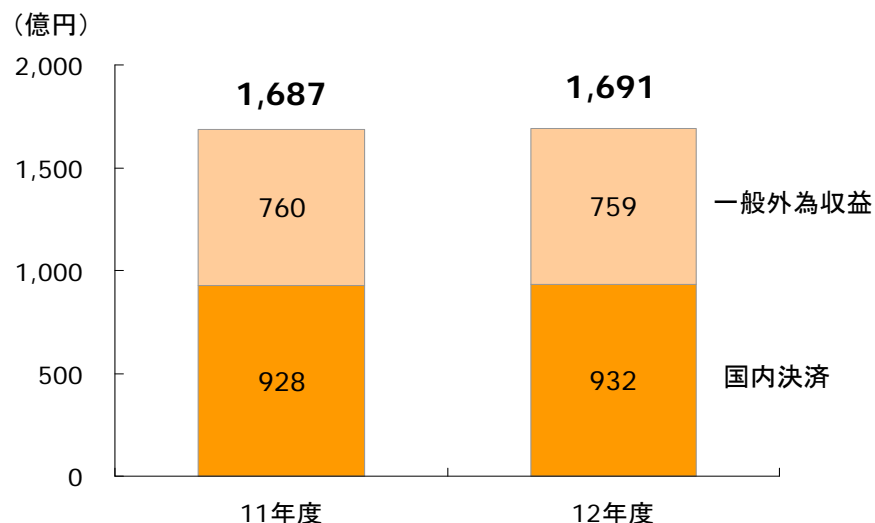
- M&A、事業承継等における資金ニーズ取り込み
- 課題解決型営業による良質貸出資産の積上げ
- 保証協会保証付貸出の推進
- 適切なリターンの確保

中小企業貸出残高(日銀基準)*2

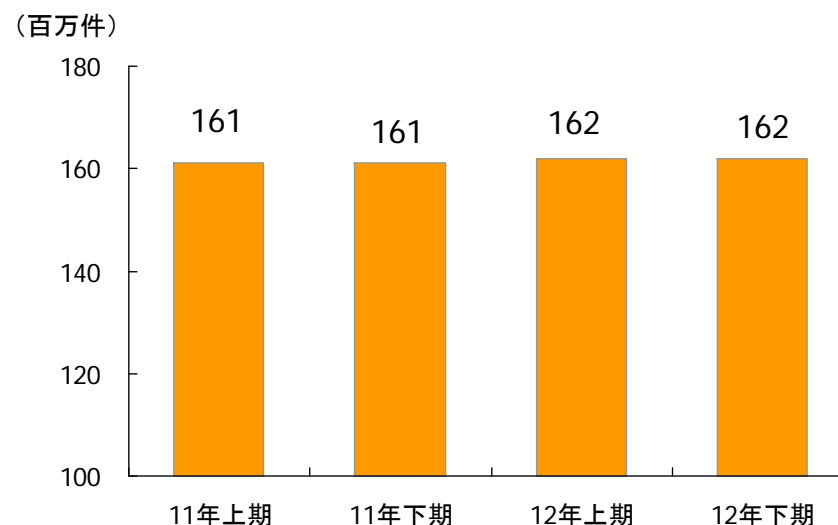


*2 単体合算

決済業務収益



国内仕向振込件数*1



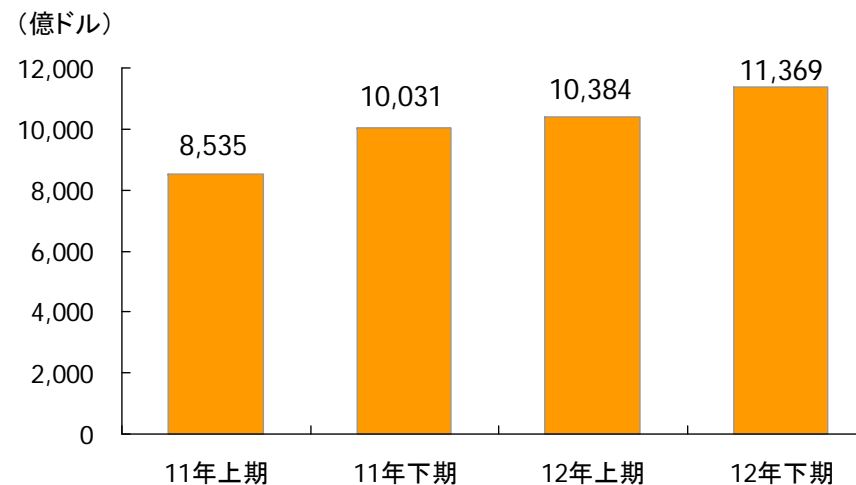
**12年度実績:粗利益1,691億円
(前年度比+3億円)**

- 一般外為収益、国内決済収益ともに前年度比ほぼ横ばい
- 外為取扱高は前年度比+17.2%増

13年度の取組み:

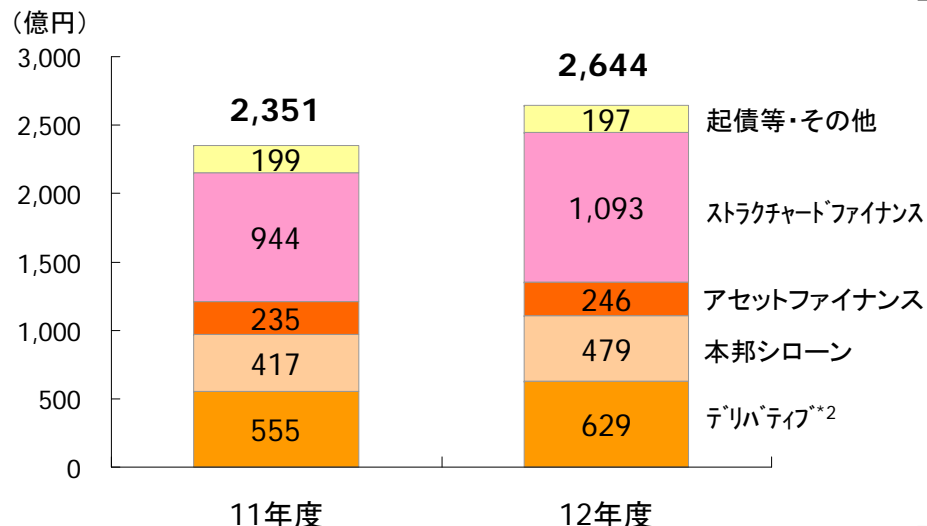
- エマージング通貨取引、トレードファイナンス等のグローバルビジネス推進
- でんさいリリースに伴う、決済取引の増強
- BizSTATION等の機能拡充による為替取扱件数・金額の強化

外為取扱高*1



*1 商業銀行データ

投資銀行業務収益*1



*1 業務間の重複計上を含む *2 金融商品仲介を含む

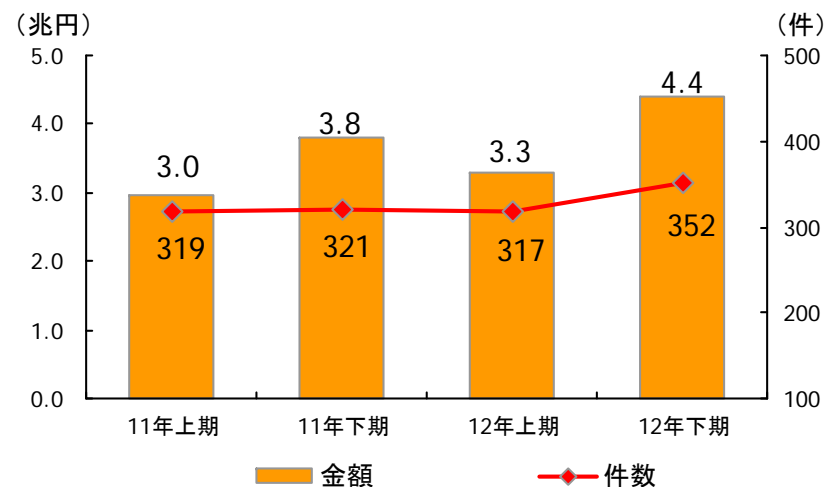
12年度実績: 粗利益2,644億円 (前年度比+293億円)

- ストラクチャードファイナンス収益は、イベントファイナンスの取り込み等により、前年度比+149億円と好調
- 対顧客デリバティブは、借り入れの金利ヘッジニーズを取り込み、前年度比+74億円

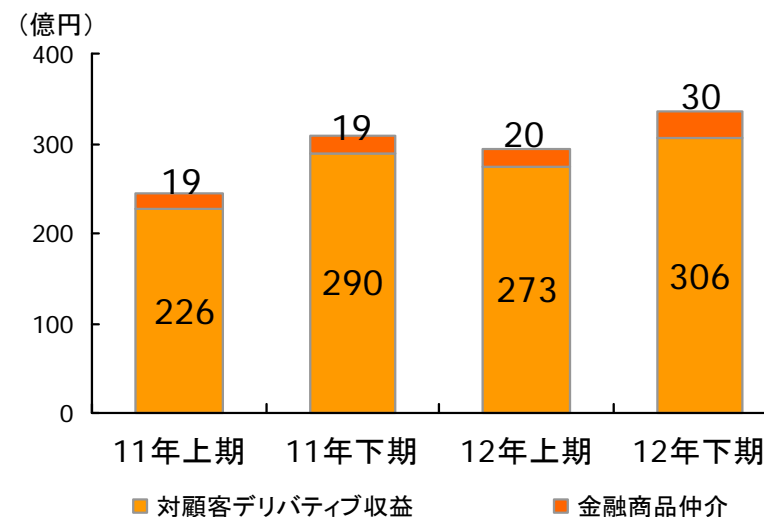
13年度の取組み:

- 海外インフラプロジェクト関連、M&A関連ファイナンスの強化
- 電手決済サービスによるベンダーファイナンスの拡大
- 金融商品仲介ビジネスの強化

本邦シローンアレンジ実績

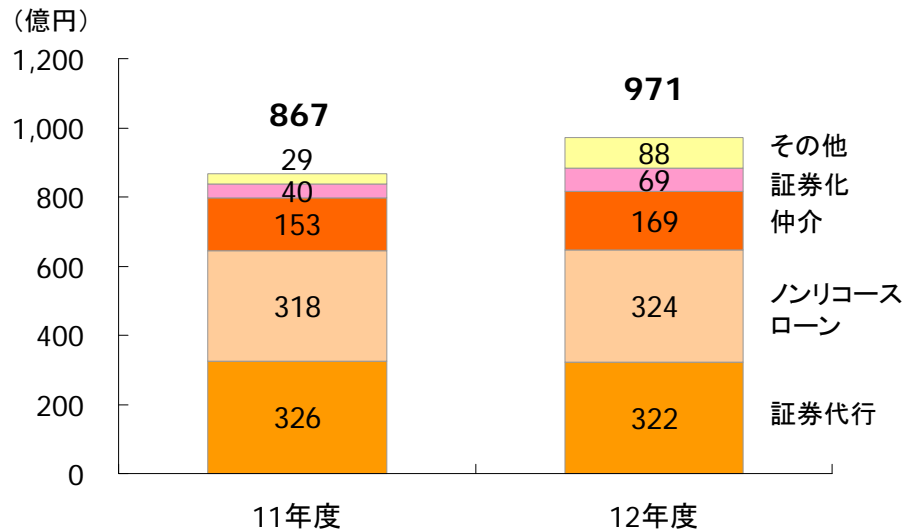


デリバティブ収益*3



*3 金融商品仲介を含む

不動産・証券代行業務収益



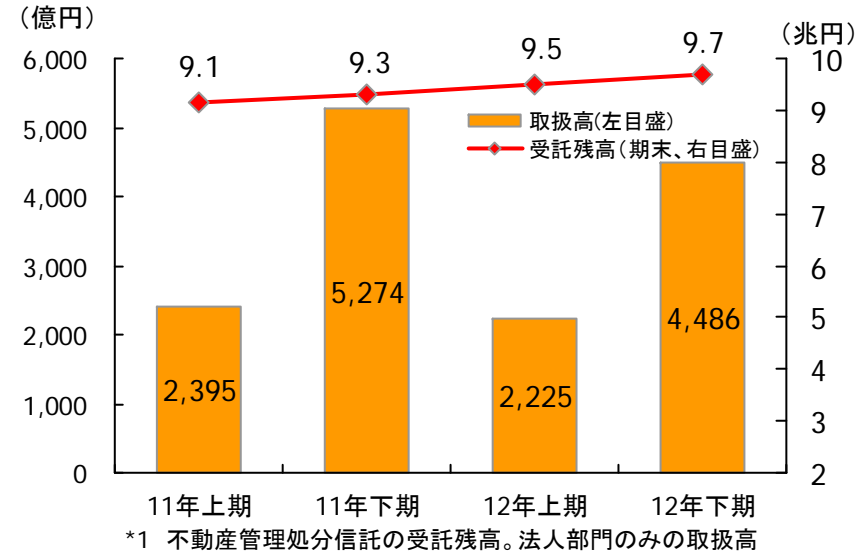
12年度実績:粗利益971億円
(前年度比+104億円)

- 不動産仲介・証券化ともに前年度比増収
- その他業務は、証券におけるREIT引受けの好調等を背景に増加

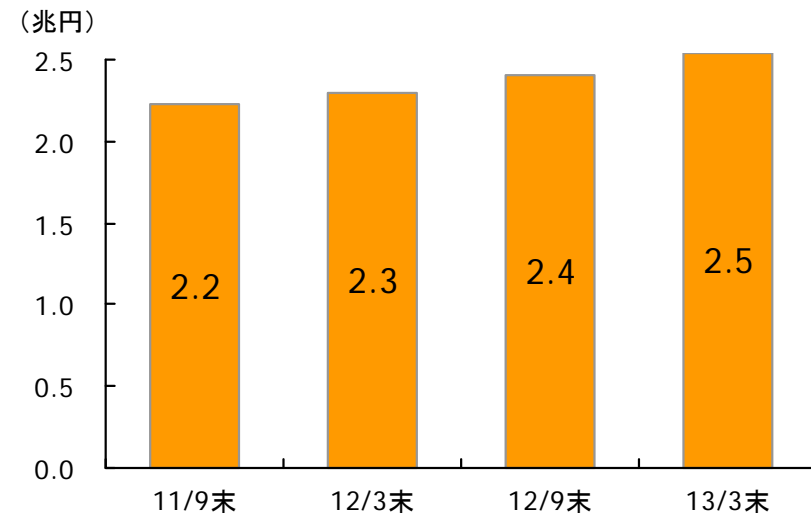
13年度の取組み:

- 事業法人の不動産取得・売却ニーズの発掘
- 提案型営業による案件創出
- 新規不動産管理処分信託の受託促進
- 事業承継・相続を起点とした不動産取得・売却ニーズ発掘

不動産取扱高、受託残高*1



不動産ノンリコースローン残高



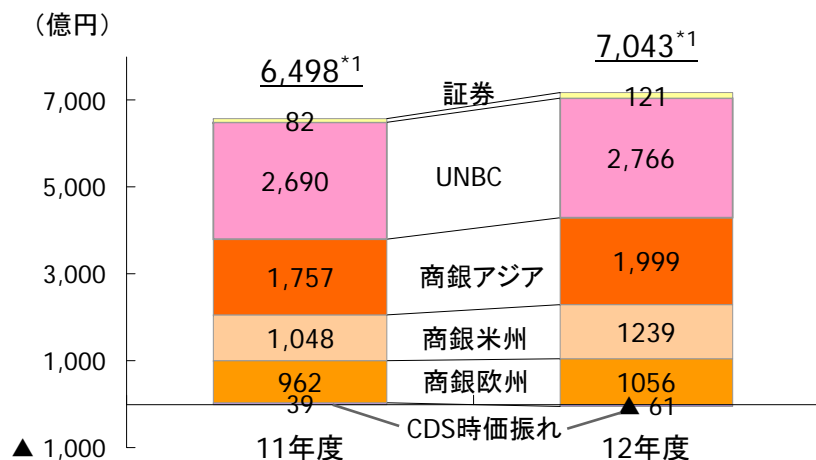
国際(粗利益・営業純益)

【連結】

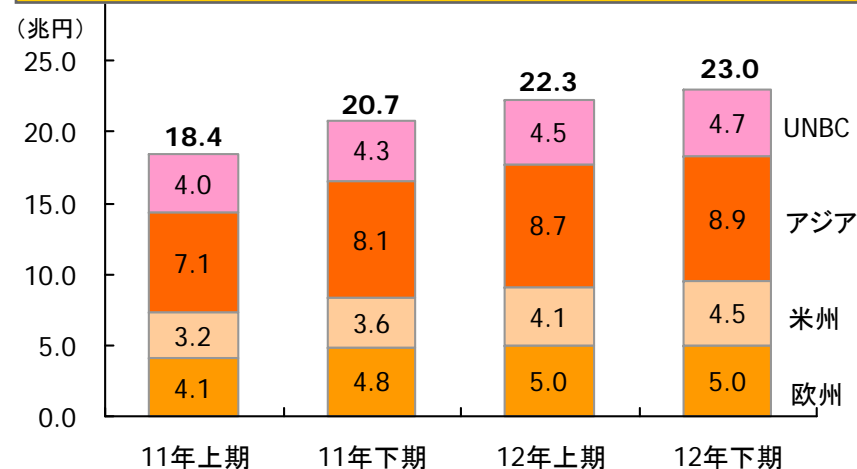


- 粗利益は前年度比+8%の7,043億円、営業純益は前年度比+4%の2,742億円
- アジア、米州を中心に貸出平残、預金平残も増加

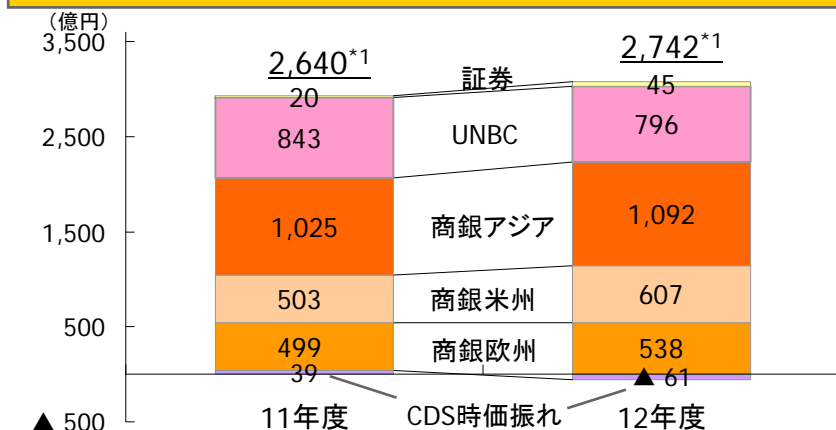
連結粗利益*1



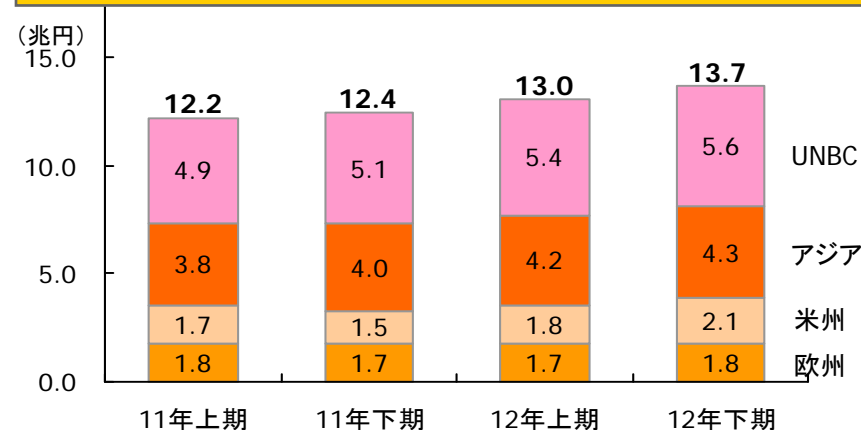
貸出平残



連結営業純益*1

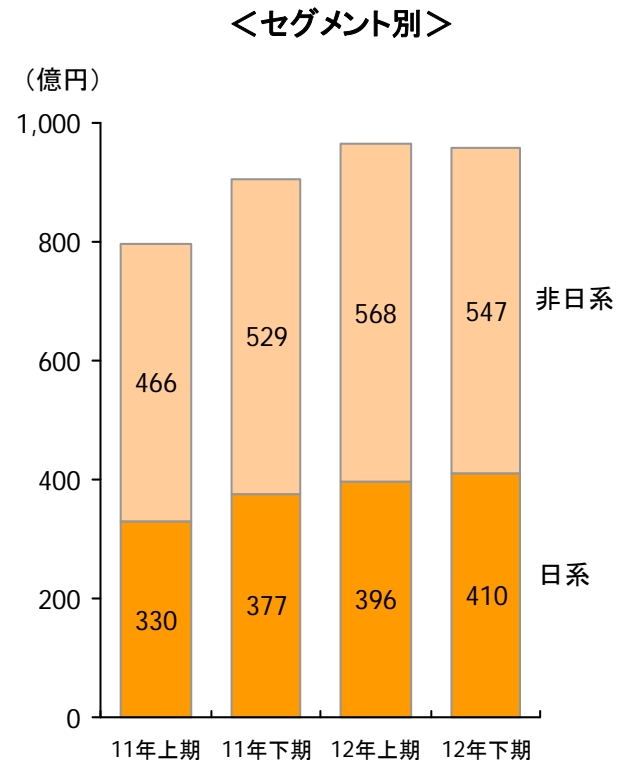


預金平残

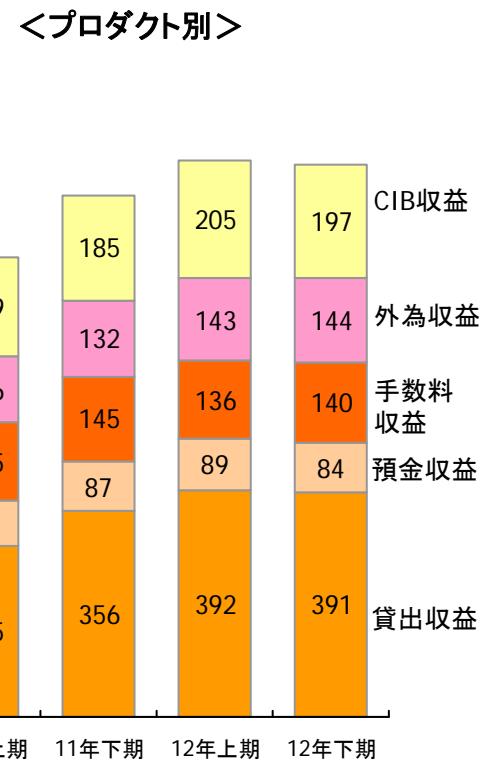


*1 その他業務や業務間重複計上を調整した合計値 (注)為替レート:業務計画レート(\$1=83円、他)

対顧客業務粗利益

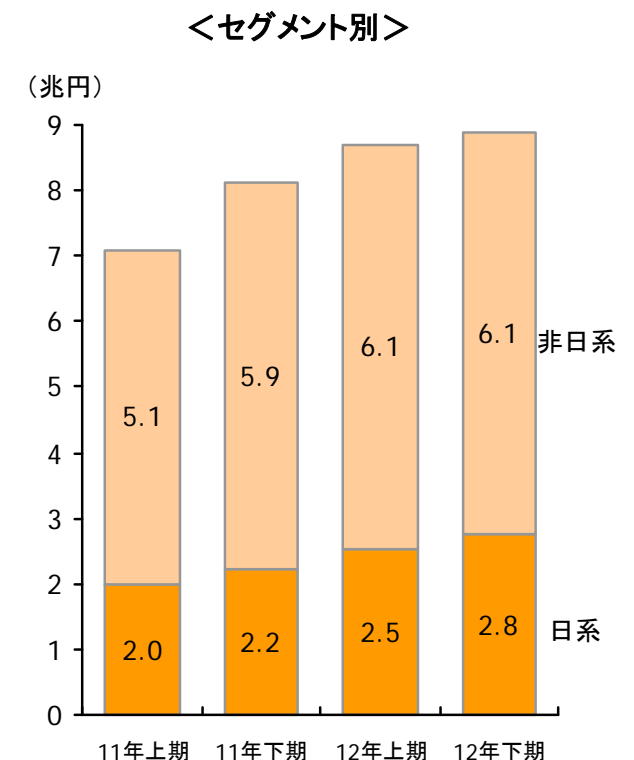


- 日系取引は、貸出収益に加えて外為収益が増加を牽引
- 非日系取引は、利鞘の改善もあり、貸出収益を中心に前年同期比では増加



- 貸出収益は、貸出残高増加に加え、非日系貸出の利鞘改善により前年同期比拡大
- CIB収益は、ストラクチャードファイナンスを中心に前年同期比増加。外為収益も前年同期比では増加

貸出平残



- 日系は、12年下期平残が前年同期比で+24%の大幅増加
- 非日系は、域内経済の減速を背景に伸びがやや鈍化するも、12年下期平残は前年同期比では+4%の増加










(注) 為替レート: 業務計画レート(\$1=83円、他)

国際(アジアビジネス) 2



- アジアの優良企業にフォーカスし、戦略的出資・提携を実施

出資・提携

	中国	中国銀行に出資・業務提携 (三菱東京UFJ銀行、06年6月)
	中国	申銀万国証券の運用子会社に出資、持分法適用会社化 (三菱UFJ信託、11年4月)
	インド	ICICI(06年8月)、タタ・キャピタル(08年8月)と業務提携 (三菱UFJ証券ホールディングス)
	インドネシア	バンク・ヌサンタラ・パラヒャンガンに出資 (三菱東京UFJ銀行、07年12月)
	ベトナム	ヴィエティンバンクと株式引受契約および業務提携契約を締結(三菱東京UFJ銀行、 12年12月)、持分法適用会社とする予定
	マレーシア	CIMBと業務提携(06年10月)・追加出資(11年8月) (三菱東京UFJ銀行)
	韓国	大宇証券と業務提携 (三菱UFJ証券ホールディングス、07年1月)
	香港	大新金融集団に追加出資、持分法適用会社化(08年6月)・業務提携(08年9月) (三菱東京UFJ銀行)
	豪州	AMPキャピタルホールディングスと資本・業務提携、持分法適用会社化(12年3月) (三菱UFJ信託銀行)

対顧客業務粗利益

貸出平残

<セグメント別>

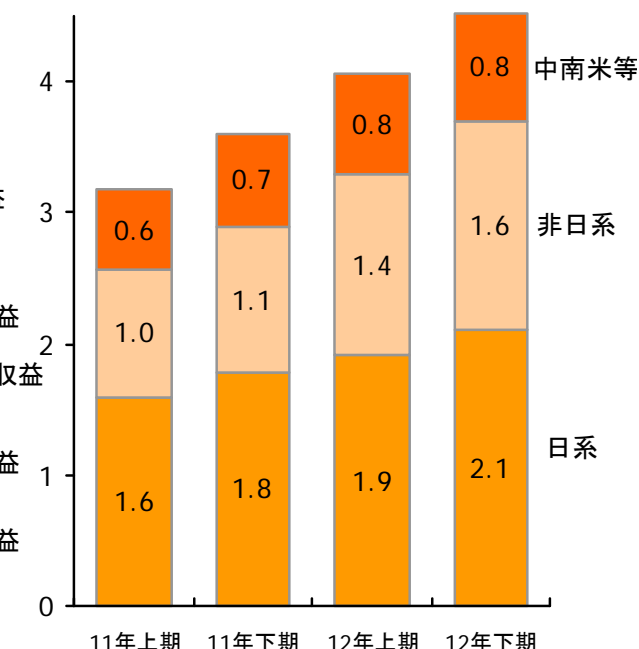
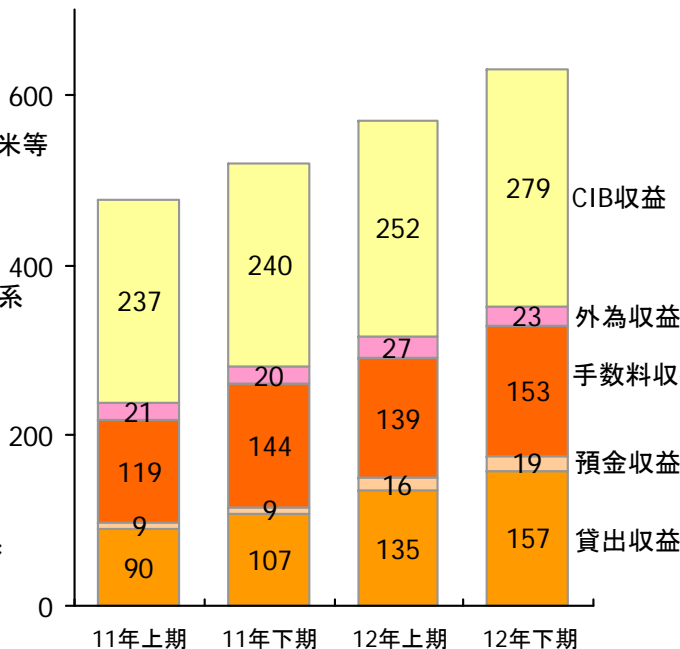
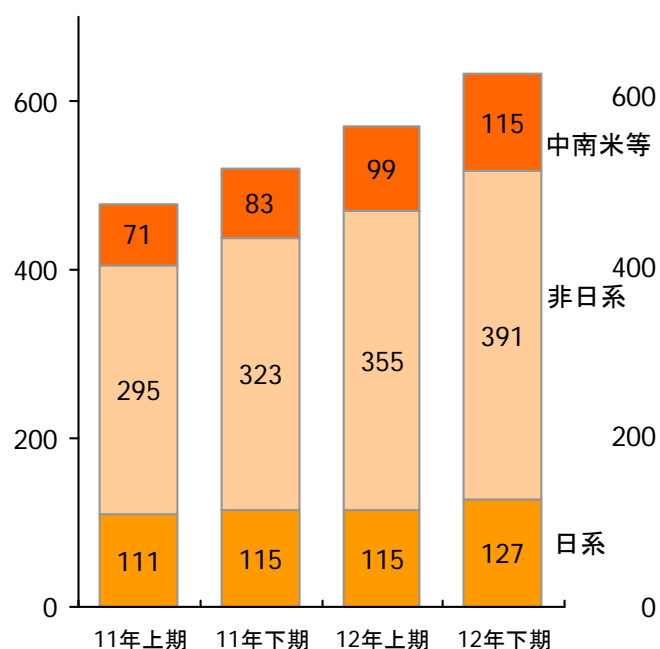
<プロダクト別>

<セグメント別>

(億円)

(億円)

(兆円)



- 非日系取引は、貸出収益、CIB収益を中心に拡大基調継続
- 日系取引も、貸出収益、CIB収益が好調で前年同期比増加
- 中南米取引は、11年上期以降、貸出・外為収益が拡大し、堅調に増加

- 貸出収益が好調に拡大。貸出残高が増加するとともに利鞘も改善
- CIB収益も堅調。ストラクチャードファイナンスを中心に着実に増加

- 非日系・日系とも、増加基調
- 中南米等でも、増加基調

(注)為替レート:業務計画レート(\$1=83円、他)

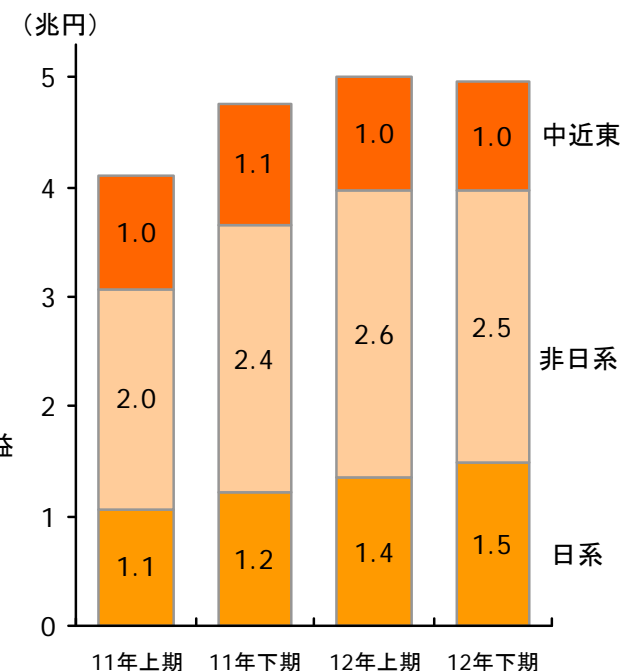
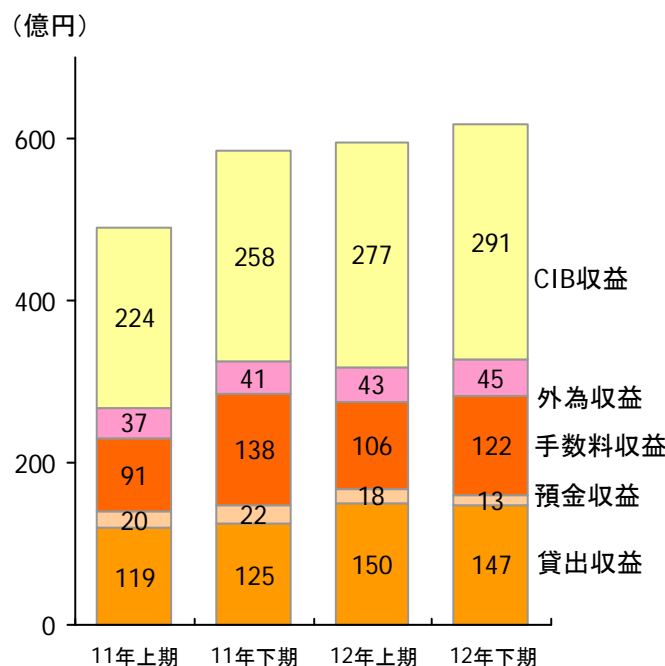
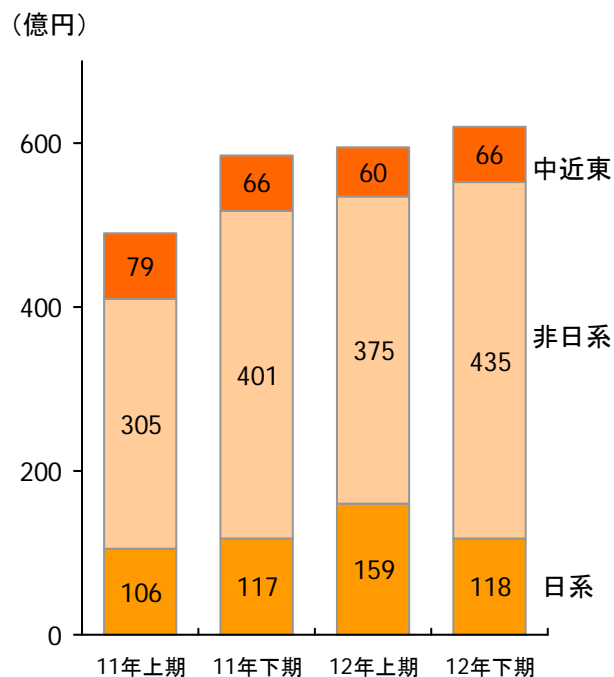
対顧客業務粗利益

貸出平残

<セグメント別>

<プロダクト別>

<セグメント別>



- 非日系取引は、プロジェクトファイナンス等のCIB収益が好調で引き続き拡大
- 日系取引は、12年上期に大口CIB収益を計上した反動により前期比では減少
- 中近東は、政情不安を背景として低調推移変わらず

- プロジェクトファイナンスが好調を維持し、CIB収益が引き続き拡大
- 利鞘の改善もあり、貸出収益は前年同期比では増加

- 日系は、12年下期平残が前年同期比で+22%の増加
- 非日系は、域内経済の減速を主因にほぼ横ばいで推移

(注)為替レート:業務計画レート(\$1=83円、他)

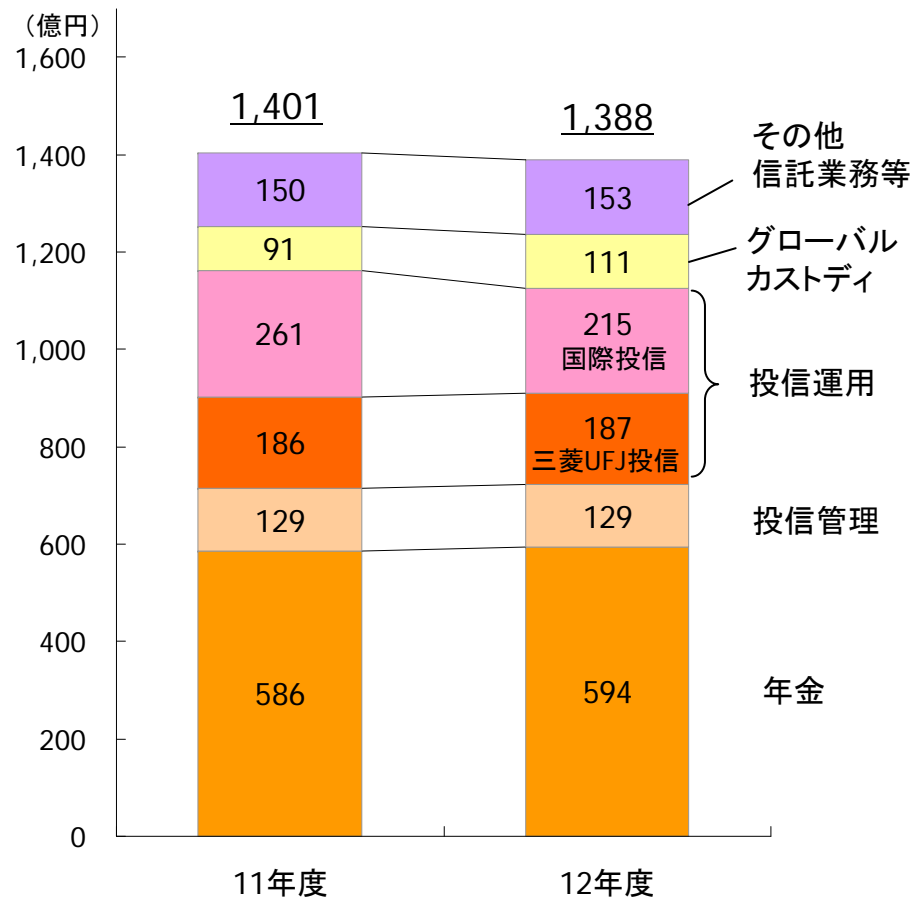
受託財産(粗利益・営業純益)

【連結】



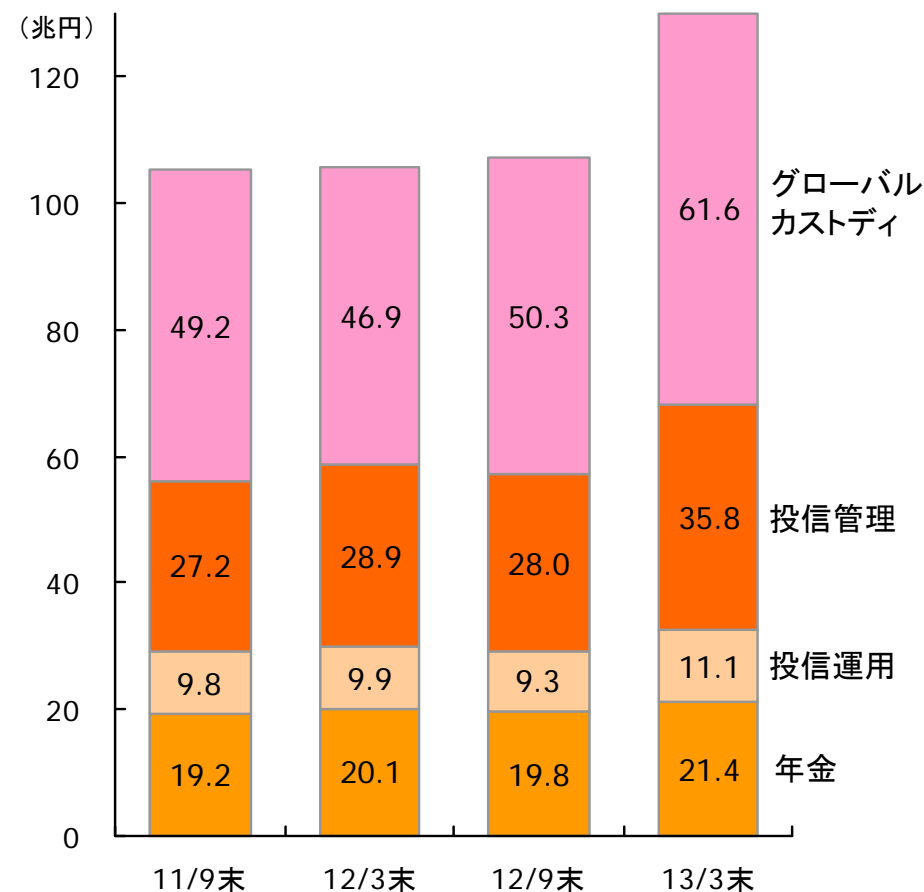
- 粗利益は前年度比▲1%の1,388億円、営業純益は前年度比▲4%の505億円

連結粗利益*1



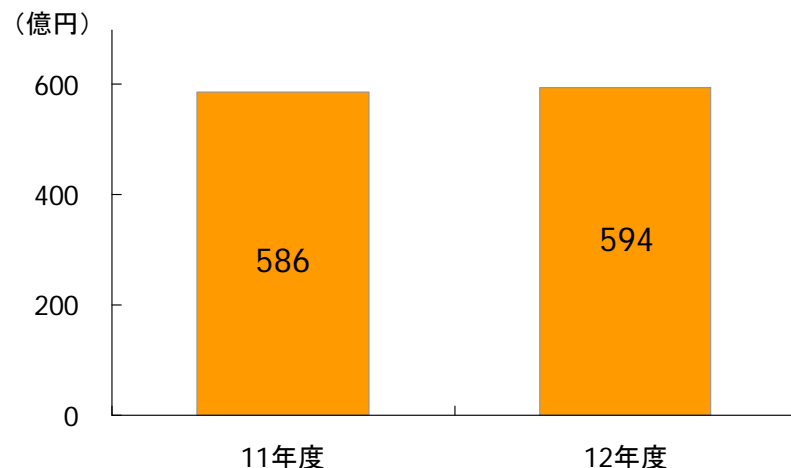
*1 日本マスタートラスト信託銀行分は各項目に分散計上
資本構成変更等に伴う計上基準変更により、過年度実績も同基準に変更
(米国三菱UFJ信託、エムアンドティー・インフォメーション・テクノロジー)

主要業務の残高*2



*2 受託資産には、上表以外に常任代理人業務や年金以外の
特金・指定単等あり

年金業務収益*1



*1 三菱UFJ信託銀行と日本マスタートラスト信託銀行との合計数値

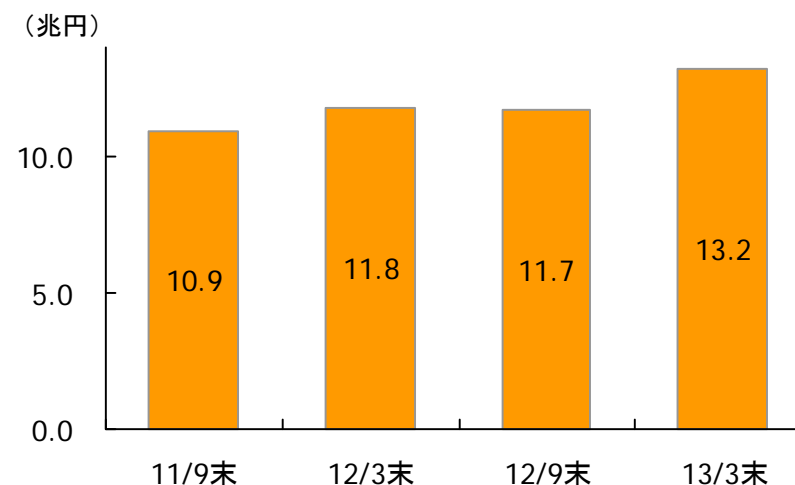
12年度実績：粗利益594億円(前年度比+8億円)

- 主力の年金信託は、お客さまのニーズに即した商品提供に努め、収益・残高とも増加傾向
- 確定拠出年金は、着実に残高を積上げ増収。運用商品販売残高では国内トップシェアを堅持

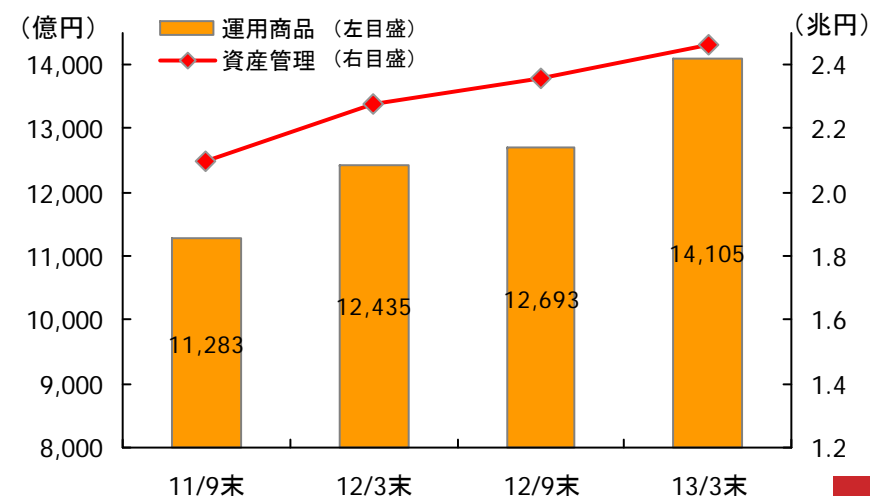
13年度の取組み：

- お客さまの年金財政運営の総合的なコンサルティング、提携先も活用した新商品開発、銀信協働の一層の強化
- 確定拠出年金のお客さま利便性向上を通じた運営管理機関受託、およびお客さまのニーズに対応した商品提供を通じた運用商品販売残高の更なる積み上げ

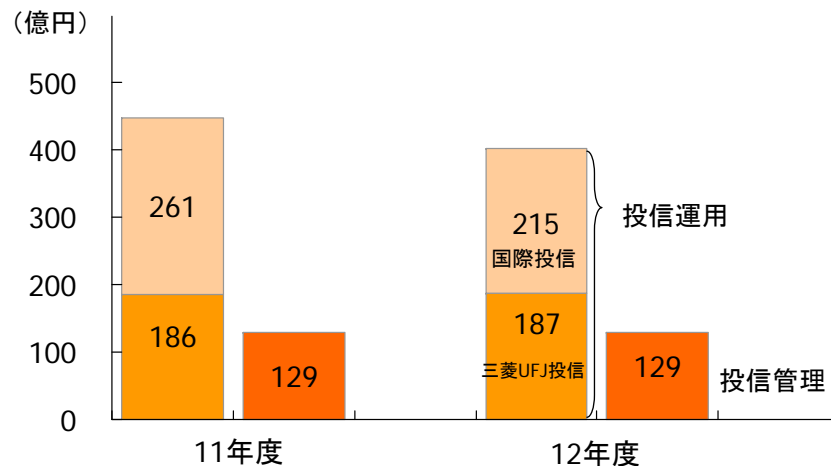
年金信託残高



確定拠出年金 運用商品販売残高・資産管理残高

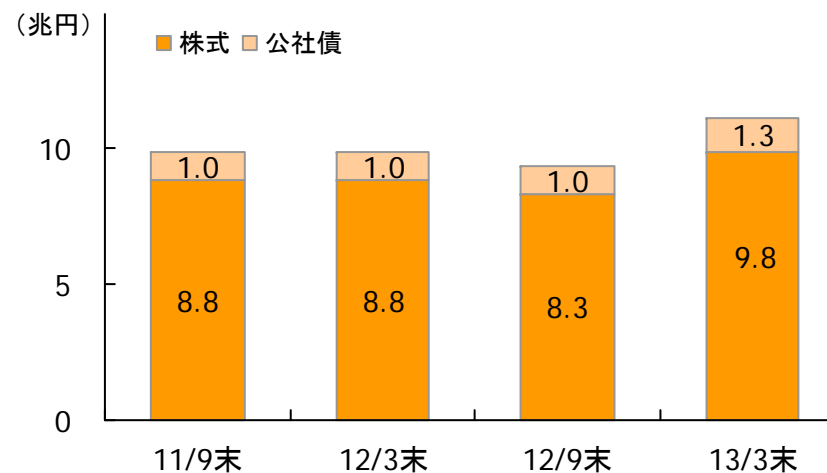


投信業務収益*1



*1 三菱UFJ信託銀行と日本マスタートラスト信託銀行との合計数値(投信管理)

投信運用残高*2



*2 三菱UFJ投信と国際投信の合計数値

12年度実績:

投信運用: 粗利益402億円(前年度比▲45億円)

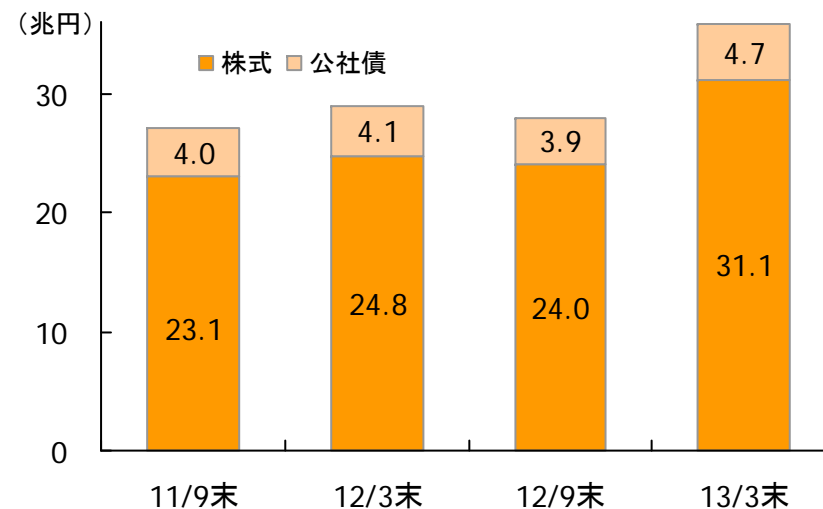
投信管理: 粗利益129億円(前年度比 0億円)

- (投信運用)三菱UFJ投信は市場環境好転による影響もあり前年度比増収。一方、国際投信は下期好調も、上期の残高流出影響を打ち返せず前年度比減収
- (投信管理)下期に残高を積み上げるも、収益はほぼ横ばい

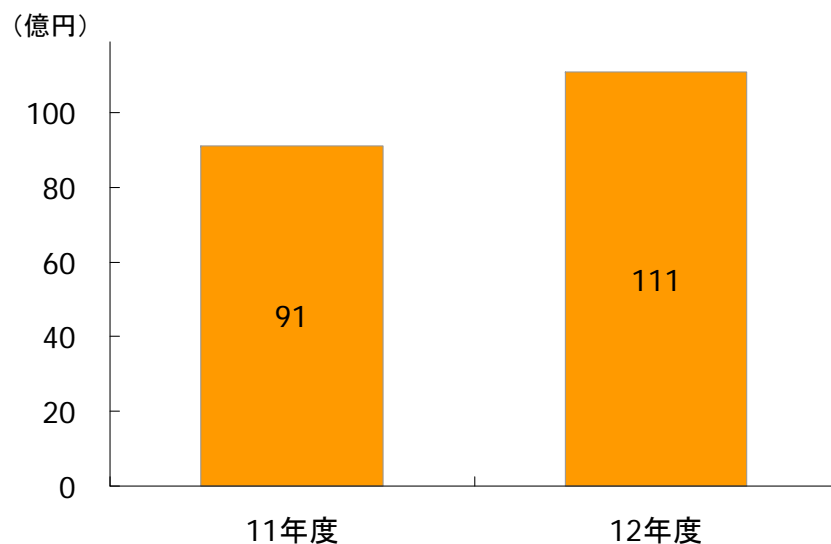
13年度 of 取組み:

- (投信運用)販売金融機関のニーズを踏まえた対応推進、リスクオン相場を見据えた運用力・商品開発力の強化、NISA推進、ミドル・バック業務の効率的運営体制の推進
- (投信管理)委託会社別・商品別戦略に基づくアプローチの推進

投信管理残高

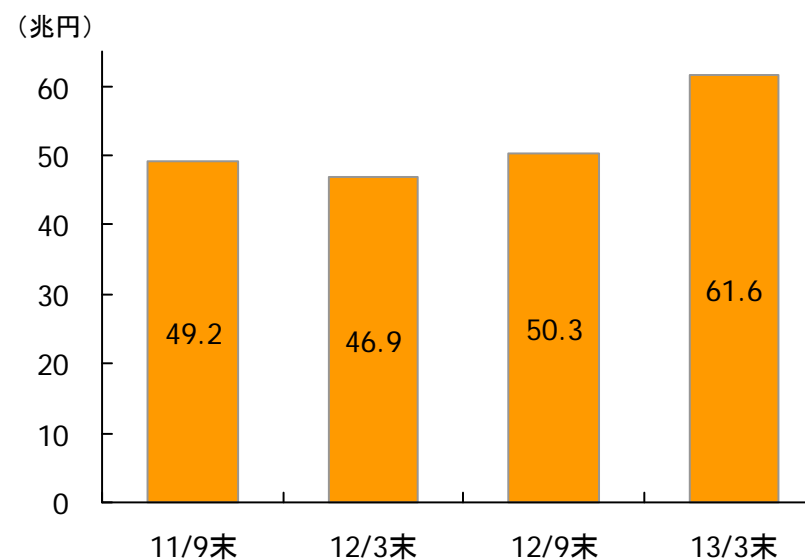


グローバルカストディ業務収益*1



*1 資本構成変更に伴う粗利益計上基準変更(12年度上期~)により、
過年度実績も同基準に変更(米国三菱UFJ信託)

グローバルカストディ預り資産



12年度実績:粗利益111億円(前年度比+21億円)

- 外国籍投信管理も含めた預かり資産残高は順調に拡大、前年度比増収

13年度 of 取組み:

- サービスレベルの向上等を通じた外国籍投信管理業務強化
- グループ協働による顧客基盤強化、収益拡大

資産・資本の状況

<銀行勘定・信託勘定合算>

(単位:億円)

		12/3末 (A)	12/9末 (B)	13/3末 (C)	増減 (C) - (A)	増減 (C) - (B)
1	破産更生債権及び これらに準ずる債権	1,071	1,125	1,343	271	218
2	危険債権	9,175	9,915	10,098	922	182
3	要管理債権	5,574	5,469	5,526	▲47	57
4	金融再生法開示債権小計	15,821	16,511	16,968	1,147	457
5	うち 要管理先非開示債権	872	823	898	25	74
6	うち その他要注意先債権	54,094	54,679	58,793	4,698	4,114
7	正常債権	873,895	865,493	925,649	51,753	60,155
8	合計 (4 + 7)	889,716	882,004	942,617	52,900	60,613

<金融再生法開示区分毎の引当状況 [銀行勘定・信託勘定合算]>

(13/3末)

(単位:億円、%)

債権区分	開示残高 (a)	担保・保証 (b)		引当金 (c)		カバー額 (d)=(b)+(c)		裸与信 (e)=(a)-(b)	
		保全率(b)/(a)	引当率(c)/(a)	カバー率(d)/(a)	非保全率(e)/(a)				
1 破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,343	1,312	97.68%	31	2.31%	1,343	100.00%	31	2.31%
2 危険債権	10,098	4,497	44.53%	2,920	28.92%	7,418	73.46%	5,600	55.46%
3 要管理債権	5,526	3,156	57.11%	1,371	24.81%	4,528	81.93%	2,369	42.88%
4 合計	16,968	8,966	52.84%	4,323	25.48%	13,290	78.32%	8,001	47.15%

(12/9末)

(単位:億円、%)

債権区分	開示残高 (a)	担保・保証 (b)		引当金 (c)		カバー額 (d)=(b)+(c)		裸与信 (e)=(a)-(b)	
		保全率(b)/(a)	引当率(c)/(a)	カバー率(d)/(a)	非保全率(e)/(a)				
5 破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,125	1,092	97.04%	33	2.95%	1,125	100.00%	33	2.95%
6 危険債権	9,915	4,358	43.95%	2,891	29.16%	7,249	73.11%	5,557	56.04%
7 要管理債権	5,469	3,173	58.02%	1,309	23.93%	4,482	81.96%	2,296	41.97%
8 合計	16,511	8,624	52.23%	4,234	25.64%	12,858	77.87%	7,886	47.76%

(12/3末)

(単位:億円、%)

債権区分	開示残高 (a)	担保・保証 (b)		引当金 (c)		カバー額 (d)=(b)+(c)		裸与信 (e)=(a)-(b)	
		保全率(b)/(a)	引当率(c)/(a)	カバー率(d)/(a)	非保全率(e)/(a)				
9 破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,071	1,056	98.53%	15	1.46%	1,071	100.00%	15	1.46%
10 危険債権	9,175	4,109	44.78%	2,667	29.07%	6,777	73.86%	5,066	55.21%
11 要管理債権	5,574	3,297	59.15%	1,282	23.00%	4,579	82.15%	2,276	40.84%
12 合計	15,821	8,462	53.48%	3,965	25.06%	12,428	78.55%	7,358	46.51%

<自己査定債務者区分毎の引当率の推移>

【商業銀行】

	債務者区分	12/3末	12/9末	13/3末	
				12/3末比 (%ポイント)	12/9末比 (%ポイント)
1	正常先	0.09%	0.09%	0.09%	▲0.00 ▲0.00
2	要注意先	5.75%	5.59%	5.38%	▲0.37 ▲0.21
3	(非保全部分)	(13.33%)	(13.08%)	(12.80%)	(▲0.53) (▲0.28)
4	其他要注意先	3.26%	3.00%	2.80%	▲0.45 ▲0.20
5	(非保全部分)	(7.48%)	(6.98%)	(6.66%)	(▲0.81) (▲0.32)
6	要管理先	24.40%	25.34%	26.26%	1.85 0.91
7	(非保全部分)	(60.99%)	(62.24%)	(63.40%)	(2.40) (1.15)
8	破綻懸念先 (非保全部分)	(52.46%)	(51.17%)	(50.77%)	(▲1.69) (▲0.39)

【信託銀行】

	債務者区分	12/3末	12/9末	13/3末	
				12/3末比 (%ポイント)	12/9末比 (%ポイント)
1	正常先	0.12%	0.11%	0.12%	▲0.00 0.00
2	要注意先	3.67%	2.81%	3.18%	▲0.48 0.37
3	(非保全部分)	(6.48%)	(5.09%)	(5.97%)	(▲0.51) (0.87)
4	其他要注意先	2.94%	2.19%	2.60%	▲0.34 0.41
5	(非保全部分)	(5.15%)	(3.93%)	(4.83%)	(▲0.32) (0.89)
6	要管理先	30.70%	28.73%	27.33%	▲3.37 ▲1.40
7	(非保全部分)	(75.62%)	(76.29%)	(75.22%)	(▲0.39) (▲1.06)
8	破綻懸念先 (非保全部分)	(57.63%)	(65.58%)	(75.28%)	(17.65) (9.70)

(注1) 自己査定債務者区分毎の引当率であるが、対象科目は、金融再生法ベース(貸出金、外国為替、支払承諾見返、貸付有価証券、与信に関わる仮払金、未収利息、保証付私募債)

(注2) 保証会社保証付ローン等、一部対象外資産あり

保有有価証券



その他有価証券評価差額

【連結】

(単位:億円)

		連結貸借対照表計上額	13/3末 評価差額	12/9末比
1	国内株式	38,965	10,460	9,844
2	国内債券	514,730	3,715	1,075
3	外国株式	2,091	946	627
4	外国債券	183,814	3,052	▲252
5	その他	31,316	677	559
6	合計	770,918	18,851	11,855

(参考)子会社・子法人等株式及び関連法人等株式
で時価のあるもの

(単位:億円)

【単体合算】

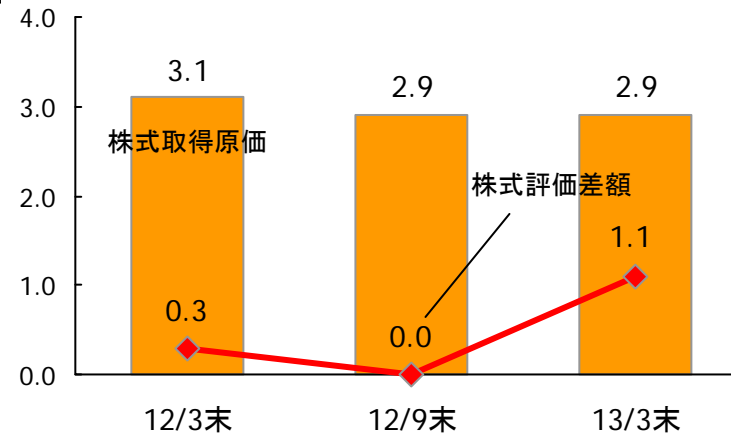
		評価差額		
		12/9末	13/3末	増減
1	子会社・関連会社株式	297	1,151	854

*1 その他有価証券で時価のあるもののうち、国内株式および外国株式の合計

*2 貸借対照表計上額(満期保有債券は取得原価、その他有価証券は時価)。
国債・その他国内債券・外国債券はその他有価証券で時価があるもの

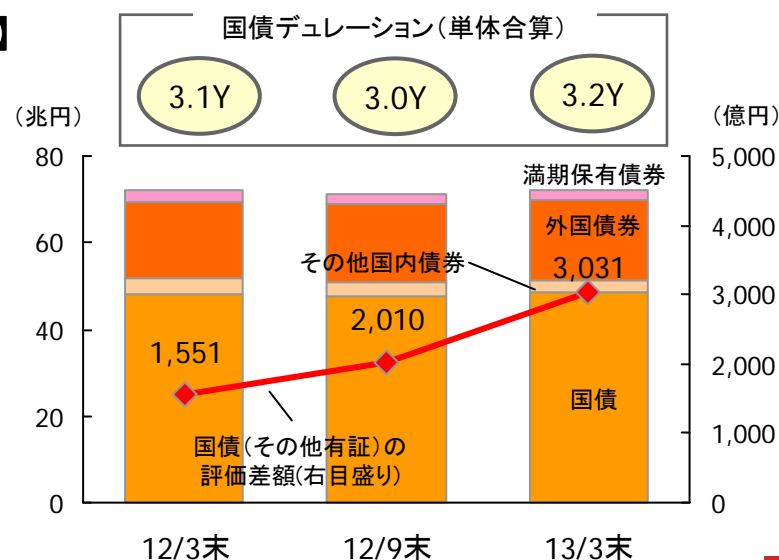
保有株式*1

【連結】(兆円)



保有債券の残高・評価差額等*2

【連結】



証券化商品エクスポージャー1:概要

【連結】



- 開示対象:BTMU(含むUB)、MUTB、MUMSS
- 商品範囲:内部管理ベースの証券化商品(含む満期保有目的の債券)。米国GSE等が組成・保証するモーゲージ債(別掲)、住宅金融支援機構債等の本邦住宅ローン証券化商品、投資信託等のファンドで保有している証券化商品等は含まず
- 13年3月末時点。残高は減損後、評価損控除前。10億円刻みで表示(億円単位で四捨五入)。 $\$1=94.05$ 円にて換算(12年3月末: $\$1=82.19$ 円)

保有証券化商品の概要(13/3末)

(1) 残高および評価損益

(単位:億円)

	残高		評価損益		評価損益率		内、その他有価証券	
		12/9末比		12/9末比		12/9末比	残高	評価損益
1 証券化商品	24,430	6,160	▲20	210	▲0.1%	1.2%	9,570	30
2 RMBS	380	▲50	40	20	10.1%	4.9%	380	40
3 うちサブプライム	20	0	10	0	25.0%	5.4%	20	10
4 CMBS	3,290	1,530	60	▲30	1.8%	▲3.2%	3,290	60
5 CLO	20,050	4,760	▲130	200	▲0.6%	1.5%	5,360	▲90
6 その他(カード等)	690	▲90	0	10	0.7%	1.9%	520	10
7 CDO	10	0	0	0	0.0%	0.0%	10	0
8 SIV	0	0	10	10	-	-	0	10

(2) 一次証券化商品比率(単位:億円)

	残高	比率
1 一次証券化商品	24,430	100%
2 二次証券化商品*1	-	-
3 合計	24,430	100%

*1 サブプライムABS CDO及びSIV

(3) 格付別残高分布

(単位:億円)

	AAA	AA	A	BBB	BB以下	無格付	合計
1 証券化商品	18,190	4,820	650	590	150	20	24,430
2 RMBS	30	40	50	150	110	-	380
3 うちサブプライム	0	0	10	-	0	-	20
4 CMBS	1,880	1,410	-	-	0	-	3,290
5 CLO	15,900	3,150	600	380	10	-	20,050
6 その他(カード等)	380	210	-	60	10	20	690
7 CDO	-	-	-	-	10	-	10
8 SIV	-	-	-	-	0	-	0

(4) 地域別残高分布

(単位:億円)

	米州	欧州	アジア	日本	合計
1	23,200	1,090	-	130	24,430
2	360	30	-	-	380
3	20	-	-	-	20
4	3,290	-	-	0	3,290
5	18,980	1,070	-	-	20,050
6	550	-	-	130	690
7	10	-	-	-	10
8	0	-	-	-	0

RMBS(住宅ローン証券化商品)

(1) RMBSの組成年(ヴィンテージ)別残高分布 (単位:億円)

	04年以前	05年	06年	07年以降	合計
1 RMBS	240	30	90	20	380
2 サブプライム	-	10	10	-	20
3 サブプライム以外	240	20	80	20	360

(2) サブプライムRMBS^{*2}のヴィンテージ別評価損益 (単位:億円)

	05年	06年	07年以降	合計
1 サブプライムRMBS残高	10	10	-	20
2 評価損益	0	0	-	10
3 評価損益率	54.1%	7.5%	-	25.0%

*2 組成時当初WAL(平均年限)は約3.5年

CLO(企業向けローン証券化商品)

(1) 残高・評価損益 (単位:億円)

	残高	評価損益	評価損益率	12/9末比
1 CLO	20,050	▲ 130	▲0.6%	2.3%
2 アービトラージ型	19,450	▲ 90	▲0.5%	2.4%
3 バランスシート型他	600	▲ 40	▲6.2%	▲0.6%

(注) 企業向けローン証券化商品(CLO)は、評価の精度を高めるため、その大部分を自社における合理的な見積もりに基づく合理的に算定された価格により評価

(2) 格付別残高分布

	AAA	AA	A	BBB	BB以下	無格付	合計
1	15,900	3,150	600	380	10	-	20,050
2	15,900	2,620	580	340	10	-	19,450
3	10	540	20	40	0	-	600

(3) 地域別残高分布 (単位:億円)

	米州	欧州	アジア	日本	合計
1 CLO	18,980	1,070	-	-	20,050
2 アービトラージ型	18,430	1,020	-	-	19,450
3 バランスシート型他	550	50	-	-	600

証券化商品エクスポージャー3:SPE、レバレッジドローン他【連結】



SPE(特別目的事業体)の状況

【ABCP (Asset Backed CP) スポンサー業務】

- 顧客資産の証券化を目的としたABCPの発行に関するスポンサー業務を実施
- ABCPコンデュイット(ABCPを発行する特別目的会社)の13年3月末買取資産残高は3.92兆円(うち海外分は1.42兆円)
- 買取資産の種類は主として売掛債権であり、住宅ローン債権は含まれていない

レバレッジドローンの状況

【証券化組成・販売用レバレッジドローン】

- レバレッジドローン証券化商品の組成・販売業務を行っておらず、在庫ローンは保有せず

【LBOローン】

(1) LBOローンの残高

(単位:億円)

	残高	
		12/9末比
1 LBOローン(コミットメントベース)*3	3,130	▲190
2 うちブック残高	2,720	▲180

(2) 地域別残高分布

(単位:億円)

	米州	欧州	アジア	日本	合計
1	140	1,000	30	1,960	3,130
2	80	830	30	1,780	2,720

*3 一部リファイナンス後の残高を含む

米国GSE等関連の状況

(1) 残高・評価損益

(単位:億円)

	残高		評価損益		評価損益率	
		12/9末比		12/9末比		12/9末比
1 モーゲージ債*4	41,020	▲4,220	370	▲660	0.9%	▲1.4%
2 エージェンシー債*5	440	▲1,720	0	▲20	0.8%	▲0.3%

*4 ファニーメイ、フレディマック、ジニーメイが組成・保証

*5 上記3機関、フェデラルホームローンバンク等が自ら発行

バーゼルⅢ自己資本比率

		13年3月末	
			完全実施時 算入額
1	普通株式等Tier1	103,005	
2	基礎項目	103,005	
3	株主資本の額	100,802	
4	資本金及び資本剰余金	39,223	
5	利益剰余金	62,679	
6	社外流出予定額(△)	1,080	
7	少数株主持分	2,113	
8	その他包括利益累計額	-	11,582
9	調整項目(△)	-	
10	無形固定資産	-	9,980
11	前払年金費用	-	2,863
12	金融機関出資等(ダブルギアリング)	-	-
13	その他Tier1	9,142	
14	基礎項目	14,268	
15	その他Tier1資本調達(新基準)	-	
16	旧Tier1資本(優先株式・優先出資証券)	14,917	
17	少数株主持分	1,304	
18	(経過措置)為替換算調整勘定	▲1,954	
19	調整項目(△)	5,125	
20	(経過措置)無形固定資産	4,993	
21	Tier1(普通株式等Tier1+その他Tier1)	112,148	
22	Tier2	34,591	
23	基礎項目	36,166	
24	Tier2資本調達(新基準)	-	
25	旧Tier2資本(劣後債務)	23,849	
26	一般貸倒引当金・適格引当金	2,350	
27	(経過措置)其他有価証券含み益	8,458	
28	(経過措置)土地再評価差額金	1,429	
29	調整項目(△)	1,575	
30	(経過措置)関係会社のれん	1,445	
31	総自己資本(Tier1+Tier2)	146,739	

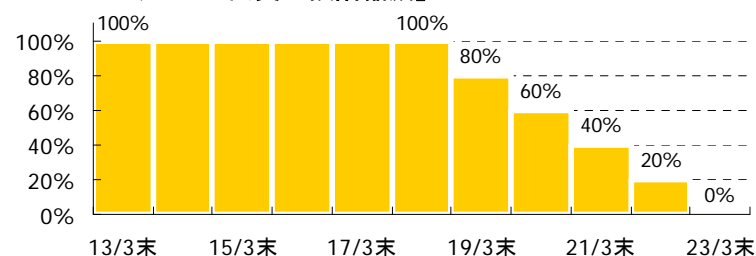
32	信用リスク	791,240	
33	CVAリスク	33,356	
34	中央清算機関(CCP)	2,828	
35	マーケットリスク	24,868	
36	オペレーショナルリスク	52,848	
37	フロア調整額	4,030	
38	経過措置加算額	6,698	
39	(経過措置)ソフトウェア等	3,541	
40	(経過措置)前払年金費用	2,863	
41	リスク・アセット合計額	879,686	
42	普通株式等Tier1比率	11.70%	
43	Tier1比率	12.74%	
44	総自己資本比率	16.68%	
45	普通株式等Tier1比率(完全実施)* ¹	11.1%	

*1 19年3月末に適用される規制に基づく試算値

モルガン・スタンレー出資の特例扱い

- ダブルギアリングの対象除外金額(13年3月末で約9,400億円)は、19年3月末より20%ずつ縮小
- 当該出資が全てダブルギアリングの対象となった場合、普通株式等Tier1比率(完全実施ベース)は0.5%程度低下

【モルガン・スタンレー出資の段階縮減】



繰延税金資産



繰延税金資産の発生要因別残高

(単位: 億円)

【商業銀行】

	12/3末 (A)	13/3末 (B)	増減 (B) - (A)
1 繰延税金資産合計	8,777	6,840	▲1,936
2 貸倒引当金	3,535	3,586	50
3 有価証券有税償却	2,202	1,743	▲459
4 その他有証評価差額金	828	478	▲349
5 退職給付引当金	872	940	68
6 その他	4,330	2,500	▲1,830
7 評価性引当額	▲2,991	▲2,408	583
8 繰延税金負債合計	4,350	6,793	2,443
9 その他有証評価差額金	2,601	4,615	2,014
10 繰延ヘッジ損益	456	623	166
11 合併時有価証券時価引継	406	676	269
12 退職給付信託設定益	579	579	▲0
13 その他	305	298	▲7
14 繰延税金資産の純額	4,427	47	▲4,380

【信託銀行】

	12/3末 (A)	13/3末 (B)	増減 (B) - (A)
1 繰延税金資産合計	604	663	58
2 有価証券有税償却	445	293	▲151
3 繰延ヘッジ損益	192	271	79
4 貸倒引当金	247	255	7
5 その他	557	478	▲79
6 評価性引当額	▲837	▲634	202
7 繰延税金負債合計	1,132	2,105	972
8 その他有証評価差額金	871	1,684	812
9 退職給付引当金	164	313	149
10 その他	96	107	11
11 繰延税金資産の純額	▲527	▲1,441	▲914

実質業務純益と課税所得

(単位: 億円)

【商業銀行】

	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度
実質業務純益	7,108	8,631	10,065	10,228	10,015
与信関係費用総額(▲は費用)	▲3,934	▲3,378	▲1,661	▲1,253	▲566
税引前当期純利益	▲1,951	4,601	6,744	7,395	8,774
有税増減枠(▲は無税化)	7,891	▲37	▲240	▲3,051	▲5,642
課税所得	5,939	4,563	6,503	4,343	3,132

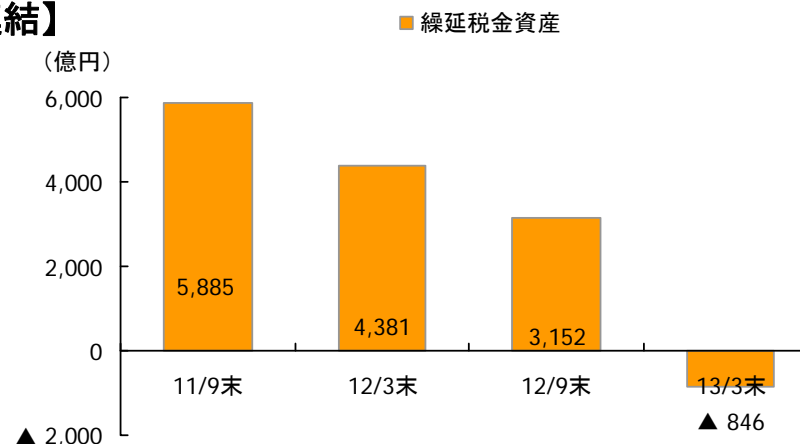
【信託銀行】

	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度
実質業務純益	1,315	1,102	1,504	1,481	1,622
与信関係費用総額(▲は費用)	355	▲237	▲80	▲92	▲86
税引前当期純利益	881	520	1,019	1,135	1,735
有税増減枠(▲は無税化)	▲160	233	▲801	▲302	▲851
課税所得	720	753	217	833	884

(注) 商業銀行、信託銀行ともに与信関係費用には償却債権取立益を含めて記載

繰延税金資産(純額)残高

【連結】



(単位:億円)

(1)退職給付債務残高		12/3末	13/3末	11/3末比
1	退職給付債務 (A)	20,249	20,557	308
2	(割引率)	(0.6% ~7.0%)	(0.3% ~7.0%)	
3	年金資産 (B)	19,623	21,902	2,279
4	前払年金費用 (C)	4,837	4,620	▲ 217
5	退職給付引当金 (D)	811	849	38
6	要償却残高 (A)－(B)＋(C)－(D)	4,652	2,426	▲ 2,226
7	未認識数理計算上の差異	5,153	2,706	▲ 2,447
8	未認識過去勤務債務	▲ 501	▲ 279	221

(単位:億円)

(2)退職給付費用		11年度	12年度	11年度比
9	退職給付費用	864	1,060	196
10	勤務費用	455	505	49
11	利息費用	437	399	▲ 38
12	期待運用収益	▲ 714	▲ 657	57
13	過去勤務債務の費用処理額	▲ 115	▲ 100	14
14	数理計算上の差異の費用処理額	643	786	142
15	その他	157	127	▲ 29

参考情報

主要な子会社・関連会社

(13/3末現在)



主要な連結子会社			主要な持分法適用関連会社		
名称	資本金 (百万円)	議決権*の 所有割合 (%)	名称	資本金 (百万円)	議決権*の 所有割合 (%)
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,711,958	100.00 (-)	UnionBanCal Corporation	12,821 (136,330千米ドル)	100.00 (100.00)
三菱UFJ信託銀行株式会社	324,279	100.00 (-)	PT U Finance Indonesia	1,597 (163,000百万 インドネシアルピア)	85.00 (85.00)
三菱UFJニコス株式会社	109,312	84.98 (-)	PT. BTMU-BRI Finance	539 (55,000百万 インドネシアルピア)	55.00 (55.00)
三菱UFJ証券ホールディングス株式会社	75,518	100.00 (-)	BTMU Capital Corporation	2 (29千米ドル)	100.00 (100.00)
株式会社日本ビジネスリース	10,000	60.00 (60.00)	BTMU Leasing & Finance, Inc.	0 (0千米ドル)	100.00 (100.00)
三菱UFJメリアルリンチPB証券株式会社	8,000	100.00 (100.00)	BTMU Capital Leasing & Finance, Inc.	0 (1千米ドル)	100.00 (100.00)
カブドットコム証券株式会社	7,196	56.13 (56.13)	Mitsubishi UFJ Trust International Limited	5,728 (40,000千英ポンド)	100.00 (100.00)
三菱UFJファクター株式会社	2,080	100.00 (100.00)	Mitsubishi UFJ Global Custody S.A.	3,492 (37,117千米ドル)	100.00 (100.00)
エム・ユー投資顧問株式会社	2,526	100.00 (100.00)	Mitsubishi UFJ Asset Management (UK) Ltd.	286 (2,000千ポンド)	100.00 (100.00)
エム・ユー・フロンティア債権回収株式会社	1,500	96.47 (96.47)	Mitsubishi UFJ Trust & Banking Corporation (U.S.A.)	940 (10,000千米ドル)	100.00 (100.00)
三菱UFJ投信株式会社	2,000	100.00 (74.99)	Mitsubishi UFJ Securities International plc	108,889 (760,611千英ポンド)	100.00 (100.00)
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	40,500	60.00 (60.00)	Mitsubishi UFJ Securities (HK) Holdings, Limited	7,796 (82,900千米ドル)	100.00 (100.00)
国際投信投資顧問株式会社	2,680	67.07 (67.07)	Mitsubishi UFJ Wealth Management Bank (Switzerland), Ltd.	6,448 (65,000千スイスフラン)	100.00 (100.00)
アコム株式会社	63,832	40.19 (2.61)	Mitsubishi UFJ Securities (USA), Inc.	6,489 (69,000千米ドル)	100.00 (100.00)
三菱UFJキャピタル株式会社	2,950	41.21 (41.21)	PT. Bank Nusantara Parahyangan, Tbk.	2,040 (208,256百万 インドネシアルピア)	75.50 (75.50)
三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社	2,060	64.81 (64.81)			
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	10,000	46.50 (46.50)			
三菱UFJ不動産販売株式会社	300	100.00 (100.00)			

*「議決権の所有割合」欄の()内は子会社による間接所有の割合

国・地域別与信残高 1

【商業銀行連結】



(単位:百万US\$)

	貸出金						貸出金			
	13/3末(a)	短期	中長期	日系	非日系	金融機関	12/9末(b)	(a) - (b)	増減率	
1	タイ	7,627	2,908	4,720	4,301	3,306	21	7,910	▲ 283	▲ 3.6%
2		100.0%	38.1%	61.9%	56.4%	43.3%	0.3%			
3	インドネシア	6,433	2,742	3,691	3,166	3,267	-	6,075	358	5.9%
4		100.0%	42.6%	57.4%	49.2%	50.8%	0.0%			
5	韓国	4,064	1,370	2,694	1,123	2,566	375	4,368	▲ 304	▲ 7.0%
6		100.0%	33.7%	66.3%	27.6%	63.1%	9.2%			
7	マレーシア	4,683	1,112	3,571	573	3,860	250	5,187	▲ 504	▲ 9.7%
8		100.0%	23.7%	76.3%	12.2%	82.4%	5.3%			
9	フィリピン	1,226	441	785	372	853	-	904	322	35.6%
10		100.0%	35.9%	64.1%	30.4%	69.6%	0.0%			
11	シンガポール	8,851	3,079	5,772	2,011	6,763	77	8,150	700	8.6%
12		100.0%	34.8%	65.2%	22.7%	76.4%	0.9%			
13	香港	14,179	3,113	11,067	2,238	11,751	190	13,875	304	2.2%
14		100.0%	22.0%	78.0%	15.8%	82.9%	1.3%			
15	台湾	2,800	1,635	1,166	513	2,288	-	3,033	▲ 232	▲ 7.7%
16		100.0%	58.4%	41.6%	18.3%	81.7%	0.0%			
17	中国	7,736	4,515	3,221	4,746	2,364	626	7,917	▲ 181	▲ 2.3%
18		100.0%	58.4%	41.6%	61.3%	30.6%	8.1%			
19	インド	8,129	2,233	5,896	785	6,270	1,073	8,692	▲ 563	▲ 6.5%
20		100.0%	27.5%	72.5%	9.7%	77.1%	13.2%			
21	オーストラリア	12,614	1,712	10,902	5,383	7,101	131	11,612	1,002	8.6%
22		100.0%	13.6%	86.4%	42.7%	56.3%	1.0%			
23	(アジア11カ国合計)	78,342	24,859	53,484	25,210	50,390	2,742	77,725	618	0.8%
24		100.0%	31.7%	68.3%	32.2%	64.3%	3.5%			
25	アルゼンチン	69	59	10	62	8	-	41	28	69.6%
26		100.0%	85.2%	14.8%	89.1%	10.9%	0.0%			
27	ブラジル	2,720	236	2,483	150	2,073	497	2,082	638	30.6%
28		100.0%	8.7%	91.3%	5.5%	76.2%	18.3%			
29	メキシコ	2,091	604	1,487	475	1,341	275	1,526	565	37.0%
30		100.0%	28.9%	71.1%	22.7%	64.1%	13.2%			
31	(中南米3カ国合計)	4,880	899	3,981	686	3,422	772	3,649	1,231	33.7%
32		100.0%	18.4%	81.6%	14.1%	70.1%	15.8%			
33	ロシア	6,682	555	6,127	480	5,304	898	4,727	1,956	41.4%
34		100.0%	8.3%	91.7%	7.2%	79.4%	13.4%			
35	トルコ	1,325	258	1,067	241	483	601	1,193	132	11.0%
36		100.0%	19.5%	80.5%	18.2%	36.4%	45.4%			

(注)連結ベース(含む海外現地法人)の貸出金のみ(の)の計数を借入人の国籍ベースで分けた内部管理上の計数(含 現地通貨建現地貸・被保証・被担保債権)

国・地域別与信残高 2

【信託銀行連結】



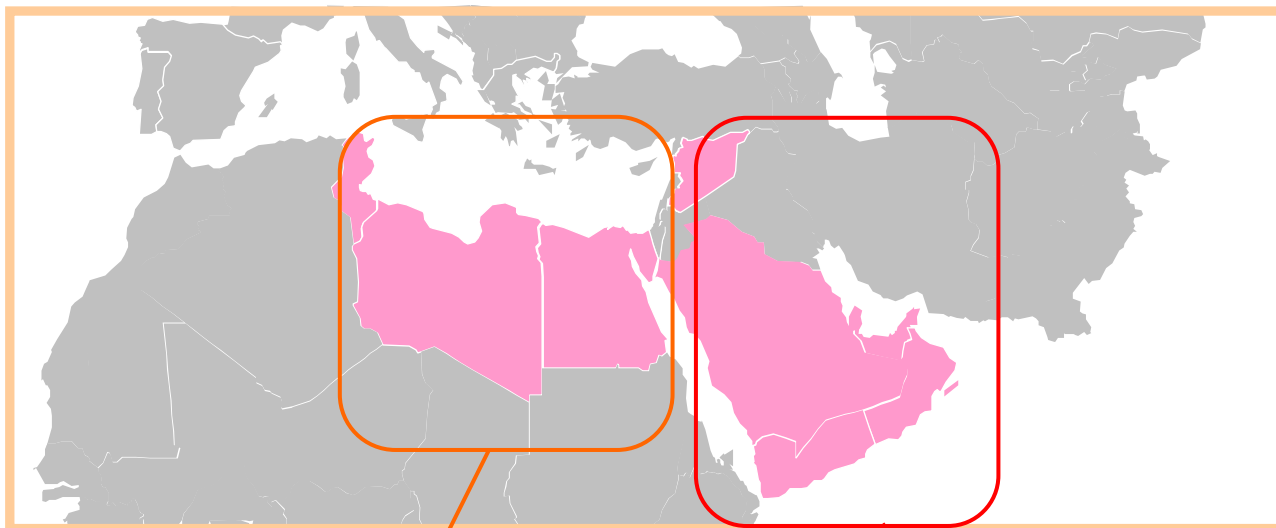
(単位:百万US\$)

	貸出金						貸出金		
	13/3末(a)	短期	中長期	日系	非日系	金融機関	12/9末(b)	(a) - (b)	増減率
1	タイ	825	121	703	825	-	731	94	12.9%
2		100.0%	14.7%	85.3%	100.0%	0.0%			
3	インドネシア	320	220	99	320	0	247	72	29.5%
4		100.0%	69.0%	31.0%	100.0%	0.0%			
5	韓国	-	-	-	-	-	100	▲ 100	▲ 100.0%
6		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
7	マレーシア	41	4	37	41	-	45	▲ 3	▲ 8.0%
8		100.0%	9.6%	90.4%	100.0%	0.0%			
9	フィリピン	53	-	53	53	-	55	▲ 2	▲ 4.1%
10		100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%			
11	シンガポール	1,077	504	573	1,077	-	1,060	16	1.6%
12		100.0%	46.8%	53.2%	100.0%	0.0%			
13	香港	522	254	268	522	-	495	27	5.5%
14		100.0%	48.6%	51.4%	100.0%	0.0%			
15	台湾	0	0	-	0	-	0	▲ 0	▲ 51.4%
16		100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%			
17	中国	19	19	-	19	-	11	8	70.2%
18		100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%			
19	インド	18	-	18	18	-	26	▲ 7	▲ 27.6%
20		100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%			
21	オーストラリア	763	37	725	122	0	800	▲ 37	▲ 4.7%
22		100.0%	5.0%	95.0%	16.0%	0.1%			
23	(アジア11カ国合計)	3,642	1,162	2,479	3,001	0	3,574	68	1.9%
24		100.0%	31.9%	68.1%	82.4%	0.0%			
25	アルゼンチン	0	0	-	-	0	0	▲ 0	▲ 17.6%
26		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%			
27	ブラジル	5	5	-	5	-	8	▲ 2	▲ 33.3%
28		100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%			
29	メキシコ	-	-	-	-	-	-	-	-
30		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
31	(中南米3カ国合計)	5	5	-	5	0	8	▲ 2	▲ 33.0%
32		100.0%	100.0%	0.0%	97.7%	2.3%			
33	ロシア	-	-	-	-	-	-	-	-
34		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
35	トルコ	-	-	-	-	-	-	-	-
36		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			

(注)連結ベースの貸出金のみを計数を借入人の国籍ベースで分けた内部管理上の計数(含 現地通貨建現地貸・被保証・被担保債権)



北アフリカ・中東への貸出残高

【単体合算】










【貸出残高】

(単位:百万US\$)

	12/9末	13/3末
 エジプト	185	232
 チュニジア	-	-
 リビア	-	-

【貸出残高】

(単位:百万US\$)

	12/9末	13/3末
 カタール	3,744	3,799
 UAE	3,271	3,049
 サウジアラビア	3,259	3,094
 オマーン	498	471
 バハレーン	249	231
 シリア	-	-
 イエメン	-	-

(注)連結ベースの貸出金のみを借入人の国籍ベースで分けた内部管理上の計数(含 現地通貨建現地貸・被保証・被担保債権)

欧州周縁国へのエクスポージャー



- 欧州周縁国向け実質リスクベースのエクスポージャー残高(商銀連結)は、総資産に対し限定的

13/3末エクスポージャー残高(商銀連結)

	12/9末残	13/3末残
スペイン	約52億ドル	約47億ドル
イタリア	約61億ドル	約58億ドル
アイルランド	約2億ドル	約1億ドル
ポルトガル	約6億ドル	約5億ドル
ギリシャ	約2億ドル	約0億ドル
合計	約122億ドル	約111億ドル

13/3末保有国債残高(MUFG)

	12/9末残	13/3末残
スペイン	約1億ドル	約1億ドル
イタリア	約15億ドル	約17億ドル
アイルランド	-	約0億ドル
ポルトガル	約0億ドル	-
ギリシャ	-	-
合計	約16億ドル	約17億ドル

エクスポージャーは限定的

● エクスポージャー残高

- ソブリン向けはゼロ
- 9割以上は一般事業法人向け与信およびストラクチャードファイナンス
- スペイン、イタリア向けエクスポージャーは電力・ガス・通信等のインフラ業種が中心
- 金融機関向け与信は限定的
- CDSヘッジ勘案後のエクスポージャー残高は約101億ドル

● 保有国債残高

- ギリシャ・ポルトガル国債の保有はなし
- イタリア国債の大半は満期保有目的であり、約1.5年で償還

株式(普通株・優先株)

(13/3末現在)【連結】



	普通株式	第十一種 優先株式	第1回第五種 優先株式
旧発行体		東洋信託銀行	MUFG
3/31株式数 (自己株式を除く) (同残高)	14,158,442,950株 ^{*1}	1,000株 (0億円)	156,000,000株 (3,900億円)
当初発行株式数 発行総額		80,000,000株 800億円	156,000,000株 3,900億円
配当率		0.53%	4.60%
優先株式取得期間		99.7.1~14.7.31	
3/31現在取得価額		865.9円	
下限取得価額(期中)		865.9円	
取得価額 修正日(期中)		99.8.1~13.8.1 の毎年8/1	
一斉取得日		2014.8.1	
下限取得価額(一斉)		802.6円	
取得価額上方修正条項		無	
3/31現在取得価額で 取得した場合の株式数 ^{*2}		1,100株	
下限取得価額(期中)で 取得した場合の株式数 ^{*2}		1,100株	
下限取得価額(一斉)で 取得した場合の株式数 ^{*2}		1,200株	
		合計(自己株式を除く)	
		3/31現在取得価額で取得した場合の全普通株式数 ^{*2}	14,158,444,050株
		下限取得価額(期中)で取得した場合の全普通株式数 ^{*2}	14,158,444,050株
		下限取得価額(一斉)で取得した場合の全普通株式数 ^{*2}	14,158,444,150株

*1 普通株式は単体自己株式142,770株を除く(連結自己株式は3,411,544株)

*2 取得株式数は単元未満株式の買取請求権行使による自己株式を除く

優先出資証券

(13/3末現在) 【連結】



発行日	2006年3月17日	2006年3月17日	2007年1月19日	2007年1月19日
発行体	MUFG Capital Finance 1 Limited (ケイマン)	MUFG Capital Finance 2 Limited (ケイマン)	MUFG Capital Finance 4 Limited (ケイマン)	MUFG Capital Finance 5 Limited (ケイマン)
発行額	23億米ドル	7.5億ユーロ	5億ユーロ	5.5億英ポンド
期限	永久 (ただし、2016年7月以降 コール可能)	永久 (ただし、2016年7月以降 コール可能)	永久 (ただし、2017年1月以降 コール可能)	永久 (ただし、2017年1月以降 コール可能)
ステップアップ	有	有	有	有
配当	非累積型・固定／変動配当 2016年7月まで 固定6.346% 以降変動金利	非累積型・固定／変動配当 2016年7月まで 固定4.85% 以降変動金利	非累積型・固定／変動配当 2017年1月まで 固定5.271% 以降変動金利	非累積型・固定／変動配当 2017年1月まで 固定6.299% 以降変動金利

発行日	2007年12月13日	2008年9月2日	2009年3月19日	2009年7月29日
発行体	MUFG Capital Finance 6 Limited (ケイマン)	MUFG Capital Finance 7 Limited (ケイマン)	MUFG Capital Finance 8 Limited (ケイマン)	MUFG Capital Finance 9 Limited (ケイマン)
発行額	1,500億円	2,220億円	シリーズ A: 900億円 B: 74億円	シリーズ A: 1,300億円 B: 1,100億円 C: 1,300億円
期限	永久 (ただし、2018年1月以降 コール可能)	永久 (ただし、2019年1月以降 コール可能)	永久 (ただし、シリーズAは2019年7月 以降、シリーズBは2014年7月以降 コール可能)	永久 (ただし、シリーズA・Bは2020年1月 以降、シリーズCは2015年1月以降 コール可能)
ステップアップ	無	有	無	A・C: 無、B: 有
配当	非累積型・固定／変動配当 2018年1月まで 固定3.52% 以降変動金利	非累積型・固定／変動配当 2019年1月まで 固定3.60% 以降変動金利	非累積型・固定／変動配当 シリーズA: 2019年7月まで 固定4.88% シリーズB: 2014年7月まで 固定4.55% 以降変動金利	非累積型・固定／変動配当 シリーズA: 2020年1月まで 固定4.52% シリーズB: 2020年1月まで 固定4.02% シリーズC: 2015年1月まで 固定4.02% 以降変動金利

外貨建普通社債発行一覧

【商業銀行】



13年3月末

銘柄名	年限	金額	クーポン	条件決定日	発行日	償還日	備考
三菱東京UFJ銀行 2015年1月22日満期米ドル建社債	5年	1,000百万米ドル	3.850%	2010.1.13	2010.1.22	2015.1.22	米国発行
三菱東京UFJ銀行 2013年9月11日満期米ドル建社債	3年	750百万米ドル	1.600%	2010.9.8	2010.9.15	2013.9.11	グローバル発行
三菱東京UFJ銀行 2015年9月11日満期米ドル建社債	5年	1,250百万米ドル	2.450%	2010.9.8	2010.9.15	2015.9.11	グローバル発行
三菱東京UFJ銀行 2014年1月24日満期ユーロ豪ドル建社債	3年	550百万豪ドル	5.580%	2011.1.11	2011.1.24	2014.1.24	個人向け
三菱東京UFJ銀行 2014年2月24日満期米ドル建社債	3年	500百万米ドル	3ヶ月米ドル LIBOR+0.66%	2011.2.15	2011.2.24	2014.2.24	グローバル発行 変動金利債
三菱東京UFJ銀行 2014年2月24日満期米ドル建社債	3年	500百万米ドル	2.250%	2011.2.15	2011.2.24	2014.2.24	グローバル発行
三菱東京UFJ銀行 2016年7月25日満期ユーロ米ドル建社債	5年	170百万米ドル	2.130%	2011.7.15	2011.7.27	2016.7.25	個人向け
三菱東京UFJ銀行 2014年7月25日満期ユーロ豪ドル建社債	3年	270百万豪ドル	4.870%	2011.7.15	2011.7.27	2014.7.25	個人向け
三菱東京UFJ銀行 2016年9月16日満期ユーロ米ドル建社債	5年	100百万米ドル	1.670%	2011.9.16	2011.9.29	2016.9.16	個人向け
三菱東京UFJ銀行 2014年9月16日満期ユーロ豪ドル建社債	3年	140百万豪ドル	4.230%	2011.9.16	2011.9.29	2014.9.16	個人向け
三菱東京UFJ銀行 2017年1月19日満期ユーロ米ドル建社債	5年	150百万米ドル	1.820%	2012.1.13	2012.1.24	2017.1.19	個人向け
三菱東京UFJ銀行 2016年1月19日満期ユーロ豪ドル建社債	4年	170百万豪ドル	4.910%	2012.1.13	2012.1.24	2016.1.19	個人向け
三菱東京UFJ銀行 2017年2月23日満期米ドル建社債	5年	1,000百万米ドル	2.350%	2012.2.14	2012.2.23	2017.2.23	グローバル発行
三菱東京UFJ銀行シドニー支店 2015年3月16日満期豪ドル建社債	3年	300百万豪ドル	3ヶ月 BBSW+1.35%	2012.3.8	2012.3.16	2015.3.16	豪州発行 変動金利債
三菱東京UFJ銀行 2017年7月18日満期ユーロ米ドル建社債	5年	150百万米ドル	1.360%	2012.7.13	2012.7.30	2017.7.18	個人向け
三菱東京UFJ銀行 2017年7月18日満期ユーロ豪ドル建社債	5年	180百万豪ドル	4.050%	2012.7.13	2012.7.30	2017.7.18	個人向け
三菱東京UFJ銀行 2016年2月26日満期米ドル建社債	3年	500百万米ドル	3ヶ月米ドル LIBOR+0.45%	2013.2.19	2013.2.26	2016.2.26	グローバル発行 変動金利債
三菱東京UFJ銀行 2016年2月26日満期米ドル建社債	3年	500百万米ドル	1.000%	2013.2.19	2013.2.26	2016.2.26	グローバル発行
三菱東京UFJ銀行 2018年2月26日満期米ドル建社債	5年	750百万米ドル	1.650%	2013.2.19	2013.2.26	2018.2.26	グローバル発行
三菱東京UFJ銀行 2023年2月26日満期米ドル建社債	10年	500百万米ドル	3.200%	2013.2.19	2013.2.26	2023.2.26	グローバル発行

保有株式

<①普通株式>

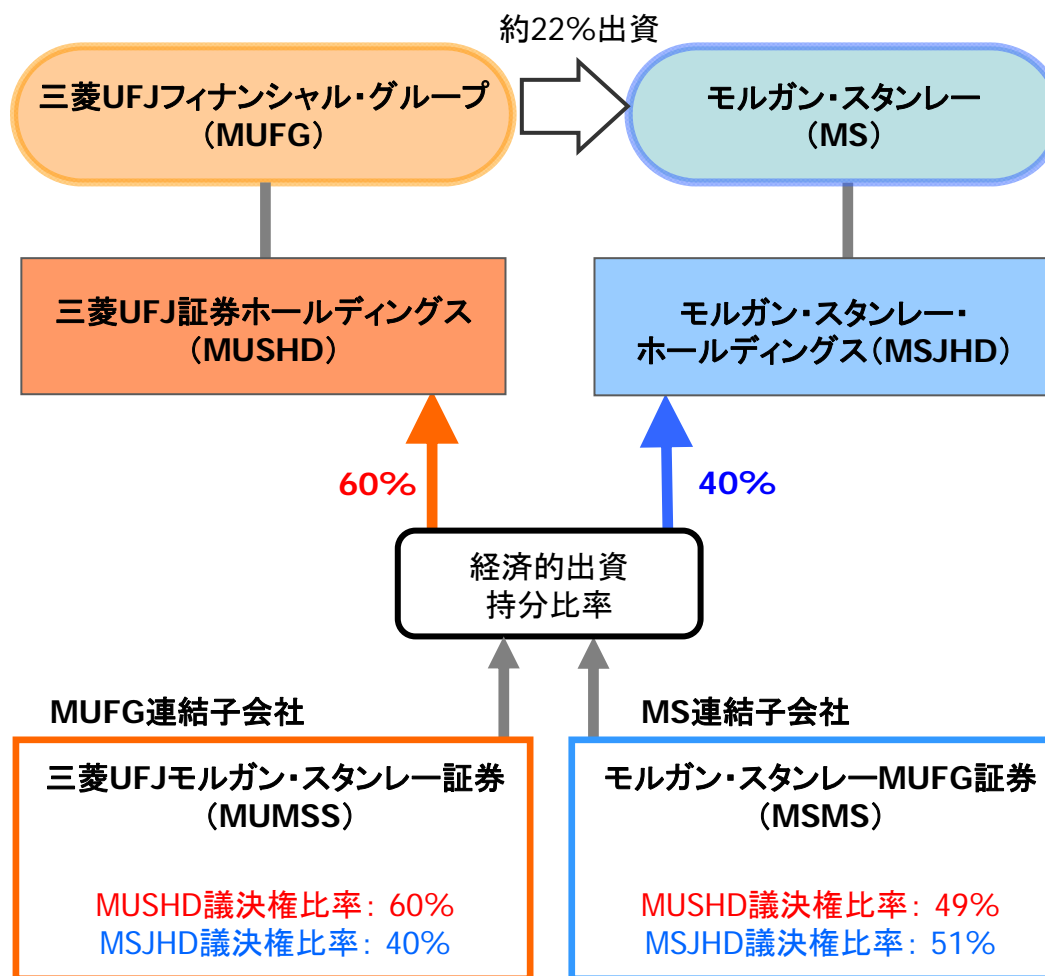
項目	内容
普通株総数	432,017,152株
総額	9,049百万米ドル
配当	0.05ドル/四半期

<②償還型永久優先株式>

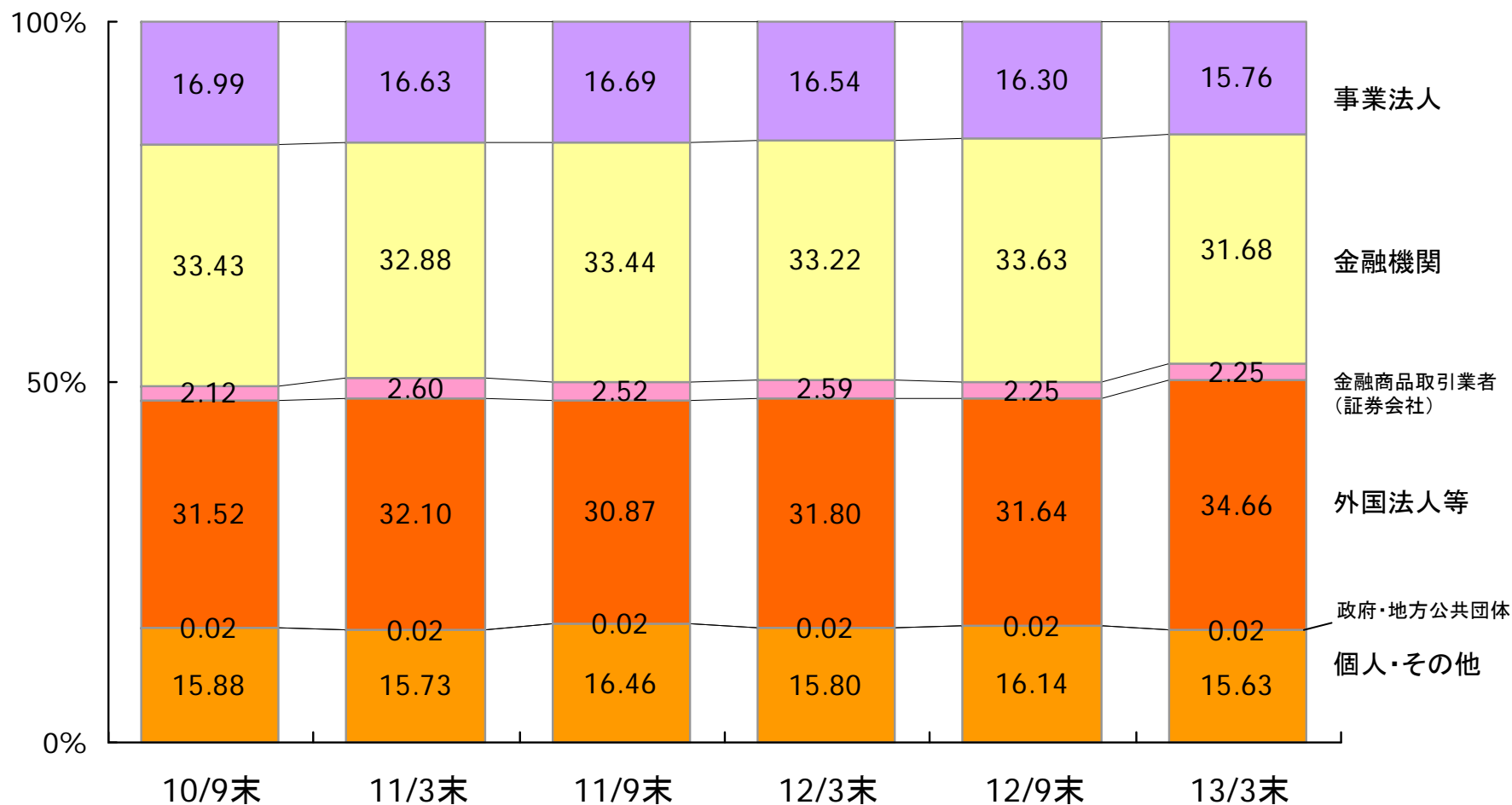
項目	内容
名称	C種非累積永久優先無議決権株式 (「C種優先株式」)
優先株総数(注)	519,882株
総額(注)	519.882百万米ドル
配当	年間利回り10%。非累積型 支払日: 毎年1月15日、4月15日、7月15日、 10月15日
発行日	2008年10月13日
期間	永久
任意償還	発行日より3年経過後以降、額面の110%で 償還する権利を発行体が有する
優先順位	配当及び残余財産請求権について、普通株 式に優先し、発行体の他の優先株式と少なく とも同順位
議決権	なし

(注) 当初償還型優先株総数: 1,160,791株、当初総額: 1,160.791百万米ドル

日本における証券会社の出資関係



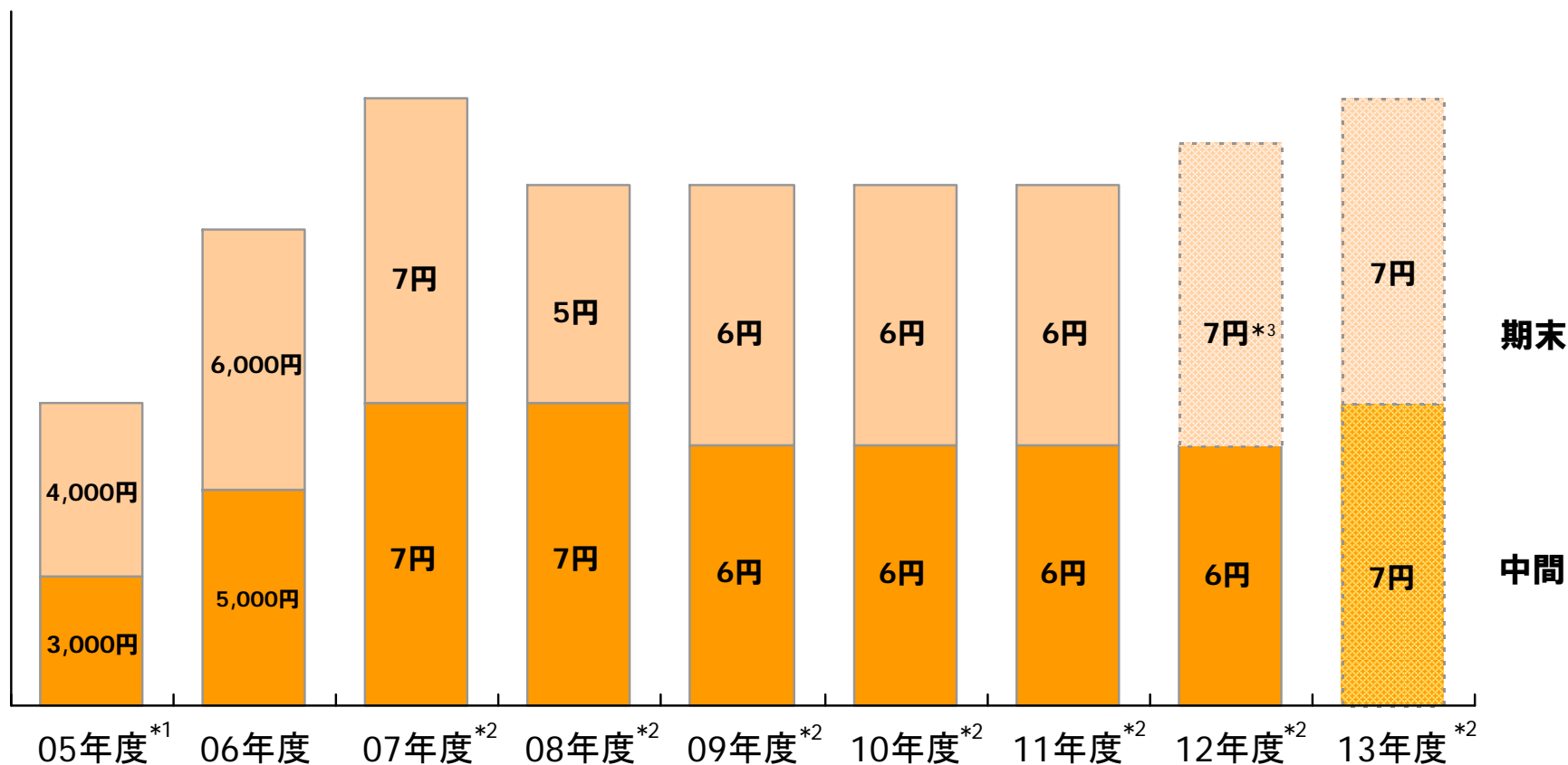
株主構成



(注)本表は単元株(100株)以上の普通株式のみを対象。但し、自己株式(以下)を除いて計算

10/9末: 44,700株
 11/3末: 83,000株
 11/9末: 94,600株
 12/3末: 108,900株
 12/9末: 121,500株
 13/3末: 142,700株

配当の状況



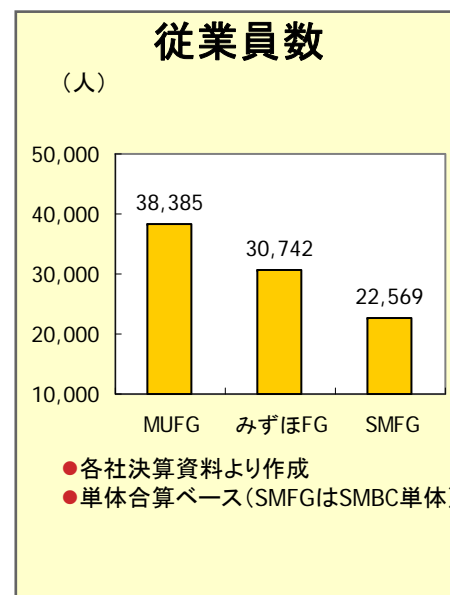
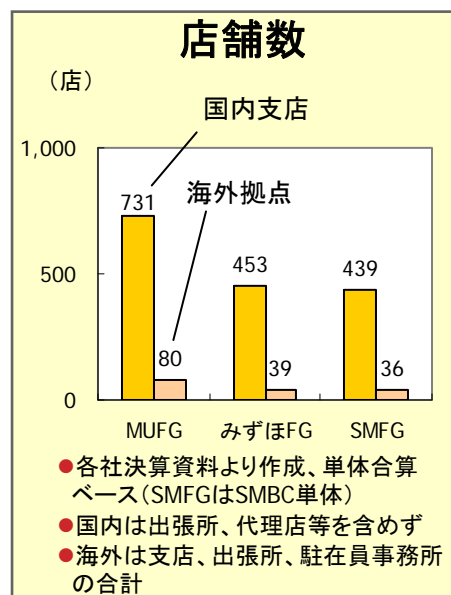
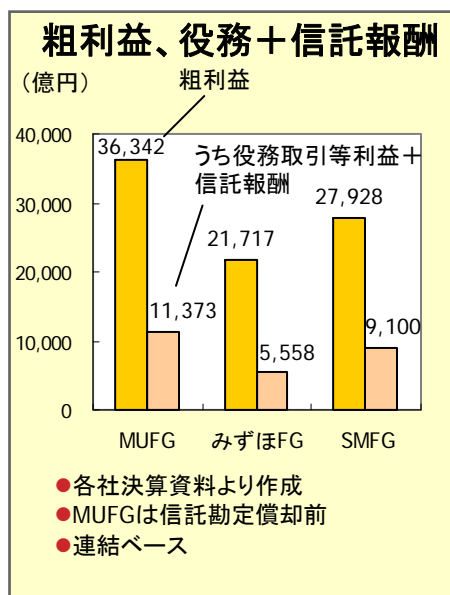
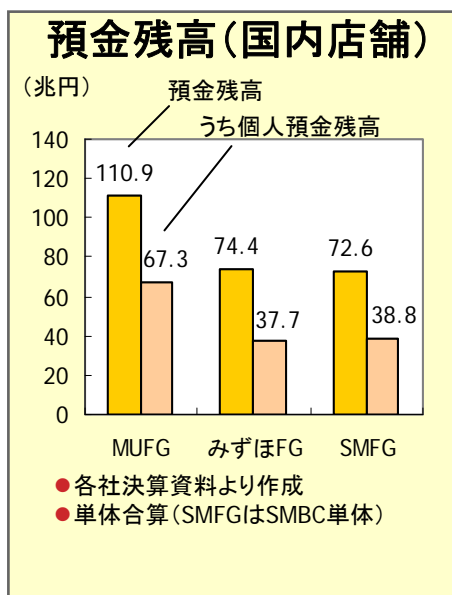
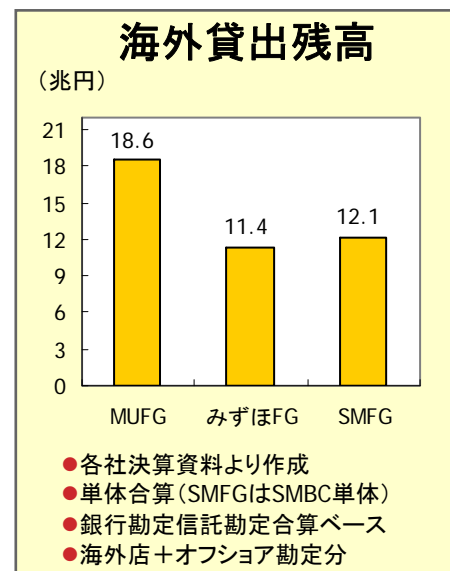
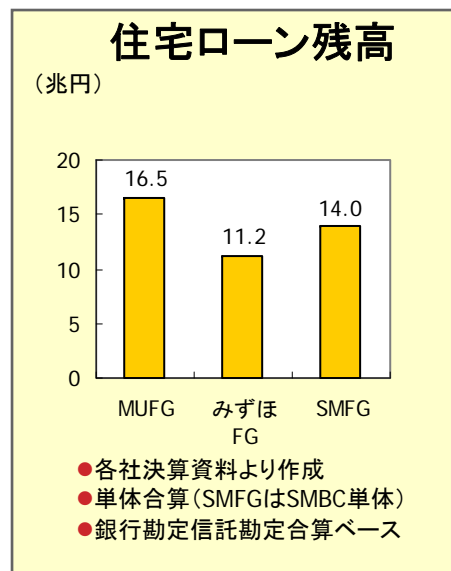
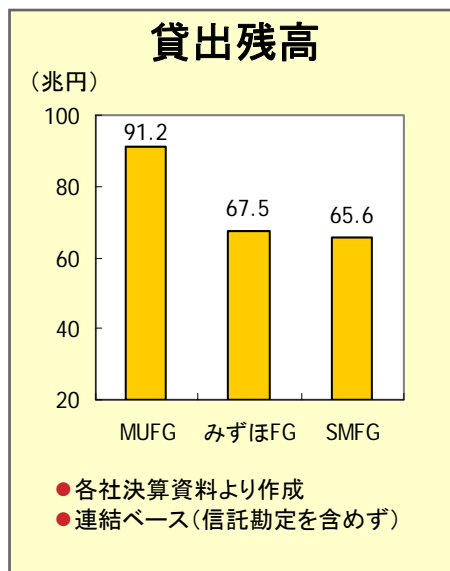
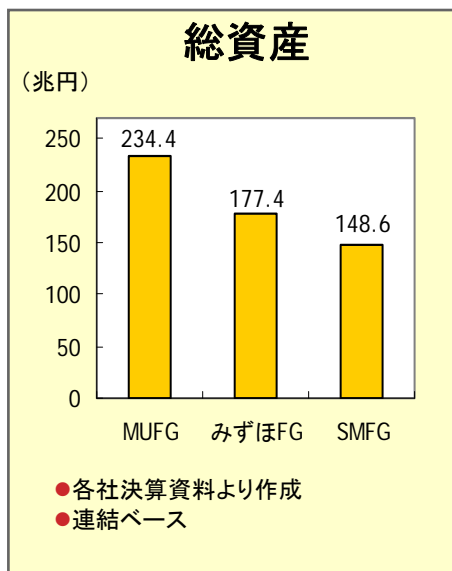
*1 2005年度中間配当は、旧三菱東京フィナンシャル・グループの実績

*2 2007年度以降は、2007年9月30日付で実施した株式分割(普通株式1株を1,000株に分割)後の配当金実績・予想

*3 12年度期末配当は、13年6月27日に開催予定の定時株主総会において承認されることを前提

他グループ比較

(13/3末現在)



<国内リテール店舗>	銀行	信託	証券	合計
店舗数 ^{*1}	766	64	64	894
来店型店舗	662	64	64	790
本・支店	612	59	64	735
出張所・営業所	50	5	0	55
バーチャル店舗等	104	0	0	104

<MUFGプラザ・PBO>

MUFGプラザ	30
プライベート・バンキング・オフィス (PBO)	30

<ATM設置台数>

ATM設置台数	79,882
店舗内ATM設置台数	4,811
店舗外ATM設置台数	3,680
コンビニエンスストアATM設置台数 ^{*2}	71,391

*1 金融庁届出ベース(本・支店・出張所・銀行代理業者・法人営業所)

*2 銀行と信託の単純合算(重複は30,837台)

<法人拠点>	銀行	信託	証券	合計
拠点数 ^{*3}	268	9	39	316
営業部	4	4	4	12
支店	0	5	35	40
支社	240	0	0	240
法人営業支社	14	0	0	14
法人営業所	6	0	0	6
法人営業オフィス	4	0	0	4

<海外店舗>

	銀行	信託	証券	合計
店舗数	106	8	7	121
支店	32	5	0	37
現地法人 ^{*4}	32	2	6	40
出張所	31	0	0	31
駐在員事務所	11	1	1	13
Union Bank 店舗数	0	0	0	434

*3 除く公務拠点

*4 商銀現法は除くUNBC。証券は香港持株現法を1箇所として計上